11 エレクトリカル

イグニッションスイッチ……11－4
準備品……11－4
単体点検……11－4
イグニッションスイッチ……11－4
ライティング……11－5
準備品……11－5
部品配置図……11－5
ヘッドランプ……11－7
光度点検……11－7
光軸調整……11－7
シールドビームユニットASSY……11－9
脱着構成図……11－9
取りはずし……11－9
取り付け……11－10
リトラクタブルヘッドランプブラケット & リトラクターモーター…11－11
脱着構成図……11－11
取りはずし……11－11
取り付け……11－13
フォグランプ……11-14-2
準備品……11-14-2
部品配置図……11-14-2
脱着構成図……11-14-3
取りはずし……11-14-3
取り付け……11-14-4
バルブ交換……11-14-4
単体点検……11-14-4
フォグランプリレー……11-14-4
フォグランプスイッチ……11-14-4
リヤコンビネーションランプASSY……11－15
脱着構成図……11－15
取りはずし……11－15
取り付け……11－16
ターンシグナルスイッチASSY……11－17
分解構成図……11－17
ライトコントロールスイッチ取りはずし……11－17
ライトコントロールスイッチ取り付け……11－18
ヘッドランプディマースイッチASSY取りはずし…11－19
ヘッドランプディマースイッチASSY取り付け……11－19
ターンシグナルスイッチ取りはずし……11－20
ターンシグナルスイッチ取り付け……11－20
単体点検……11－21
ライトコントロールリレー（ヘッド）……11－21
ライトコントロールリレー（テール）……11－21
ライトコントロールスイッチ……11－21
ヘッドランプディマースイッチ……11－21
ターンシグナルランプスイッチ……11－22
ハザードウォーニングシグナルスイッチ……11－22
ターンシグナルフラッシャー……11－22
バックアップランプスイッチ（M/T車）……11－22
ニュートラルスタートスイッチ（A/T車）……11－23
ストップランプスイッチ……11－23
インテグレーションリレー……11－23
ランプフェイリアインジケーターセンサー……11－24
ライトリトラクターリレー……11－25
ライトリトラクターモーター……11－26
ワイパー & ウォッシャー……11－27
準備品……11－27
部品配置図……11－27
フロントワイパー……11－28
フロントワイパーモーター & リンク……11－28
脱着構成図……11－28
ワイパーモーターASSY取りはずし……11－28
ワイパーモーターASSY取り付け……11－29
ウインドシールドワイパーアーム取り付け，調整…11－29
ターンシグナルスイッチ……11－30
分解構成図……11－30
ウインドシールドワイパースイッチASSY取りはずし…11－30
ウインドシールドワイパースイッチASSY取り付け…11－31
単体点検……11－32
ウインドシールドワイパースイッチASSY……11－32
ウインドシールドワイパーモーターASSY……11－33
リヤワイパー……11－35
リヤワイパーモーター & リヤワイパーコントロールリレー…11－35
脱着分解構成図……11－35
取りはずし……11－35
取り付け……11－36
単体点検……11－37
ウインドシールドワイパースイッチASSY（リヤワイパースイッチ）…11－37
リヤワイパーコントロールリレー……11－37
リヤワイパーモーターASSY……11－38
ウォッシャー……11－40
ウォッシャーノズル……11－40
ウインドシールドウォッシャーノズルのウォッシャー液噴射位置調整…11－40
単体点検……11－40
ウインドシールドワイパースイッチ（ウォッシャースイッチ）…11－40
ウォッシャーモーターASSY……11－41
メーター & ゲージ……11－42

無断複製禁止

準備品 ……11－42
部品配置図 ……11－42
内部回路図……11－43
コンビネーションメーターASSY ……11－44
脱着構成図……11－44
分解構成図 ……11－44
単体点検……11－45
スピードメーター ……11－45
スピードメーターセンサー ……11－45
タコメーター ……11－45
フューエルレシーバーゲージ……11－46
フューエルレシーバーゲージウォーニング ……11－46
フューエルセンダーゲージ ……11－46
ウォーターテンパラチャレシーバーゲージ ……11－47
ウォーターテンパラチャセンダーゲージ ……11－48
オイルプレッシャースイッチ ……11－48
ブレーキウォーニング……11－48
パーキングブレーキスイッチ ……11－49
レベルウォーニングスイッチ ……11－49
ボルトメーター……11－49
ライト断線ウォーニング ……11－49
リヤウインドゥデフォッガー ……11－50
準備品……11－50
部品配置図……11－50
単体点検……11－51
プリント式熱線点検……11－51
プリント式熱線修正……11－51
リヤウインドゥデフォッガースイッチ ……11－52
デフォッガースイッチ……11－52
ヒーター……11－53
準備品……11－53
部品配置図……11－53
ヒーターコントロールASSY ……11－54
脱着分解構成図 ……11－54
取りはずし……11－55
分解（Loプッシュ） ……11－56
組み付け（Loプッシュ） ……11－56
取り付け ……11－57
ヒーターブロワーASSY ……11－59
脱着分解構成図……11－59
取りはずし ……11－60
分解 ……11－60
組み付け ……11－60
取り付け ……11－60
ラジエーターユニットサブASSY ……11－61
脱着構成図……11－61
分解構成図……11－62
取りはずし……11－62
分解 ……11－64
組み付け ……11－65
取り付け ……11－65
単体点検……11－66
ヒーターメインリレー ……11－66
ヒーターコントロールASSY……11－66
ブロワーモーター ……11－69
ブロワーレジスター……11－70
ヒーターブロワーリレー ……11－70
ダンパーサーボサブASSY ……11－70
オートドライブ ……11－73
準備品……11－73
部品配置図……11－73
機能点検……11－74
オートドライブ走行点検 ……11－74
スピードコントロールスイッチ点検……11－75
スピードコントロールケーブル点検，調整 ……11－75
トラブルシューティング……11－76
トラブルシューティングの進め方 ……11－76
前点検……11－76
ダイアグノーシス点検 ……11－76
入力点検 ……11－78
トラブル現象別チャートによる点検……11－79
スピードコントロールメインスイッチ（エアバッグ付き）…11－81
脱着構成図 ……11－81
取りはずし……11－81
取り付け ……11－82
単体点検……11－83
スピードコントロールスイッチ……11－83
ストップランプスイッチ ……11－83
パーキングブレーキスイッチ ……11－83
クラッチスイッチ ……11－83
ニュートラルスタートスイッチ……11－84
スピードコントロールアクチュエーター……11－84
ホーンコンタクトスリップリング（エアバッグ付き）…11－85
スピードコントロールコンピューター ……11－85
ホーン……11－87
準備品……11－87
部品配置図……11－87
単体点検……11－87
ホーンリレー ……11－87
ホーンスイッチ ……11－88
ホーンコンタクトスリップリング（オートドライブおよびエアバッグ付き）…11－88
ラジオ　&　プレーヤー ……11－89
準備品……11－89
部品配置図……11－89
機能点検……11－90

無断複製禁止

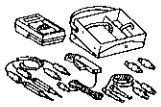
モーターアンテナ作動点検 ……11 —90
トラブルシューティング……11 —91
雑音の間診表……11 —91
点検時の注意事項 ……11 —91
トラブル現象別チャートによる点検……11 —92
アンテナASSY　W/ホルダー ……11 —94
脱着構成図……11 —94
アンテナロッドサブASSY取りはずし ……11 —94
アンテナロッドサブASSY取り付け ……11 —95
アンテナASSY　W/ホルダー取りはずし……11 —95
アンテナASSY　W/ホルダー取り付け ……11 —95
アンテナコードサブASSY ……11 —96
脱着構成図 ……11 —96
取りはずし ……11 —98
取り付け ……11 —99
リヤウインドゥプリント式アンテナ点検，
修正…11-100
シガレットライター ……11-101
脱着構成図 ……11-101
取りはずし ……11-101
取り付け ……11-102

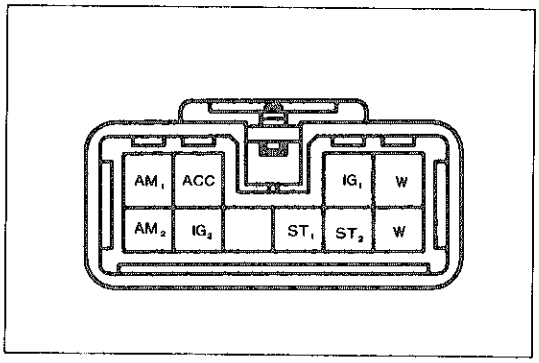
11

無断複製禁止

イグニッションスイッチ

準 備 品

計 器		09082-00012 トヨタエレクトリカルテスター	イグニッションスイッチ点検用



e-10-2-B

単体点検

イグニッションスイッチ

1 導通点検

(1) コネクター各端子間の導通を点検する。

基 準

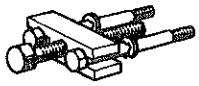
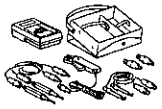
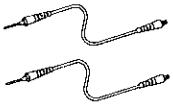
○—○導通あり

端子記号(線色) / 切り替え	ST1 (B-W)	IG1 (B-Y)	ACC (L-R)	AM1 (B-R)	ST2 (Br-R)	IG2 (Br-W)	AM2 (Br)	W (G-W)	W (G-W)
キー排出									
キー挿入(LOCK)								○	○
ACC			○	○					
ON		○	○	○		○	○		
START	○	○		○	○	○	○		

無断複製禁止

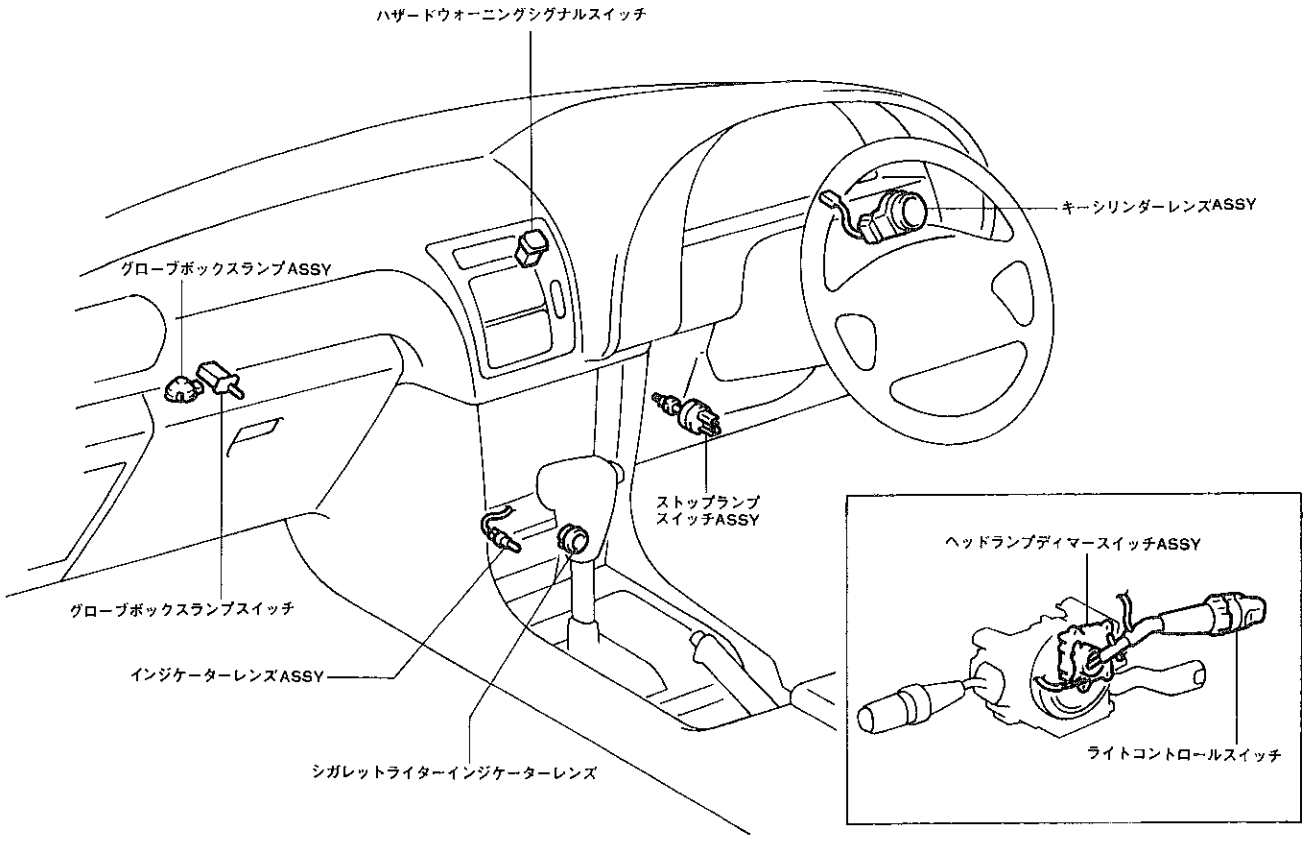
ライティング

準　備　品

SST		09609-20011　ステアリングホイールプラー	ステアリングホイール取りはずし用
計　器		09082-00012　トヨタエレクトリカルテスター	各部点検用
		09083-00060　ミニテストリード	コネクター部点検用
	ヘッドランプテスター		ヘッドランプ光軸調整用
油　脂 その他	テスト用スクリーン，ヘッドランプカバー，テープ		ヘッドランプ光軸調整用

部品配置図

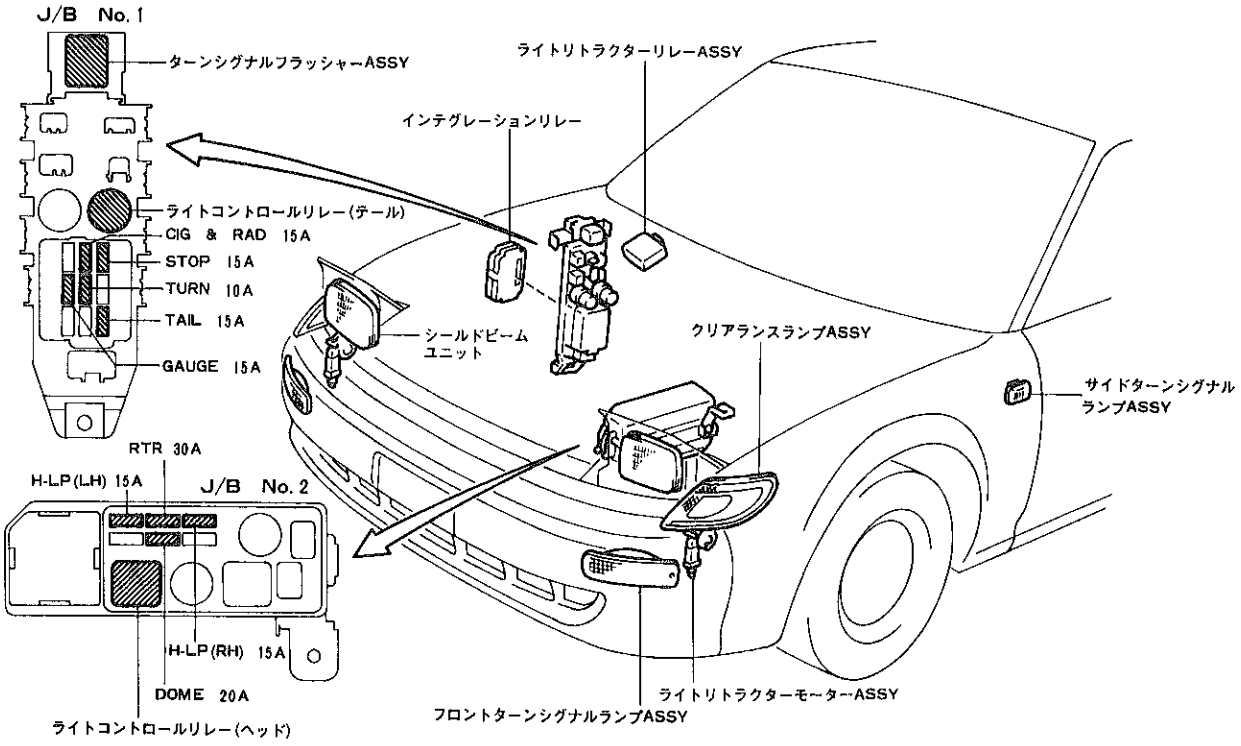
インストルメントパネル部



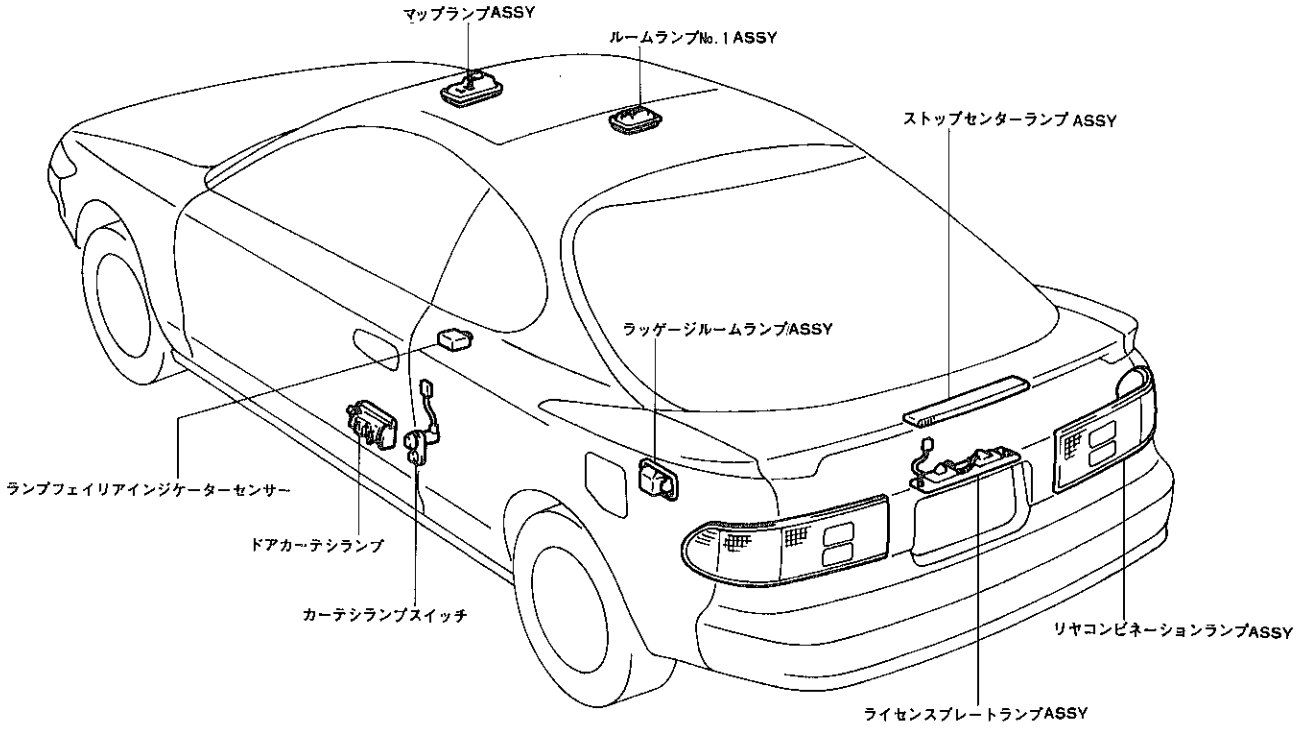
H6905

無断複製禁止

車両部



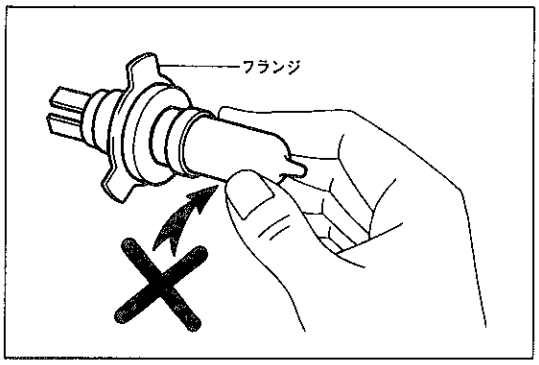
フロント側



リヤ側

H6907 H6906

無断複製禁止



H665B

ヘッドランプ

注意　ハロゲン電球は，使用時ランプが高温になるため，表面に油脂などが付着するとランプ寿命が短くなる。ランプ交換時はフランジ部分を持つようにし，手などがガラス部に触れないようにする。

光度点検

基　準　15,000カンデラ以上

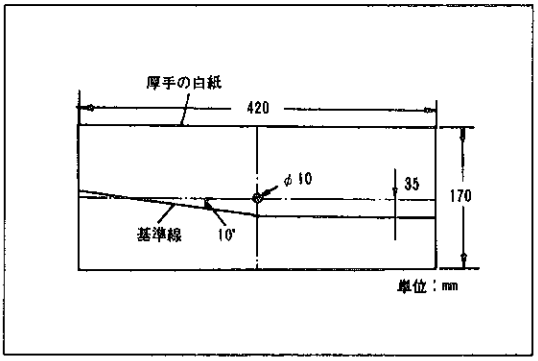
光軸調整

1　用紙作成

(1) 厚手の白紙を用意する。

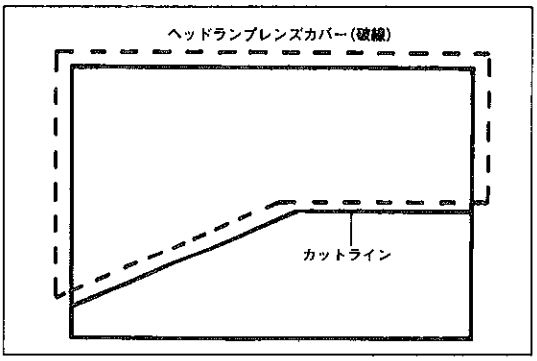
(2) 図に示す寸法の調整用スクリーンを作成する。

(3) 光の通らない用紙を用意する。



H6277

(4) ヘッドランプレンズのカットラインに合わせてヘッドランプカバーを作成する。



H6278

2　調整前作業

(1) タイヤ空気圧を正規に調整する。

(2) 運転席に1名乗車する。

(3) エンジンを始動し，バッテリーを充電状態にする。

3　光軸調整

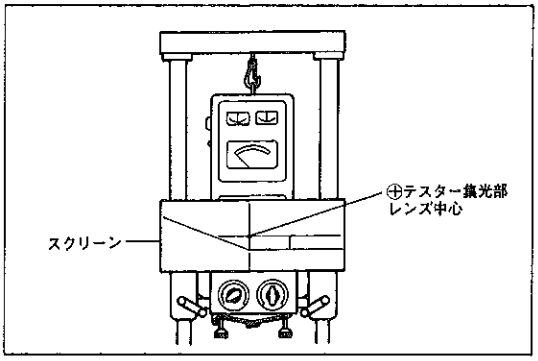
集光式ヘッドライトテスターの場合

(1) テスターとヘッドランプレンズの距離を3mにする。

(2) 車両にテスターを正対させる。

(3) ヘッドランプ中心にテスターのレンズを合わせる。

(4) テスターの集光レンズ中心に調整用スクリーンの中心穴を合わせテープなどで取り付ける。



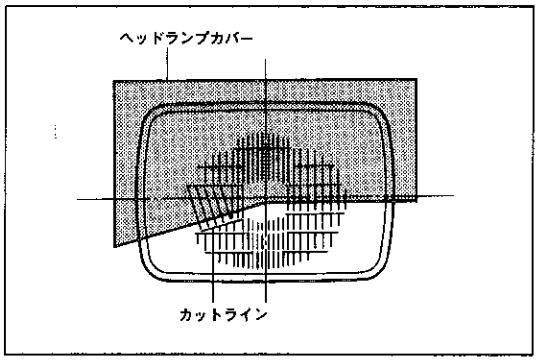
H6287

(5) ヘッドランプカバーをヘッドランプレンズカットラインより約10mm上方にテープなどで取り付ける。

注意　ヘッドランプが高温になるため，ヘッドランプにカバーを付けたまま長時間点灯させない。

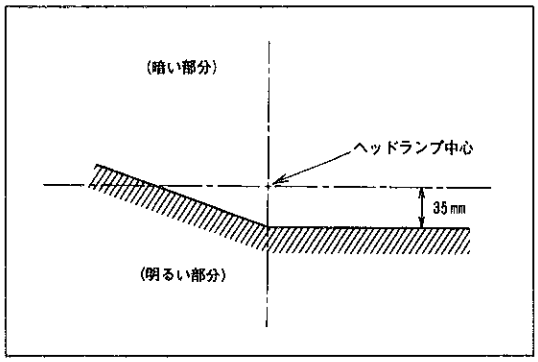
(6) 他方のランプを光の通らない用紙で覆う。

(7) ヘッドランプを点灯する（ロービーム）。



H6665

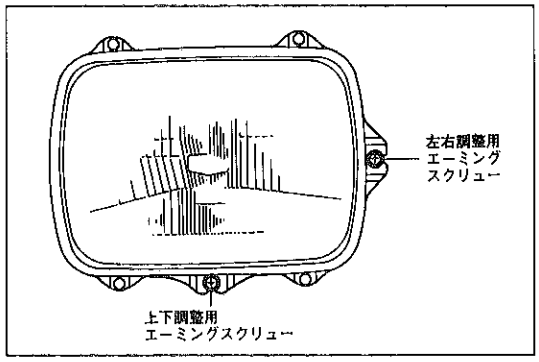
無断複製禁止



H6285

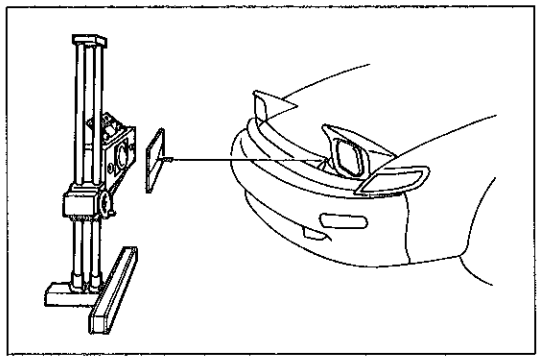
(8) ヘッドランプの調整用エーミングスクリューを操作し，スクリーンに照射されたビームの明暗分割線を図に示す位置に調整する。

(9) 調整後，車両を壁または垂直な平面板などに3m離して正対させ，ハイビームの主軸が下向きであり，かつ車両の進行方向に正射していることを視認する。



H3793

〈参考〉 ヘッドランプ左側調整用エーミングスクリューの位置を左図に示す。


H6664

投影式ヘッドライトテスターの場合

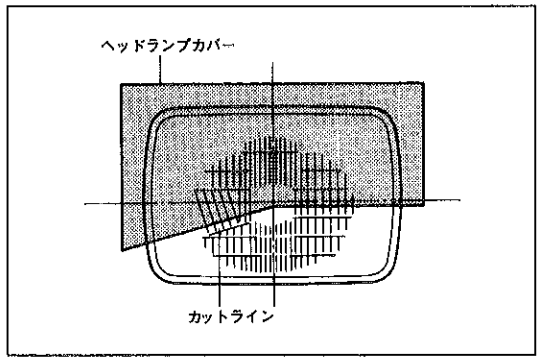
(1) テスターとヘッドランプレンズの距離を3mにする。

(2) 車両にテスターを正対させる。

(3) テスターの角度調整つまみを上下，左右0にする。

(4) ヘッドランプ中心にテスターの投影スクリーンを合わせる。

(5) テスターの集光レンズの中心に調整用スクリーンの中心穴を合わせテープなどで取り付ける。



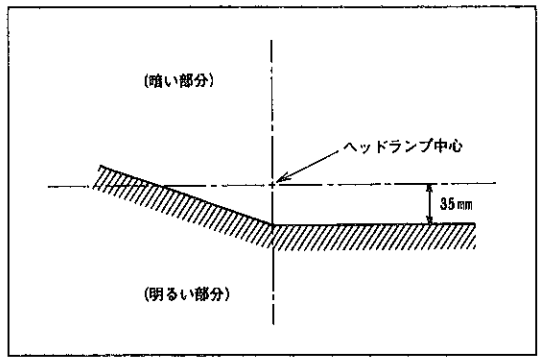
H6665

(6) ヘッドランプカバーをヘッドランプレンズカットラインより約10mm上方にテープなどで取り付ける。

注意 **ヘッドランプが高温になるため，ヘッドランプにカバーを付けたまま長時間点灯させない。**

(7) 他方のランプを光の通らない用紙で覆う。

(8) ヘッドランプを点灯する（ロービーム）。



H6285

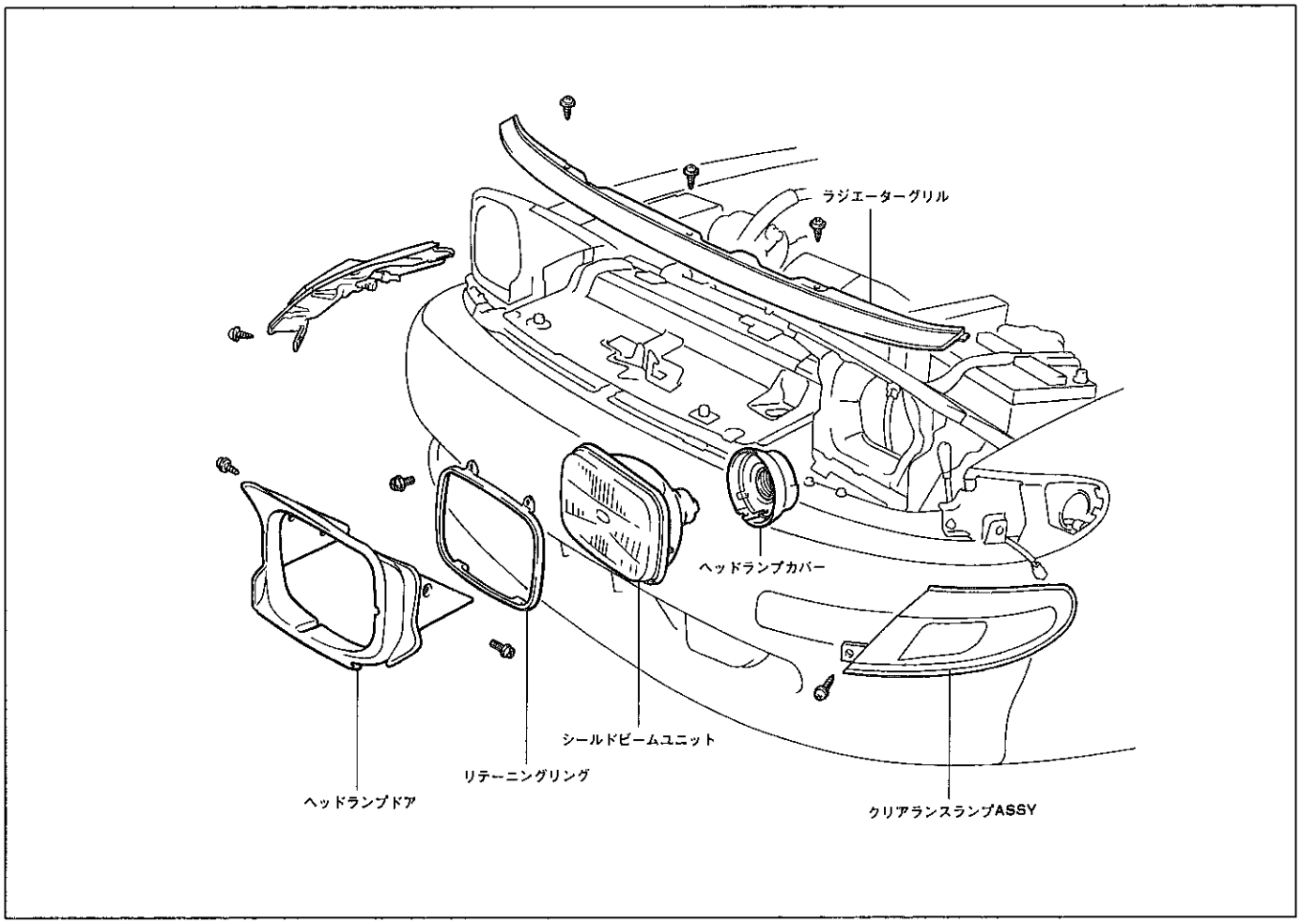
(9) ヘッドランプの調整用エーミングスクリューを操作し，スクリーンに照射されたビームの明暗分割線を図に示す位置に調整する。

(10) 調整後，車両を壁または垂直な平面板などに3m離して正対させ，ハイビームの主軸が下向きであり，かつ車両の進行方向に正射していることを視認する。

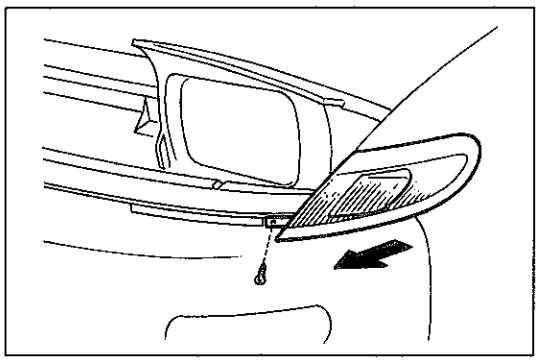
無断複製禁止

シールドビームユニットASSY

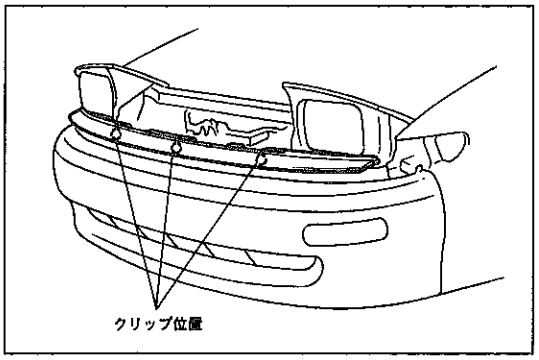
脱着構成図



H6675



U9949



U9950

シールドビームユニットASSY取りはずし

1 クリアランスランプ取りはずし

(1) スクリューを取りはずす。

(2) ランプを前方へ押してランプを取りはずす。

(3) コネクターの接続を切り離す。

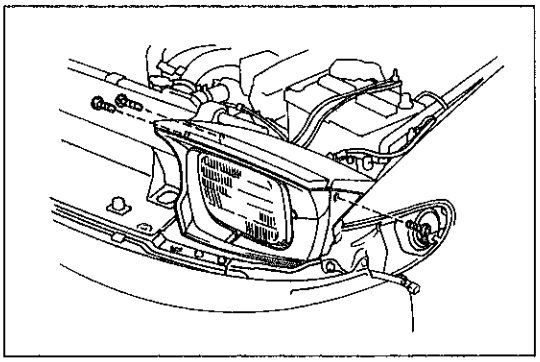
2 ヘッドランプ起立

3 ラジエーターグリル取りはずし

(1) スクリュー3本を取りはずす。

(2) クリップ位置を前方にひき，グリルを取りはずす。

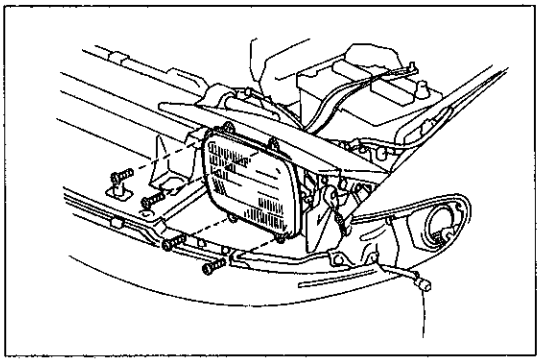
無断複製禁止



H6676

4 ヘッドランプドア取りはずし

(1) スクリュー3本を取り，ドアを手前に引き出す。



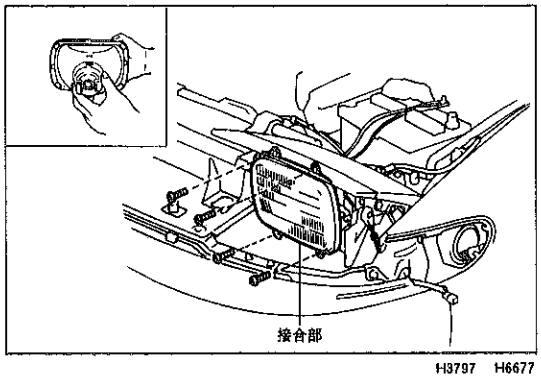
H6677

5 シールドビームユニット取りはずし

(1) スクリュー4本を取り，リテーニングリングを取りはずす。

(2) ユニットを手前に引き出し，コネクターの接続を切り離す。

(3) ヘッドランプカバーを取りはずす。



H3797 H6677

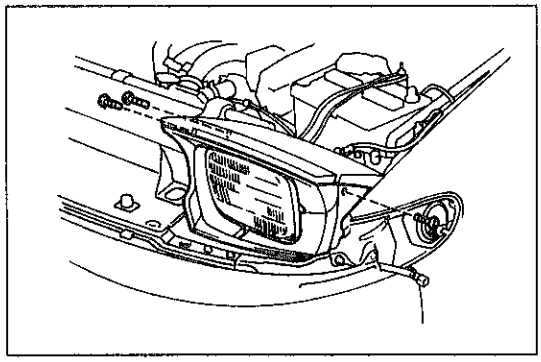
シールドビームユニット取り付け

1 シールドビームユニット取り付け

(1) ヘッドランプカバーの“TOP”マークを上にし，シールドビームユニットに取り付ける。

(2) シールドビームユニットにコネクターを接続する。

(3) リテーニングリングの接合部（凸部）が車両下側になるようにスクリュー4本で取り付ける。



H6676

2 ヘッドランプドア取り付け

(1) ヘッドランプフードにヘッドランプドアをかん合し，スクリュー3本でドアを取り付ける。

3 ヘッドランプ格納

(1) ライトコントロールスイッチをOFFにしランプを格納する。

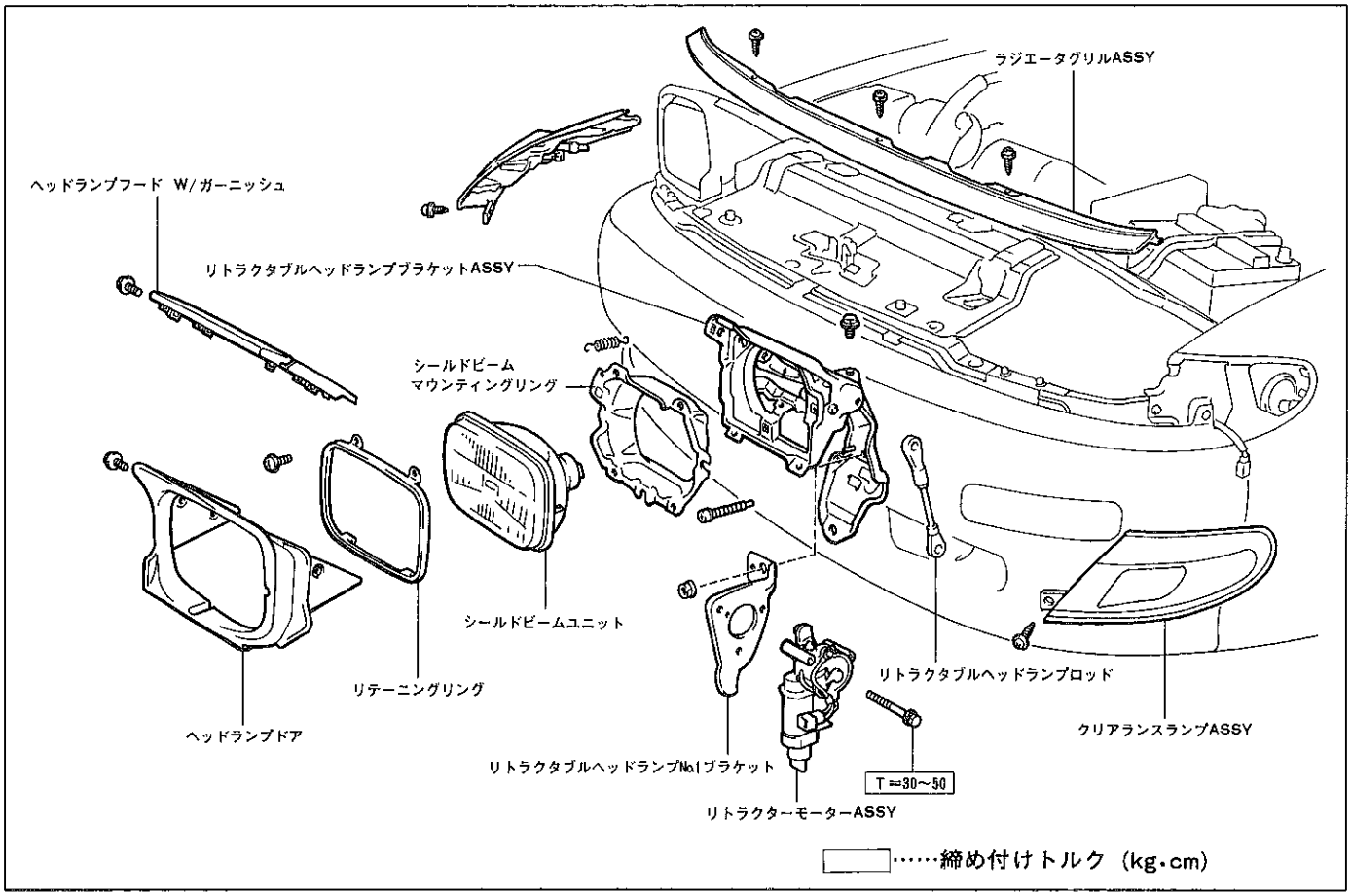
4 ヘッドランプ光軸調整

(P11-7参照)

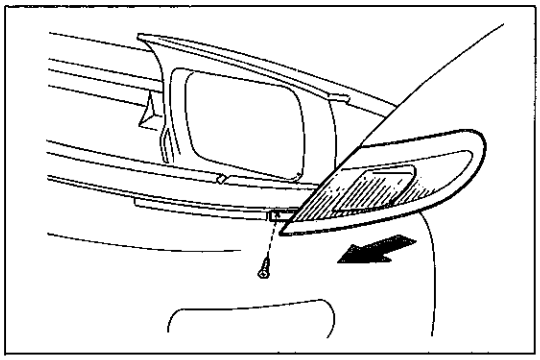
無断複製禁止

リトラクタブルヘッドランプブラケット & リトラクターモーター

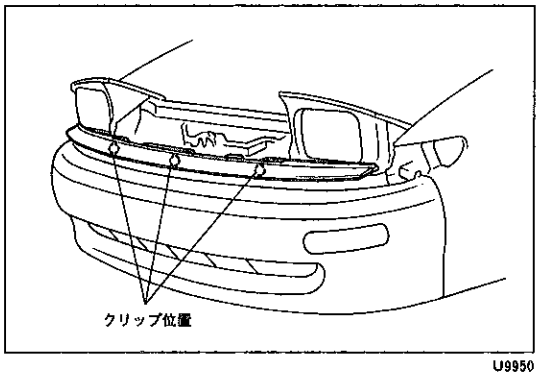
脱着構成図



H6678



U9949



U9950

リトラクタブルヘッドランプブラケット & リトラクターモーター取りはずし

1 クリアランスランプ取りはずし

(1) スクリューを取りはずす。

(2) ランプを前方へ押してランプを取りはずす。

(3) コネクターの接続を切り離す。

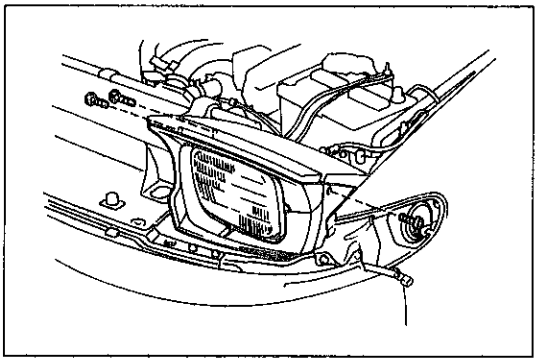
2 ヘッドランプ起立

3 ラジエーターグリル取りはずし

(1) スクリュー3本を取りはずす。

(2) クリップ位置を前方にひき，グリルを取りはずす。

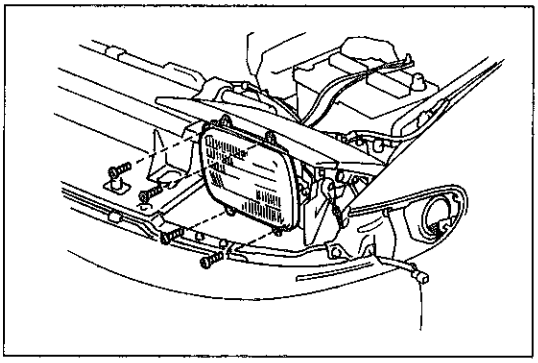
無断複製禁止



H6676

2 ヘッドランプドア取りはずし

(1) スクリュー3本を取り，ドアを手前に引き出す。

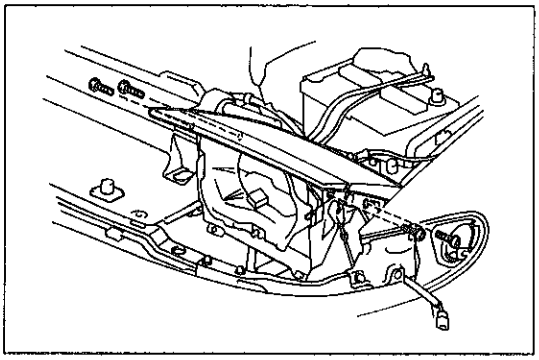


H6677

3 シールドビームユニット取りはずし

(1) スクリュー4本を取り，リテーニングリングを取りはずす。

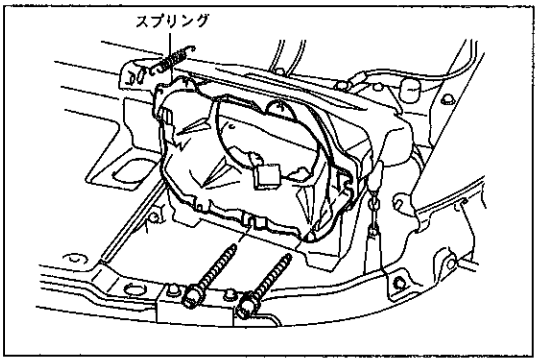
(2) ユニットを手前に引き出し，コネクターの接続を切り離す。



H6679

4 ヘッドランプフード取りはずし

(1) スクリュー4本を取りカバーを取りはずす。

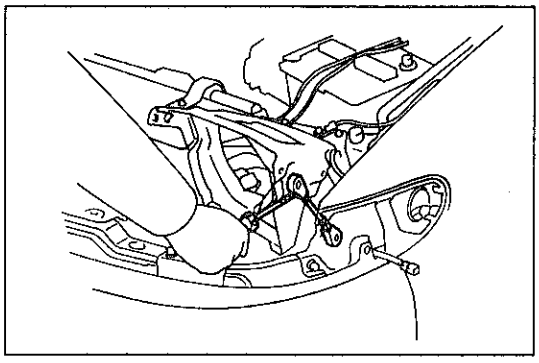


H6680

5 シールドビームマウンティングリング取りはずし

(1) エーミングスクリュー2本を取りはずす。

(2) テンションスプリングを取りはずし，マウンティングを取りはずす。



H6681

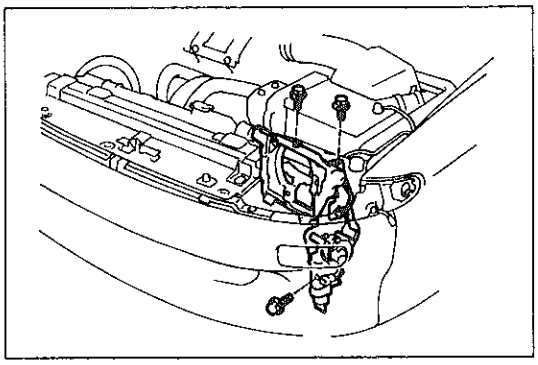
6 リトラクタブルヘッドランプブラケット取りはずし

(1) ブラケットを片手で支えながら，リトラクタブルヘッドランプロッドのブラケット側ジョイントを取りはずす。

注意 ・ジョイントがはずれたときブラケットが格納するため片手でブラケットを保持する。

・ヘッドランプブラケットなどに傷を付けないよう，ドライバーに保護テープを巻く。

無断複製禁止

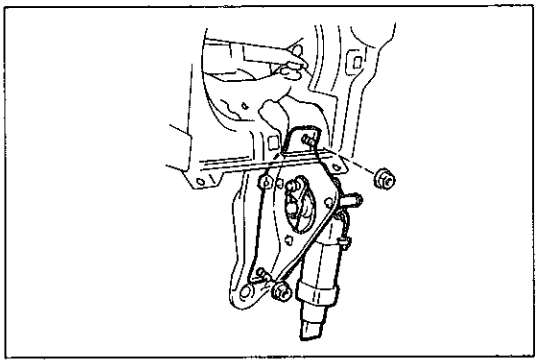


H6684

(2) ボルト３本を取り，ブラケットを取りはずす。

(3) コネクターの接続を切り離す。

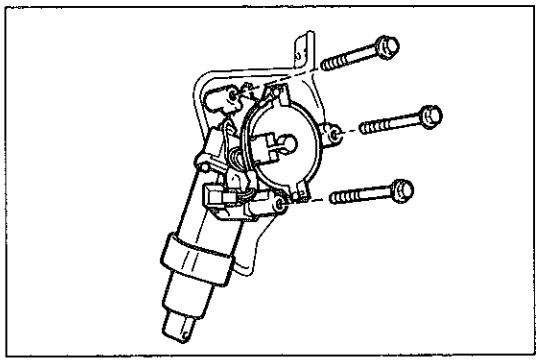
(4) W/Hのクランプをはずす。



H6683

7 ライトリトラクターモーター取りはずし

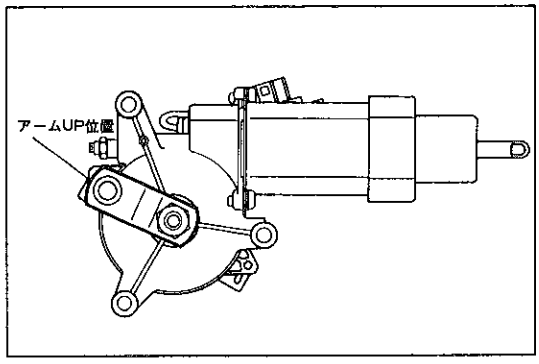
(1) ナット２個を取り，ブラケット　W/モーターを取りはずす。



H6685

(2) ボルト３本を取り，ブラケットを取りはずす。

(3) ロッドを取りはずす。



H6686

リトラクタブルヘッドランプブラケット　&　リトラクターモーター取り付け

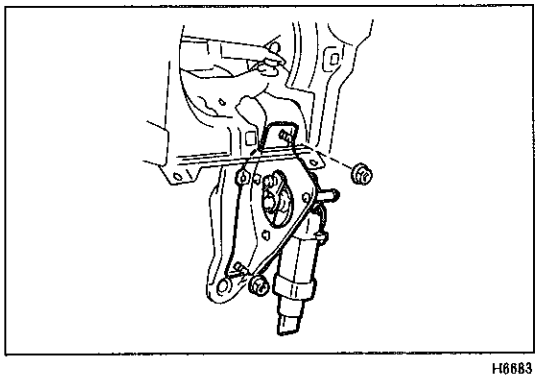
1 ライトリトラクターモーター取り付け

(1) モーターのハンドルを回し，UP位置に合わせる。

注意　モーターのアームがUP位置にある場合はハンドルを回さない。

(2) ロッドをモーターアームに取り付ける。

注意　ロッドの取り付け方向に気を付ける。(P11-11参照)

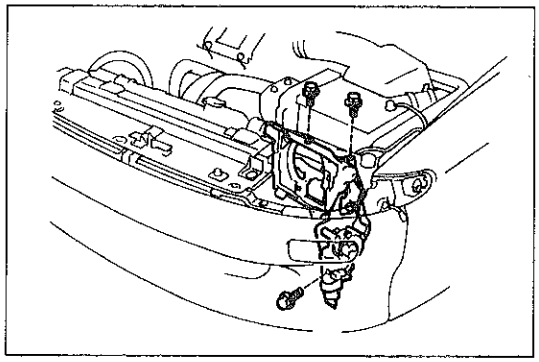


H6683

(3) モーターをブラケットにセットし，ボルト３本で取り付ける。

(4) ブラケット　W/モーターをリトラクタブルブラケットにセットし，ナット２個で取り付ける。

無断複製禁止



H6684

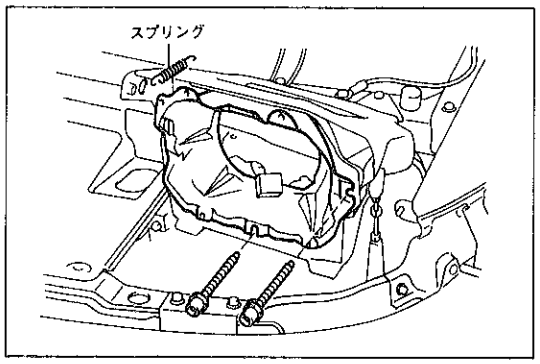
2 リトラクタブルヘッドランプブラケット取り付け

(1) ブラケットをセットし，ボルト3本で取り付ける。

(2) ロッドを取り付ける。

(3) W/Hのクランプを取り付ける。

(4) コネクターを接続する。

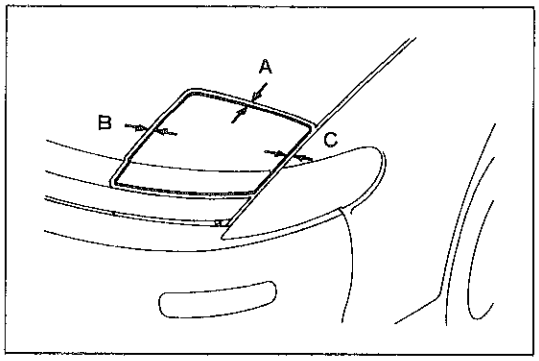


H6680

3 シールドビームマウンティングリング取り付け

(1) スプリング，エーミングスクリュー2本でリングをヘッドランプブラケットに取り付ける。

注意 エーミングスクリューの溝にリングの取り付け部を合わせる。



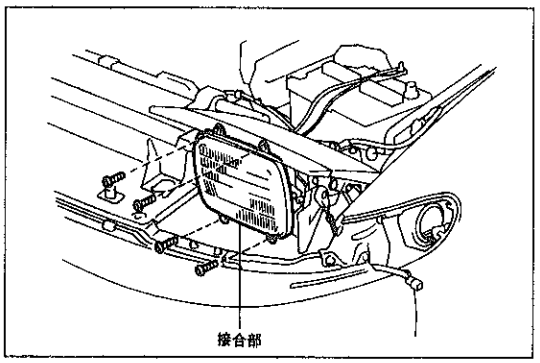
H6688

4 ヘッドランプフード取り付け，調整

(1) ヘッドランプフードを取り付け，スクリュー4本で段違いとすき間を基準値内に調整する。

基準値

部位 ＼ 基準値	段違い (mm)	すき間 (mm)
A部(ヘッドランプフード×エンジンフード上)	0.0	4.2
B部(ヘッドランプフード×エンジンフード横)	0.0	4.2
C部(ヘッドランプフード×フェンダー)	0.0	4.0



H6677

5 シールドビームユニット取り付け

(1) シールドビームユニットにコネクターを接続する。

(2) リテーニングリングの接合部（凸部）が車両下側になるようにスクリュー4本で取り付ける。

6 ヘッドランプドア取り付け

7 ラジエーターグリル取り付け

8 クリアランスランプ取り付け

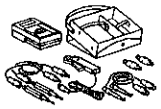
9 ヘッドランプ光軸調整

(P11-7参照)

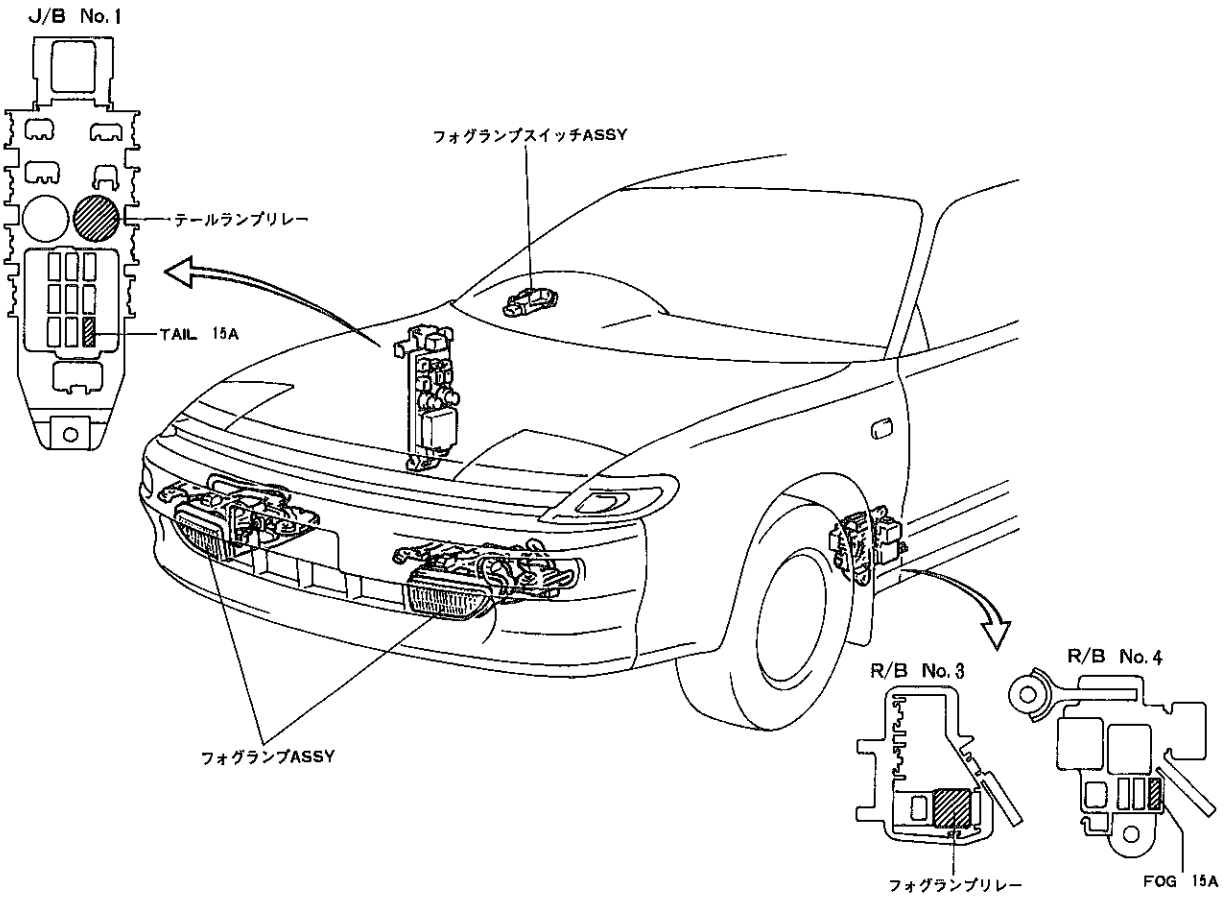
無断複製禁止

フォグランプ

準　備　品

工　具		09082-00012　トヨタエレクトリカルテスター	各部点検用

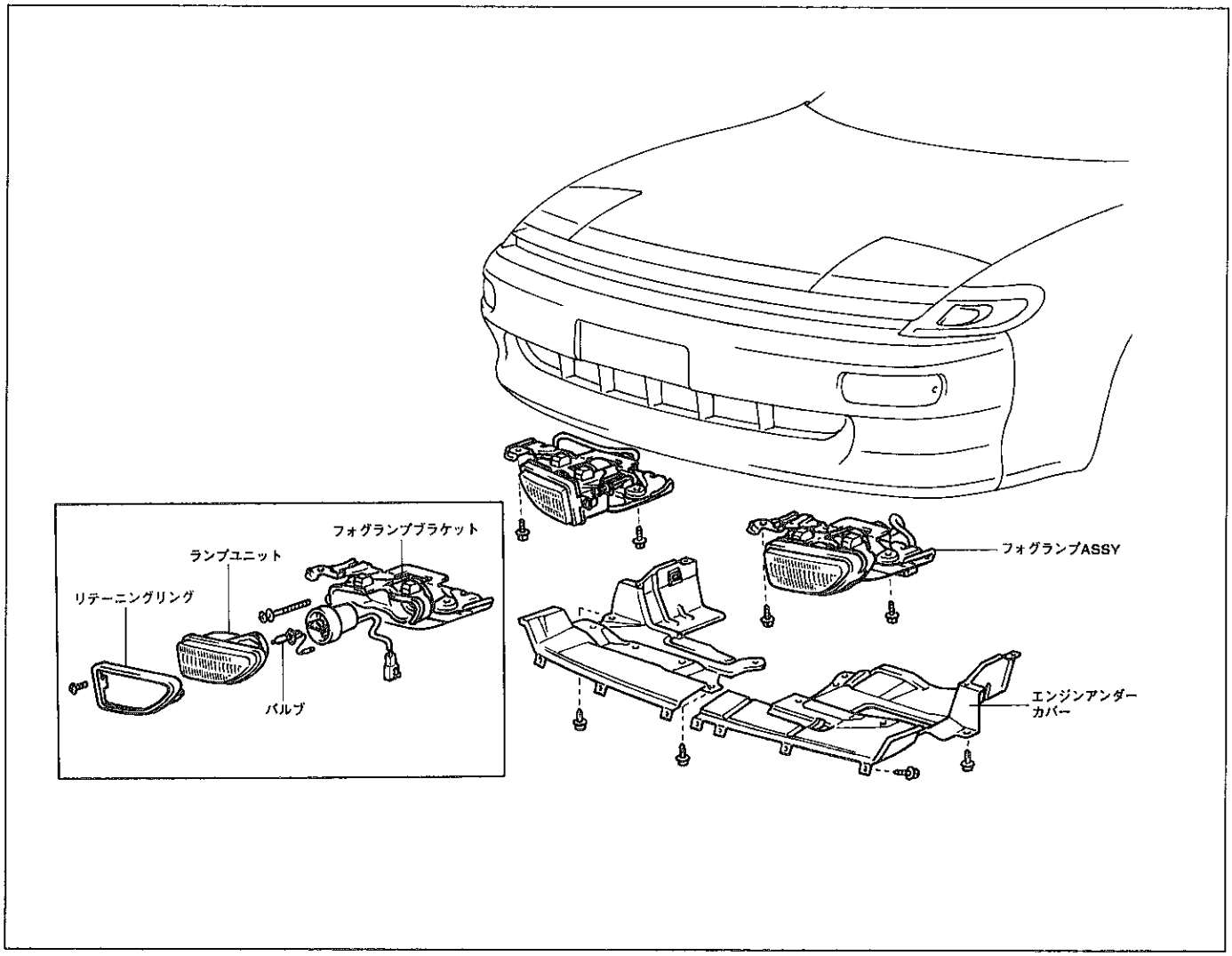
部品配置図



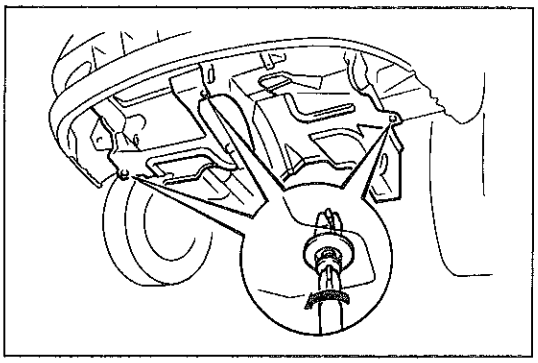
H6716

無断複製禁止

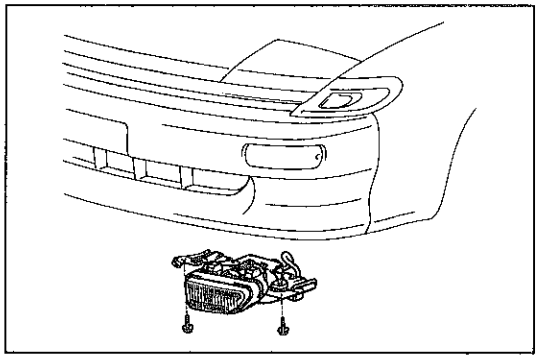
脱着構成図



H8717



U9952



H8718

フォグランプ取りはずし

1 エンジンアンダーカバー取りはずし

(1) クリップ3個を取りはずす。

(2) スクリュー9本をはずし，エンジンアンダーカバーライトを取りはずす。

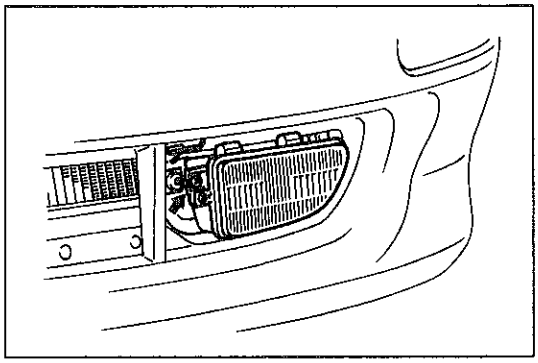
(3) スクリュー9本をはずし，エンジンアンダーカバーレフトを取りはずす。

2 フォグランプ取りはずし

(1) ボルト2本を取り，フォグランプを取りはずす。

(2) コネクターを切り離す。

無断複製禁止



H8719

フォグランプ取り付け

1　フォグランプ取り付け

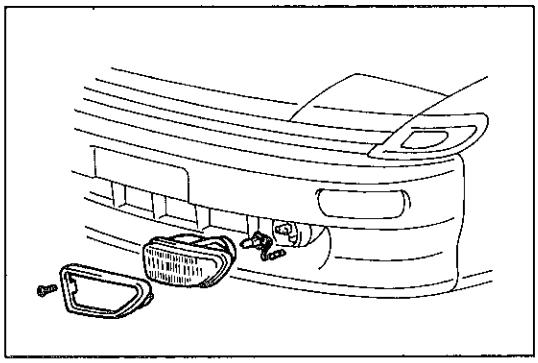
2　エンジンアンダーカバー取り付け

3　光軸調整（上下方向）

(1)　エーミングスクリューを回して調整する。

基　準　　40m以内を照らすこと

〈参考〉　エーミングスクリューをゆるめると手前を照らす。



H8720

フォグランプバルブ交換

1　フォグランプバルブ交換

(1)　スクリューをはずし，リテーニングを取りはずす。

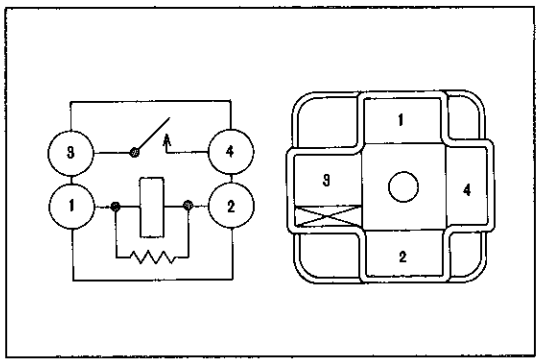
(2)　フォグランプユニットを手前に引き出し，カバーをはずす。

(3)　ワイヤハーネスの接続を切り離し，バルブを交換する。

(4)　ワイヤハーネスを接続する。

(5)　カバーを取り付ける。

(6)　フォグランプユニット，リテーニングリングをセットし，スクリューで取り付ける。



H6928

単体点検

フォグランプリレー

1　導通点検

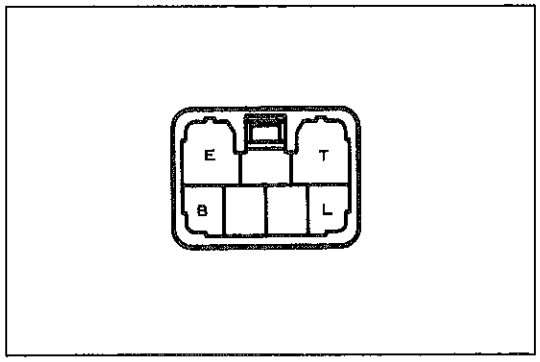
(1)　コネクター各端子間の導通を点検する。

基　準　　1端子↔2端子間……導通あり

3端子↔4端子間……導通なし

(2)　コネクターの1端子↔2端子間にバッテリー電圧を加えたとき，3端子↔4端子間の導通を点検する。

基　準　　導通あり

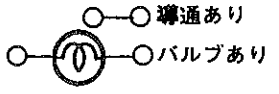


S-6-2

フォグランプスイッチ

1　導通および照明バルブ点検

(1)　コネクター各端子間の導通および照明バルブの点検を行う。



基　準

端子記号 / 切り替え	B	L	T	E_1
OFF				
ON				

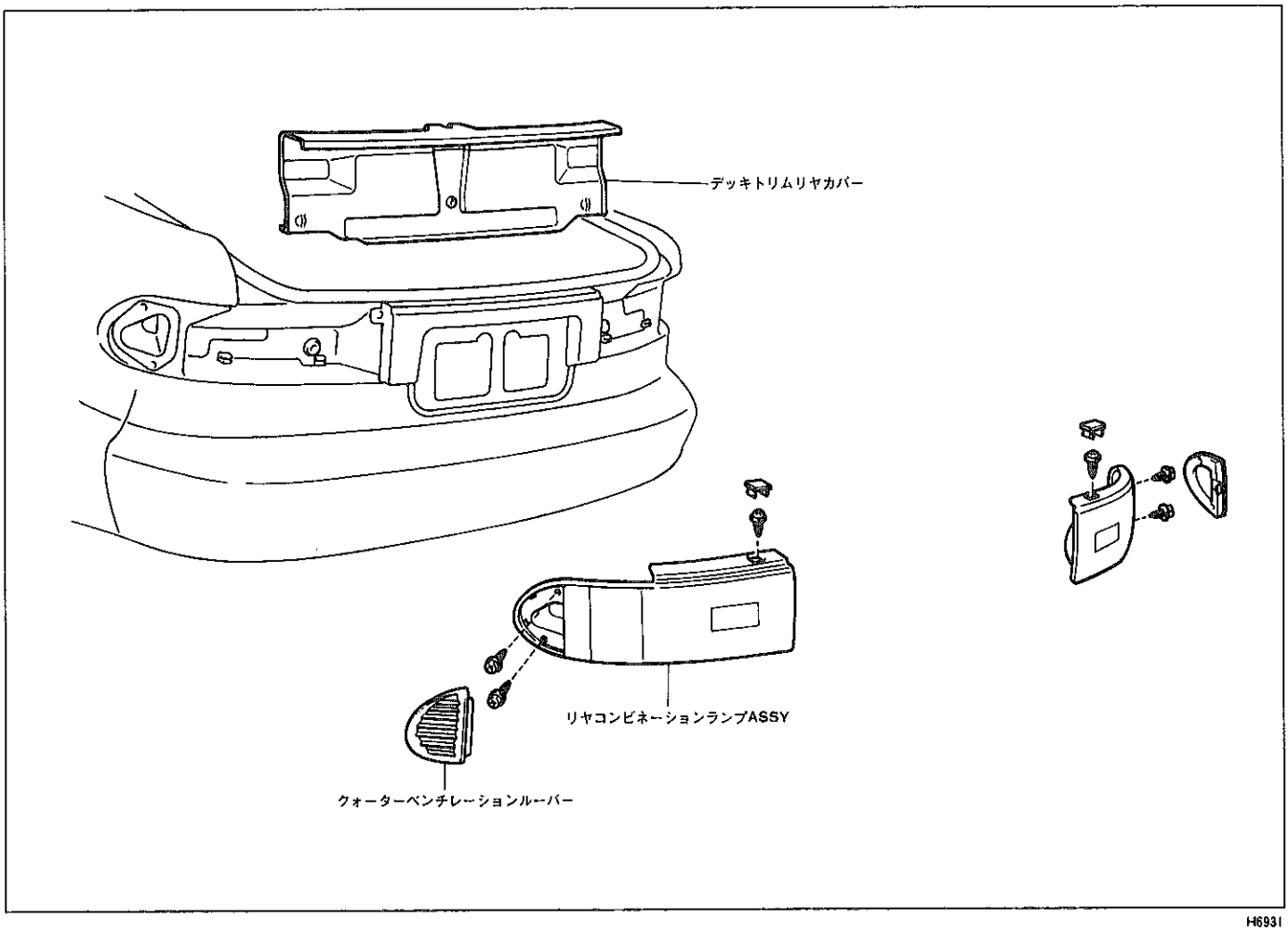
無断複製禁止

MEMO

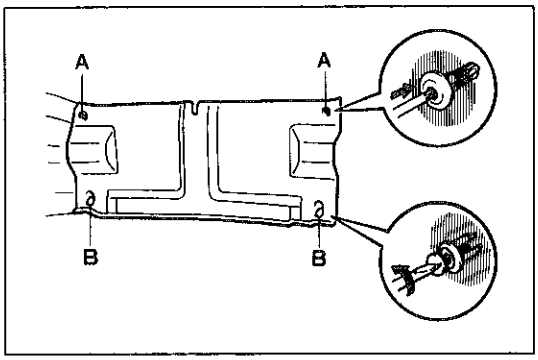
無断複製禁止

リヤコンビネーションランプASSY

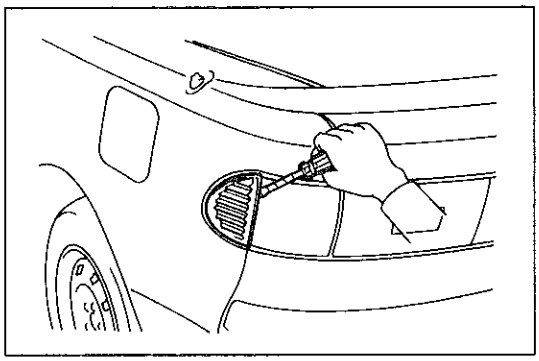
脱着構成図



H6931



U9715



U6951

リヤコンビネーションランプASSY取りはずし

1 デッキトリムリヤカバー取りはずし

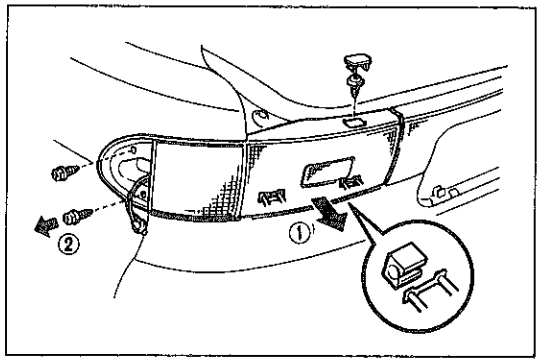
(1) クリップAを取りはずす。

(2) クリップBのかん合をはずし，デッキトリムリヤカバーを引っ張って取りはずす。

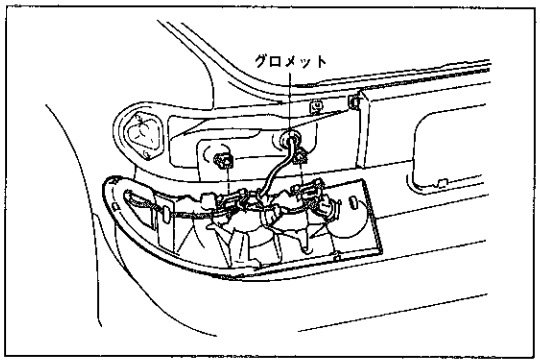
2 クォーターベンチレーションルーバー取りはずし

(1) 保護テープを貼った⊖ドライバーを使用して，ルーバーをこじてはずす。

無断複製禁止



H6668



H6671

3 リヤコンビネーションランプ取りはずし

(1) キャップをはずす。

(2) スクリュー3本を取りはずす。

(3) レンズをずらし，クリップのかん合をはずす。

(4) コネクターの接続およびグロメットのかん合をはずし，ランプを取りはずす。

リヤコンビネーションランプASSY取り付け

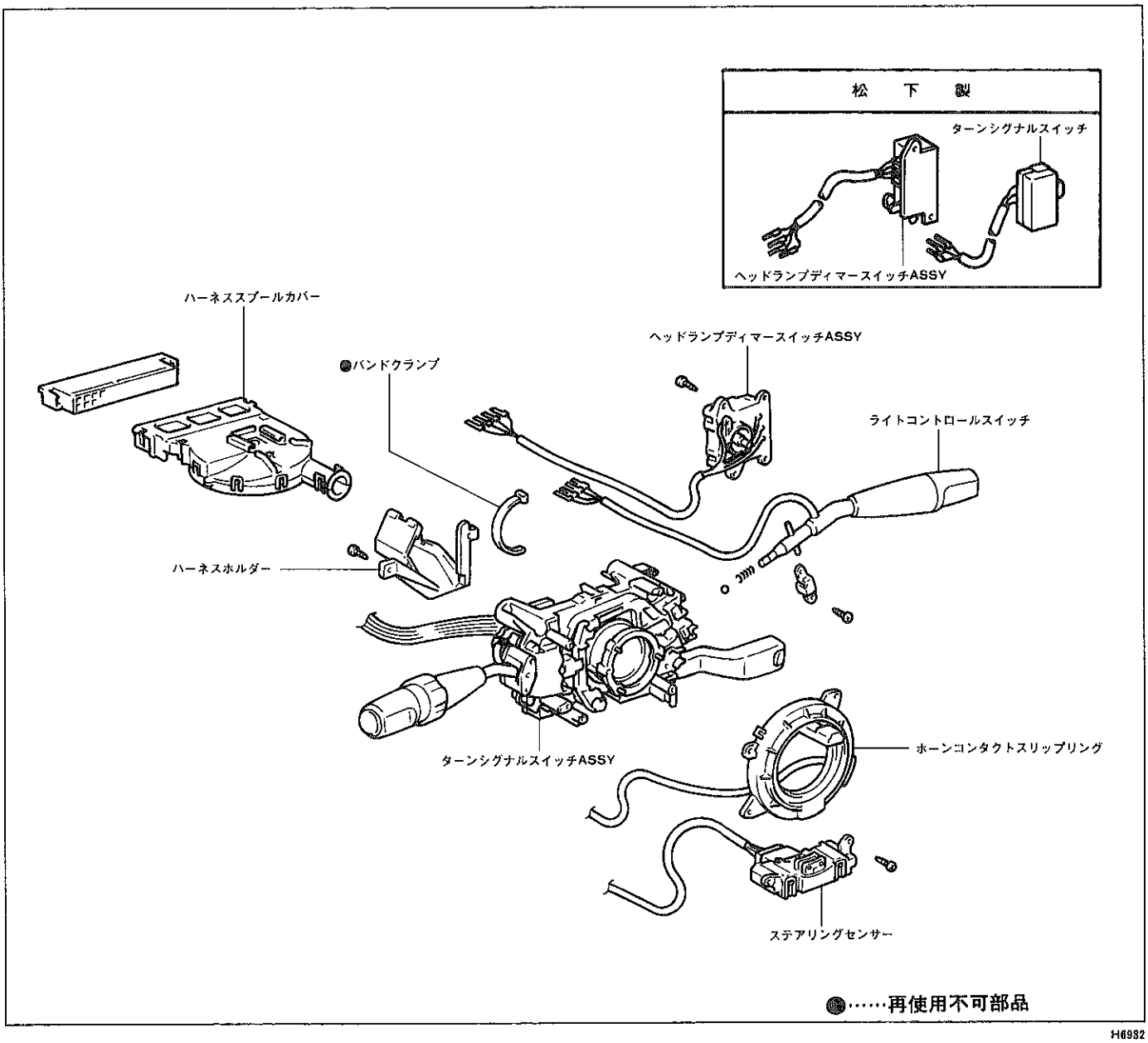
(1) 取り付けは，グロメットのかん合およびクリップ位置に注意し，取りはずしの逆手順で行う。

無断複製禁止

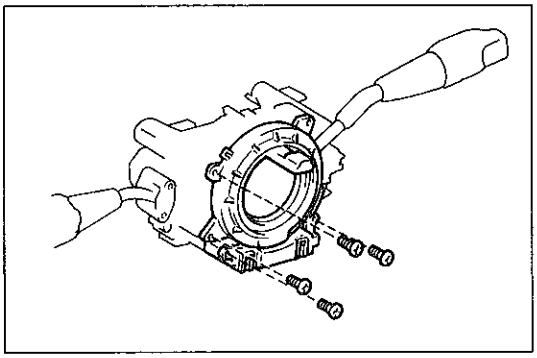
ターンシグナルスイッチASSY

注意 ステアリングホイールパッドは平坦な安定した場所に保管する。また，パッド面を上にして置き，絶対に物を上に積まない。(詳細はP9-2参照)

分解構成図



H6932



H6672

ライトコントロールスイッチ取りはずし

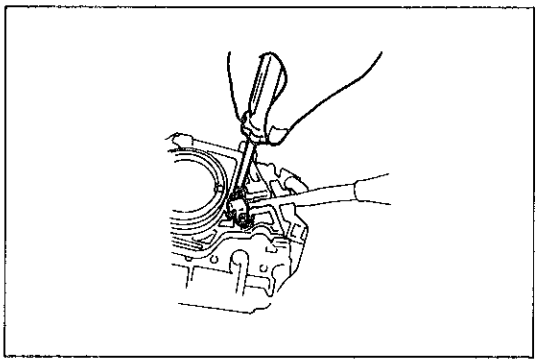
1　ターンシグナルスイッチASSY取りはずし
(P8-19参照)

2　ホーンコンタクトスリップリング取りはずし

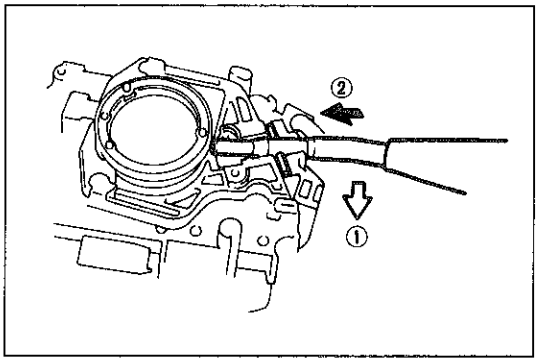
(1)　スクリュー５本を取り，スリップリングを取りはずす。

(2)　コネクターの接続を切り離す。

無断複製禁止

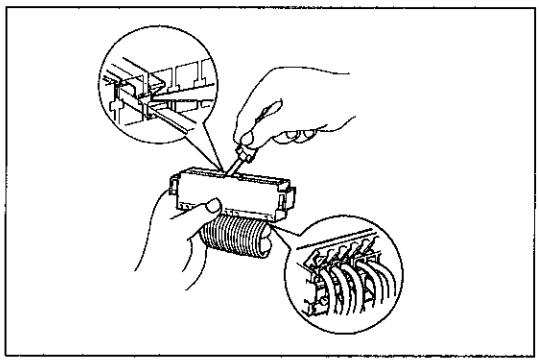

H6694

3 ハーネススプールカバー取りはずし
（テレスコピック付き）
4 ハーネスホルダー取りはずし
5 バンドクランプ取りはずし
6 ライトコントロールスイッチ取りはずし
(1) スクリュー２本を取りはずす。



H6682

(2) レバーの位置をHIにしてプレートおよびスチールボールを取りはずす。
(3) スイッチASSYを中心方向にスライドさせロックをはずし取りはずす。

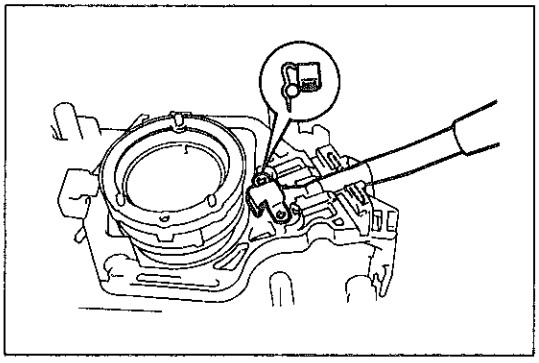

H5337

(4) コネクターのロックをはずす。
(5) コネクター端子のロックをはずし端子を抜き取る。

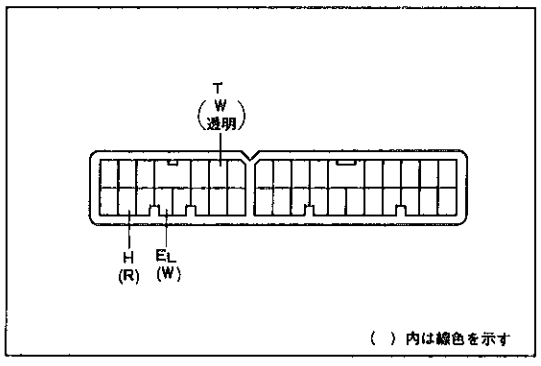
ライトコントロールスイッチ取り付け

1 ライトコントロールスイッチASSY取り付け
(1) スイッチをスライドさせてかん合させる。
(2) レバーの位置をHIにしてスチールボールおよびプレートを取り付ける。
(3) レバーをLo側に動かすと同時にプレートを押し込む。
(4) スクリュー２本を取り付ける。
(5) スイッチがスムースに作動することを確認する。
(6) コネクターにスイッチ端子を取り付ける。

重要 線色を確認して，端子の取り付け位置を間違えない。


H6673

2 クランプ，テープ取り付け
3 ハーネスホルダー取り付け
4 ホーンコンタクトスリップリング取り付け
5 ハーネススプールカバー取り付け
（テレスコピック付き車）
6 ターンシグナルスイッチASSY取り付け

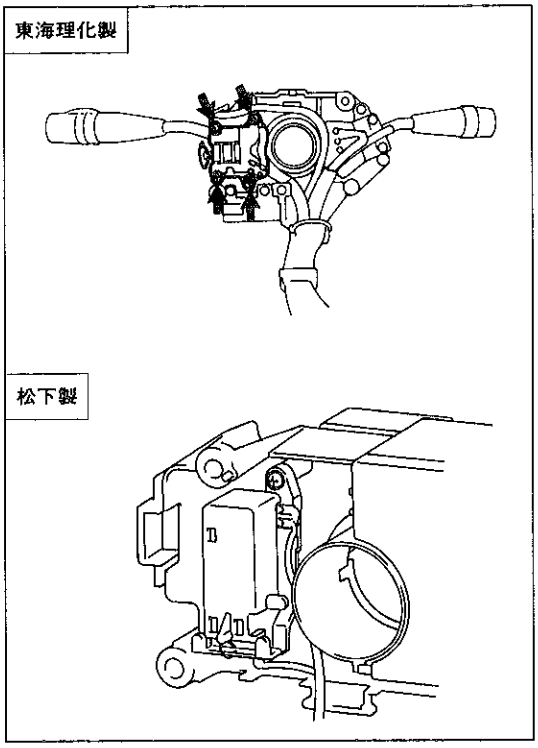


V-34-2

無断複製禁止

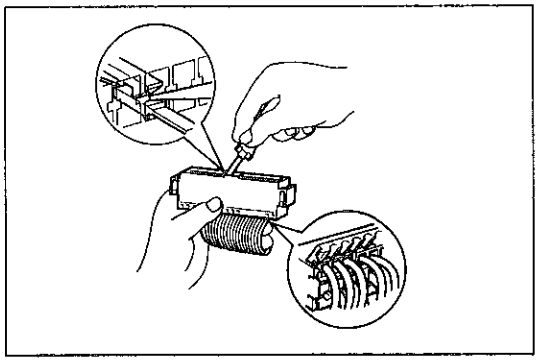
ヘッドランプディマースイッチASSY取りはずし

1 ターンシグナルスイッチASSY取りはずし
(P8-19参照)
2 ハーネススプールカバー取りはずし
(テレスコピック付き)
3 ハーネスホルダー取りはずし
4 バンドクランプ取りはずし



H6674 H5593

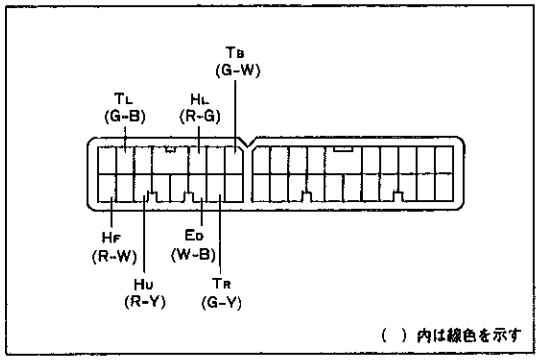
5 ヘッドランプディマースイッチ取りはずし
(1) スクリュー4本(松下製は2本)を取りディマースイッチを取りはずす。


H5337

(2) コネクターのロックをはずす。
(3) コネクター端子のロックをはずし端子を抜き取る。

ヘッドランプディマースイッチASSY取り付け

1 取り付けは下記の要領を除いてライトコントロールスイッチ取り付けと同じ作業で行う。
2 ヘッドランプディマースイッチASSY取り付け
(1) スクリュー4本(松下製は2本)を付けディマースイッチを取り付ける。
(2) スイッチがスムースに作動することを確認する。
(3) コネクターにスイッチ端子を取り付ける。



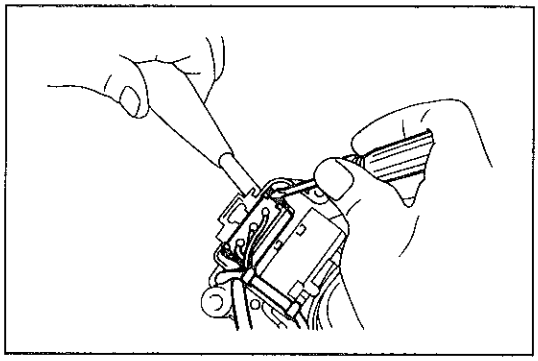
V-34-2

注意 線色を確認して，端子の取り付け位置を間違えない。

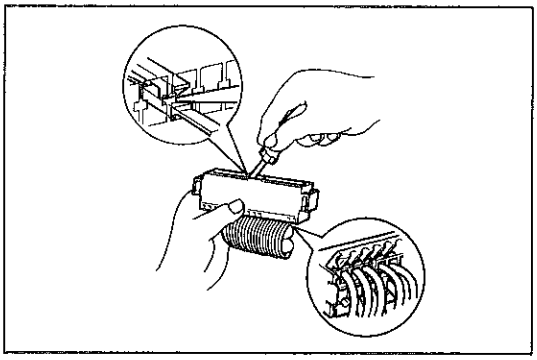
無断複製禁止

ターンシグナルスイッチ取りはずし（松下製）

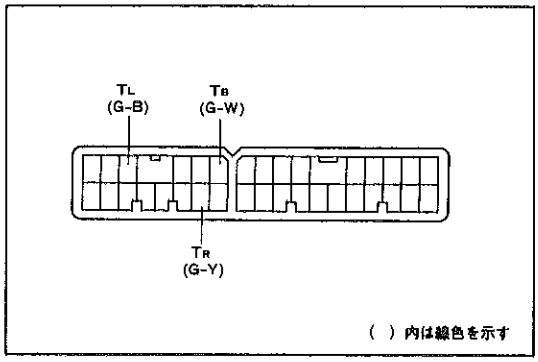
1 ターンシグナルスイッチASSY取りはずし
（P8-19参照）
2 ハーネススプールカバー取りはずし
（テレスコピック付き）
3 ハーネスホルダー取りはずし
4 バンドクランプ取りはずし


H5279

5 ターンシグナルスイッチ取りはずし
(1) ロック２箇所をはずしターンシグナルスイッチを取りはずす。


H5337

(2) コネクターのロックをはずす。
(3) コネクター端子のロックをはずし端子を抜き取る。



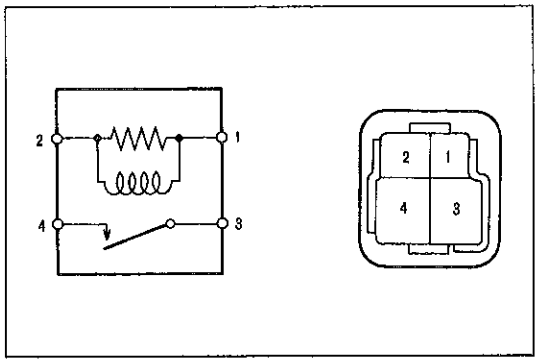
V-34-2

ターンシグナルスイッチ取り付け（松下製）

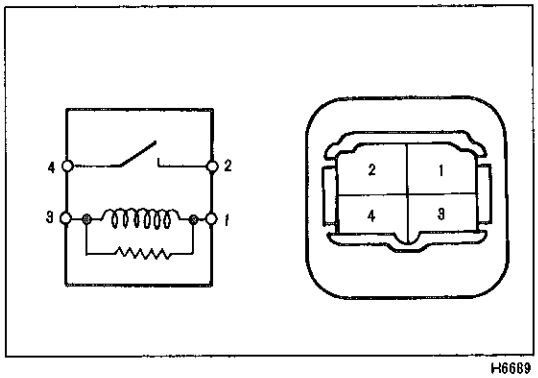
1 取り付けは下記の要領を除いてライトコントロールスイッチ取り付けと同じ作業で行う
2 ターンシグナルスイッチ取り付け
(1) スクリュー２本を付けターンシグナルスイッチを取り付ける。
(2) スイッチがスムースに作動することを確認する。
(3) コネクターにスイッチ端子を取り付ける。

注意 線色を確認して，端子の取り付け位置を間違えない。

無断複製禁止



H6284



H6689

単体点検

ライトコントロールリレー（ヘッド）

1　導通点検

(1)　コネクター各端子間の導通を点検する。

基　準　　1端子↔2端子間……導通あり

3端子↔4端子間……導通なし

(2)　コネクターの1端子↔2端子間にバッテリー電圧を加えたとき，3端子↔4端子間の導通を点検する。

基　準　　導通あり

ライトコントロールリレー（テール）

1　導通点検

(1)　コネクター各端子間の導通を点検する。

基　準　　1端子↔3端子間……導通あり

2端子↔4端子間……導通なし

(2)　コネクターの1端子↔3端子間にバッテリー電圧を加えたとき，2端子↔4端子間の導通を点検する。

基　準　　導通あり

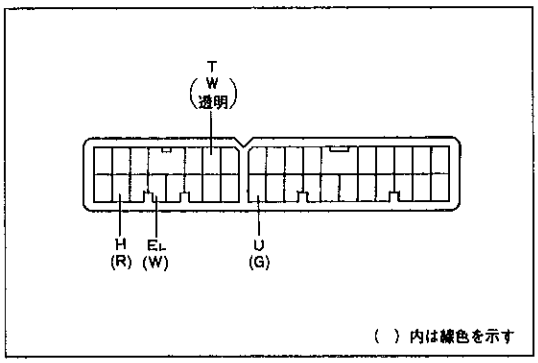
ライトコントロールスイッチ

1　導通点検

(1)　コネクター各端子間の導通を点検する。

基　準　　○——○導通あり

端子記号 / 切り替え	EL	T	H	U
OFF				
UP	○	—	—	○
TAIL	○	○	—	○
HEAD	○	○	○	



V-34-2

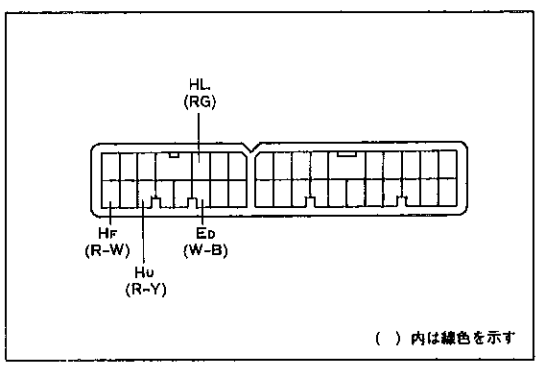
ヘッドランプディマースイッチ

1　導通点検

(1)　コネクター各端子間の導通を点検する。

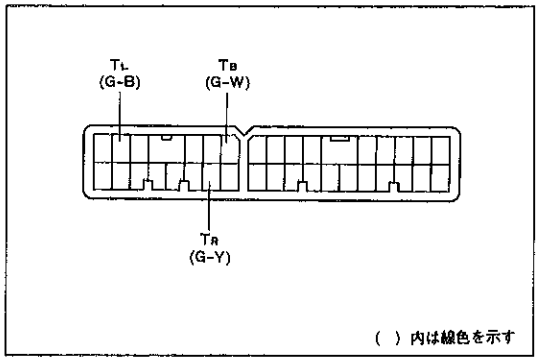
基　準　　○——○導通あり

端子記号 / 切り替え	ED	HL	HU	HF
FLASH	○	—	○	○
LOW　BEAM	○	○		
HIGH　BEAM	○	—	○	

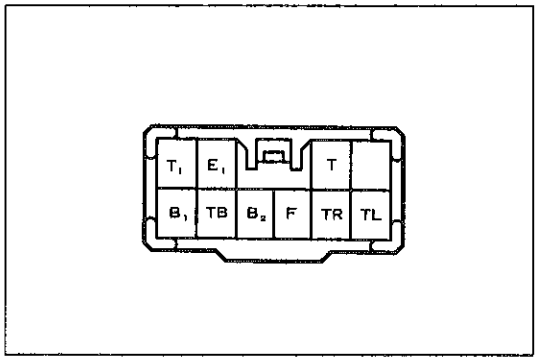


V-34-2

無断複製禁止



V-34-2



S-10-2

ターンシグナルランプスイッチ

1 導通点検

(1) コネクター各端子間の導通を点検する。

基 準 ○——○導通あり

切り替え＼端子記号	TB	TR	TL
右	○———	———○	
ニュートラル			
左	○———	———	———○

ハザードウォーニングシグナルスイッチ

1 導通および照明バルブ点検

(1) コネクター各端子間の導通および照明バルブの点検を行う。

基 準 ○——○導通あり

○—Ⓝ—○バルブあり

切り替え＼端子記号	B1	B2	F	TB	TL	TR	T1	T	E1
OFF	○———		———○					○—Ⓝ—○	
ON		○———	———○	○———	———○	———○	———○		

ターンシグナルフラッシャー

1 作動点検

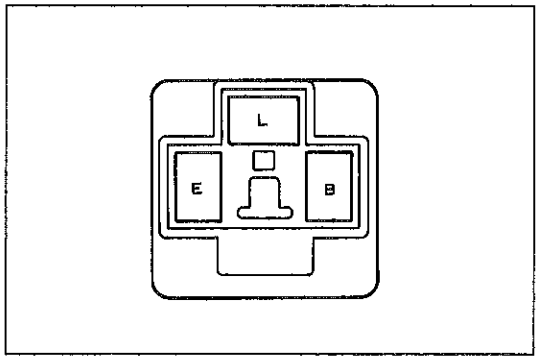
(1) 車両側コネクターのE端子とボデーアース間に導通があることを点検する。

(2) 車両側コネクターとフラッシャー側コネクターを接続する。

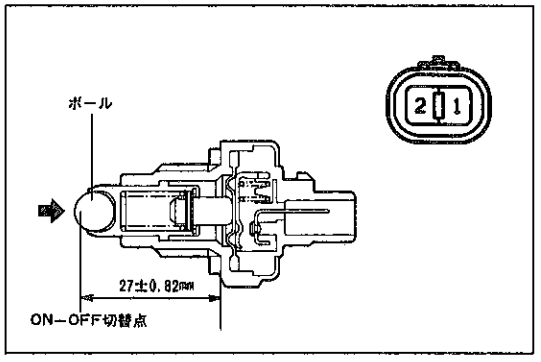
(3) (2)の状態で各端子とボデーアース間の電圧を測定する。

基準値

端子		測定条件	電圧
入力	B	ハザードS/W OFF→ON	0 V→9 V以上
		イグニッションS/W OFF→ON	0 V→9 V以上
出力	L	イグニッションS/W ON，ターンシグナルS/W（右または左）OFF→ON	0→0↔9 V以上を60～120回/分で繰り返す
		ハザードS/W OFF→ON	



H5168



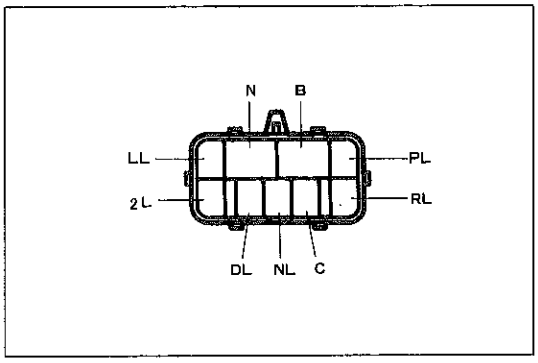
H5598 IS-2-2-A

バックアップランプスイッチ（M/T車）

1 導通点検

(1) ボールを押し込だとき，コネクターの1端子↔2端子間に導通があることを確認する。

無断複製禁止



SH-9-2-A

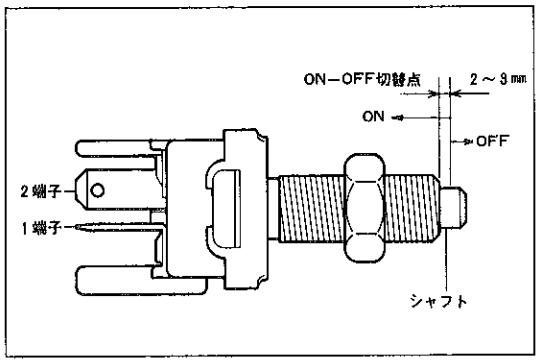
ニュートラルスタートスイッチ（A/T車）

1　導通点検

(1)　コネクター各端子間の導通を点検する。

基　準　　○——○導通あり

シフトレバー位置＼端子記号	B	N	C	PL	RL	NL	DL	2L	LL
P	○	○	○	○					
R			○		○				
N	○	○	○			○			
D			○				○		
2			○					○	
L			○						○



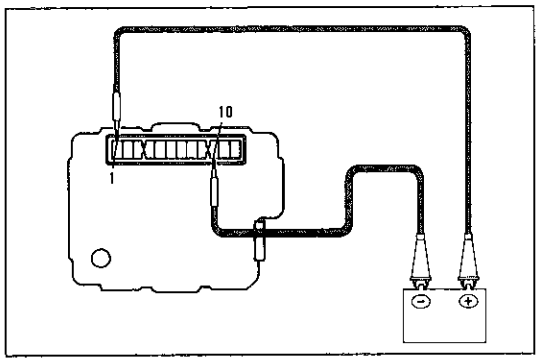
H5599

ストップランプスイッチ

1　導通点検

(1)　シャフトを押し込んだとき，コネクターの1端子↔2端子間の導通を点検する。

基　準　　図に示す

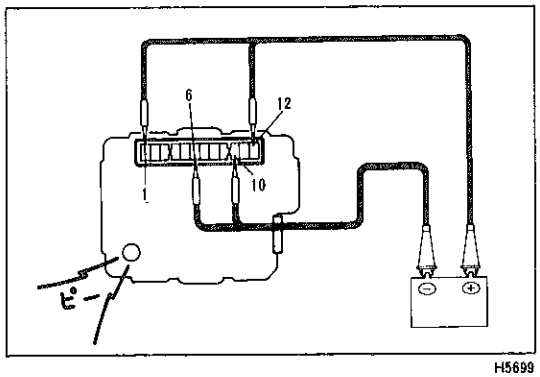


H5698

インテグレーションリレー

1　ライト消し忘れウォーニングブザー作動点検

(1)　コネクターの1端子にバッテリーの⊕，10端子にバッテリーの⊖を接続する。

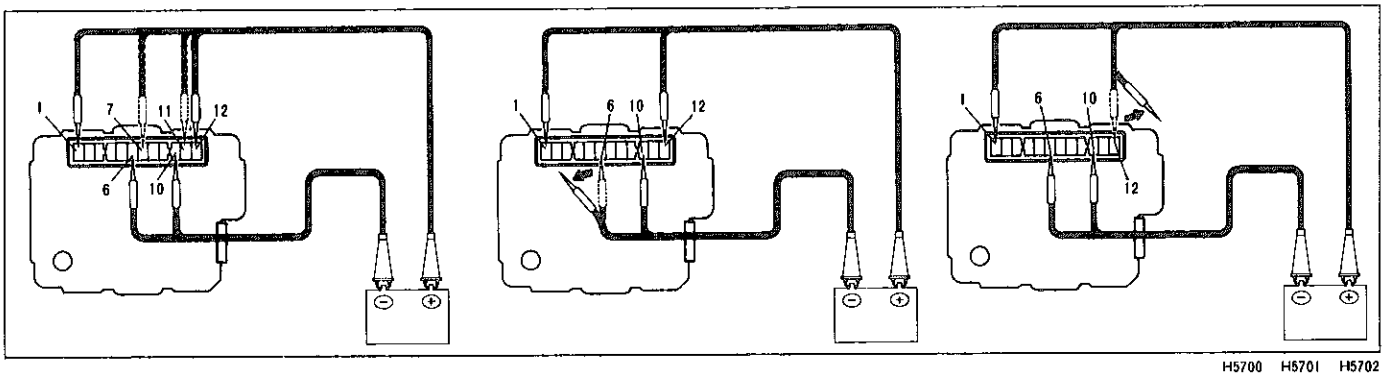


H5699

(2)　コネクターの12端子にバッテリーの⊕，6端子にバッテリーの⊖を接続したときブザーが鳴ることを確認する。

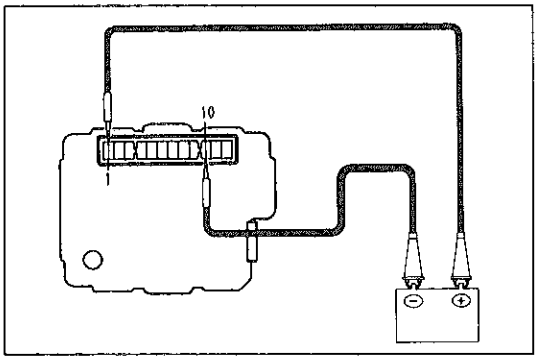
(3)　(2)の状態から次の作業のいずれかを行ったときブザー音が止まることを確認する。

基　準　・コネクターの7または11端子にバッテリー⊕を接続する
・コネクターの6端子からバッテリー⊖を切り離す
・コネクターの12端子からバッテリー⊕を切り離す



H5700　H5701　H5702

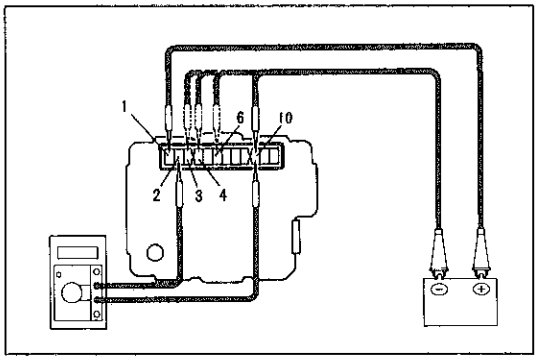
無断複製禁止



H5698

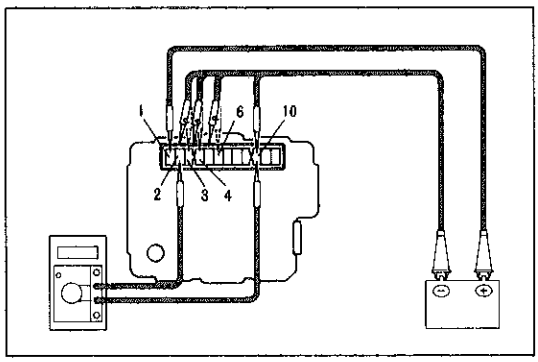
2 イグニッションキー照明点検

(1) コネクターの1端子にバッテリーの⊕，10端子にバッテリーの⊖を接続する。



H5703

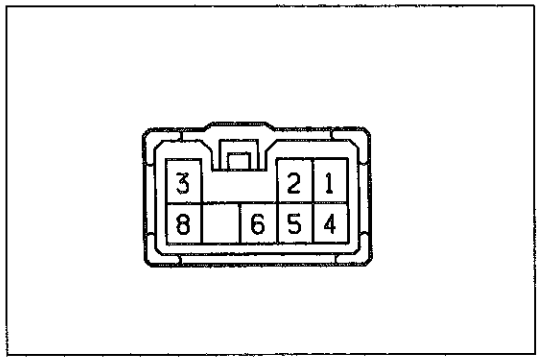
(2) コネクターの3，4，6端子のいずれかにバッテリーの⊖を0.5秒以上接続したとき，2端子と10端子間に導通があることを確認する。



H5704

(3) コネクターの3，4，6端子からバッテリー⊖を切り離したとき2端子と10端子間の導通を点検する。

基　準　2端子↔10端子間……4～6秒後に導通がなくなる



S-8-2

ランプフェイリアインジケーターセンサー

1 作動点検

(1) 下記の点検順序，指示に従って各端子とボデーアース間の導通，電圧を測定する。なお，表中の“接続切り車両側”はコネクターの接続を切り離し車両側のコネクターで点検することを表し，“コネクター接続”はコネクターを接続した状態で点検することを表す。

注意　ストップランプ，テールランプはすべて正常な状態で行う。

基　準

順序	測定コネクター条件	端子番号	項目	点　検　条　件	基　準	基準外の場合の不具合箇所
1	接続切り車両側	8	導通	常　時	導通あり	車両側
2		5	電圧	イグニッションS/W　OFF→ON	0 V→10～14 V	
3		4	電圧	ブレーキペダル解放→踏む	0 V→9 V以上	
4		2	電圧	ライトコントロールS/W　OFF→TAIL	0 V→9 V以上	

無断複製禁止

順序	測定コネクター条件	端子番号	項目	点検条件	基準	基準外の場合の不具合箇所
5	コネクター接続	1	電圧	ブレーキペダル解放→踏む	0 V→9 V以上	センサー
6		6	電圧	ライトコントロールS/W　OFF→TAIL	0 V→9 V以上	
7		3	電圧	エンジン回転中，ライトコントロールS/W　TAIL→リヤコンビネーションランプのコネクターの片側を切り離す	9 V以上→0.5～2 V	
				エンジン回転中，リヤコンビネーションランプのコネクターの片側を取りはずし，ブレーキペダル解放→踏む	9 V以上→0.5～2 V	

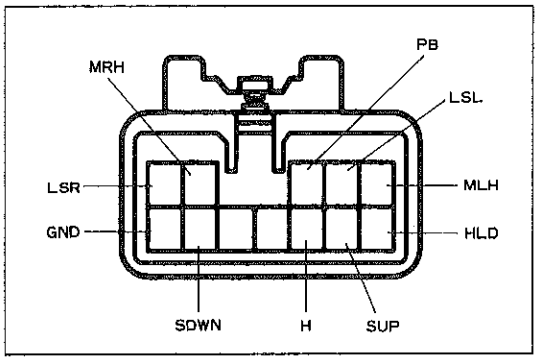
ライトリトラクターリレー

1　導通点検

(1)　コネクター各端子間の導通を点検する

基　準　　○——○導通あり

切り替え＼端子記号	MLH	LSL	PB	MRH	LSR	GND
常　時	○	○	○	○	○	○
PB端子↔LSL端子間にバッテリー電圧を加える	○		○			
PB端子↔LSR端子間にバッテリー電圧を加える			○		○	



e-12-2

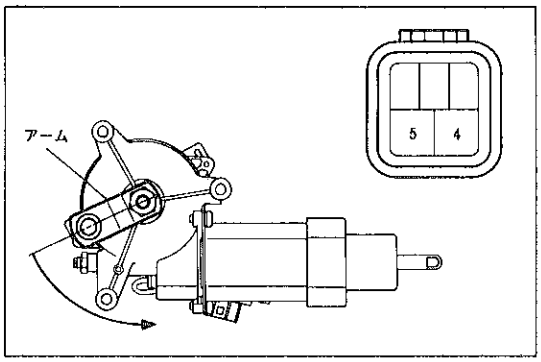
2　作動点検

(1)　コネクターを接続した状態で各端子とボデーアース間の電圧および導通を点検する。

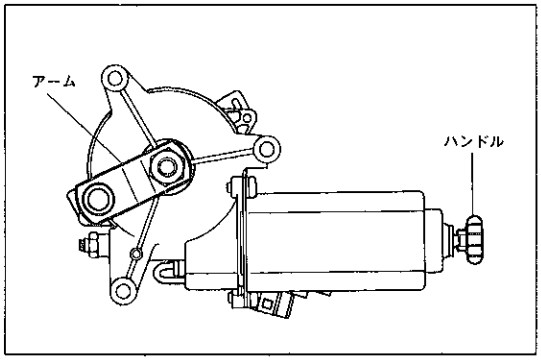
基　準

端子番号	測定項目	測定条件	基準
PB	電圧	常　時	10～14 V
HLD	導通	ライトコントロールスイッチ　HOLD時	導通あり
SUP	電圧	ヘッドランプ　DOWN状態	10～14 V
		ヘッドランプ　UP状態(ライトコントロールスイッチ　HOLD)	10～14 V
		・ヘッドランプ点灯状態 ・H端子↔GND端子間を短絡	0 V
		・ライトコントロールスイッチ　OFF→HEAD→OFF ・ヘッドランプディマースイッチ　Lo→FLASH→Lo	10～14 V→0 V→$1^{+1.5}_{-0.5}$ 秒後 10～14 V
H	電圧	・ライトコントロールスイッチ　OFF→HEAD ・ヘッドランプディマースイッチ　Lo→FLASH	10～14 V→0 V
SDWN	電圧	ヘッドランプ　UP状態	10～14 V
		・ライトコントロールスイッチ　OFF→HEAD→OFF ・ヘッドランプディマースイッチ　Lo→FLASH→Lo	10～14 V→0 V→それから10±4 秒後10～14 V　DOWN作動開始後0 V，
GND	導通	常　時	導通あり

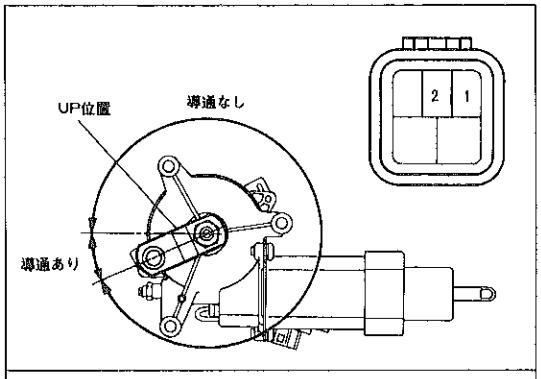
無断複製禁止

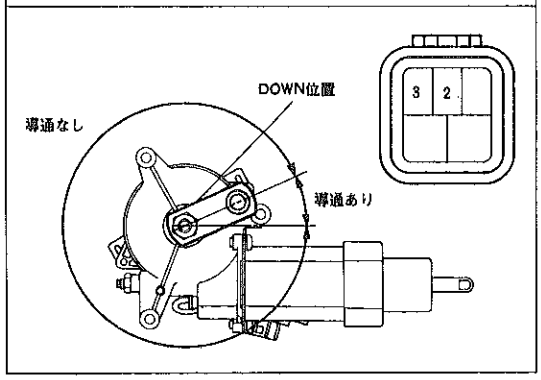


H6690 H4464



H6691





H6692 H4464 H6693 H4464

ライトリトラクターモーター

1 作動点検

(1) コネクターの4端子にバッテリーの⊕，5端子にバッテリーの⊖を接続したとき，モーターのアームが異音なく駆動軸より見て左回転することを確認する。

注意 左側のモーターは右回転する。

2 ハンドル作動点検

(1) ハンドルを回転させるとアームが回転することを確認する。

(2) ハンドルを逆回転させるとアームも逆回転することを確認する。

3 導通点検

(1) 1または2の要領でモーターのアームを回転させたとき，コネクター各端子間の導通を点検する。

○——○導通あり

基 準 ○—▶|—○ダイオードあり

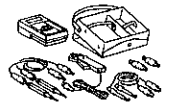
端子番号 / アームの位置	2	1	3
UP位置	○—▶|—○		
DOWN位置	○—|◀—		○

注意 左側のモーターは，左図のイラストと対称になります。

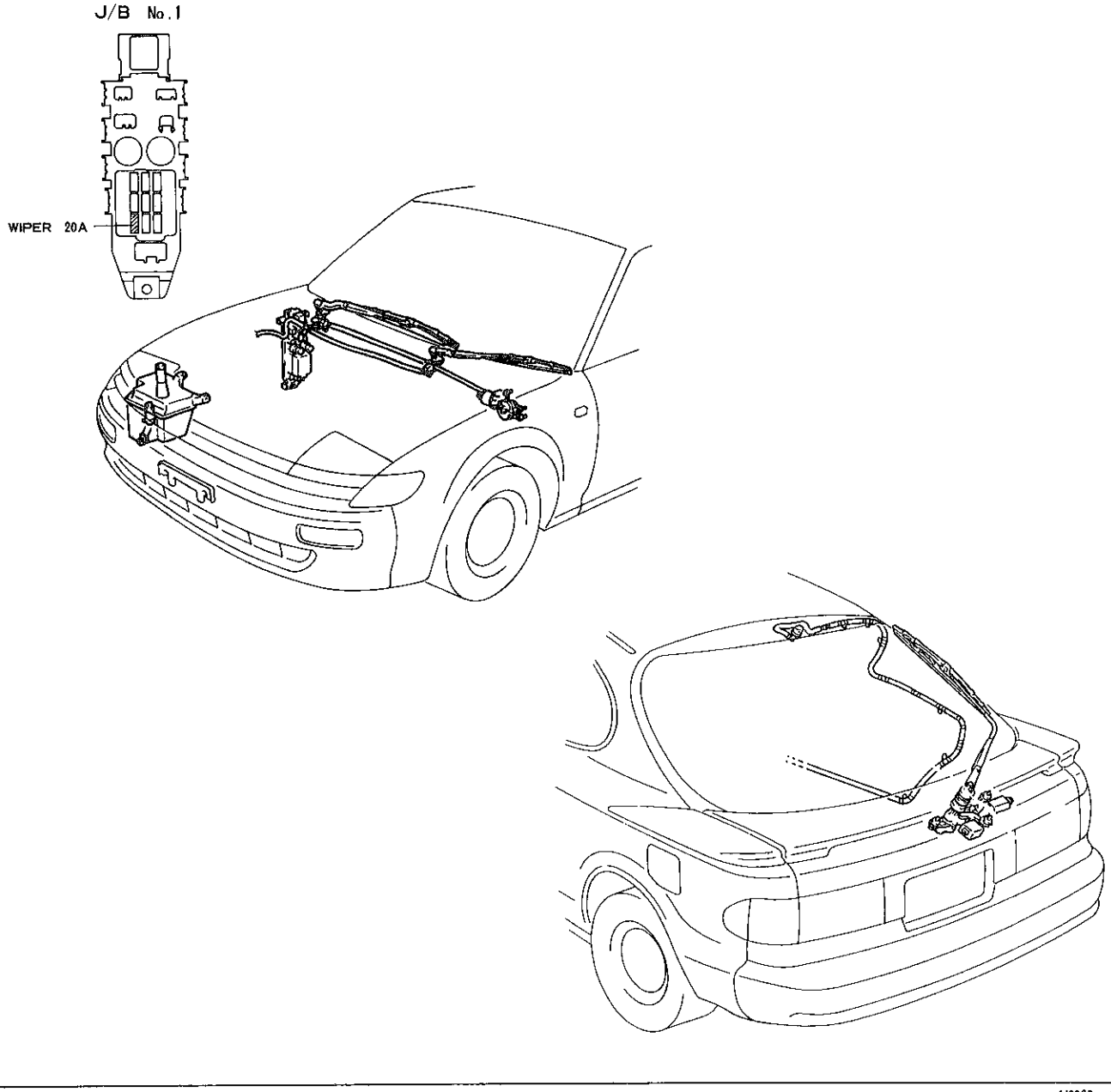
無断複製禁止

ワイパー　&　ウォッシャー

準　備　品

計　器		09082-00012　トヨタエレクトリカルテスター	各部点検用
		09083-00060　ミニテストリード	コネクター部点検用
その他	半田ごて，半田		リヤワイパーリレー脱着用

部品配置図



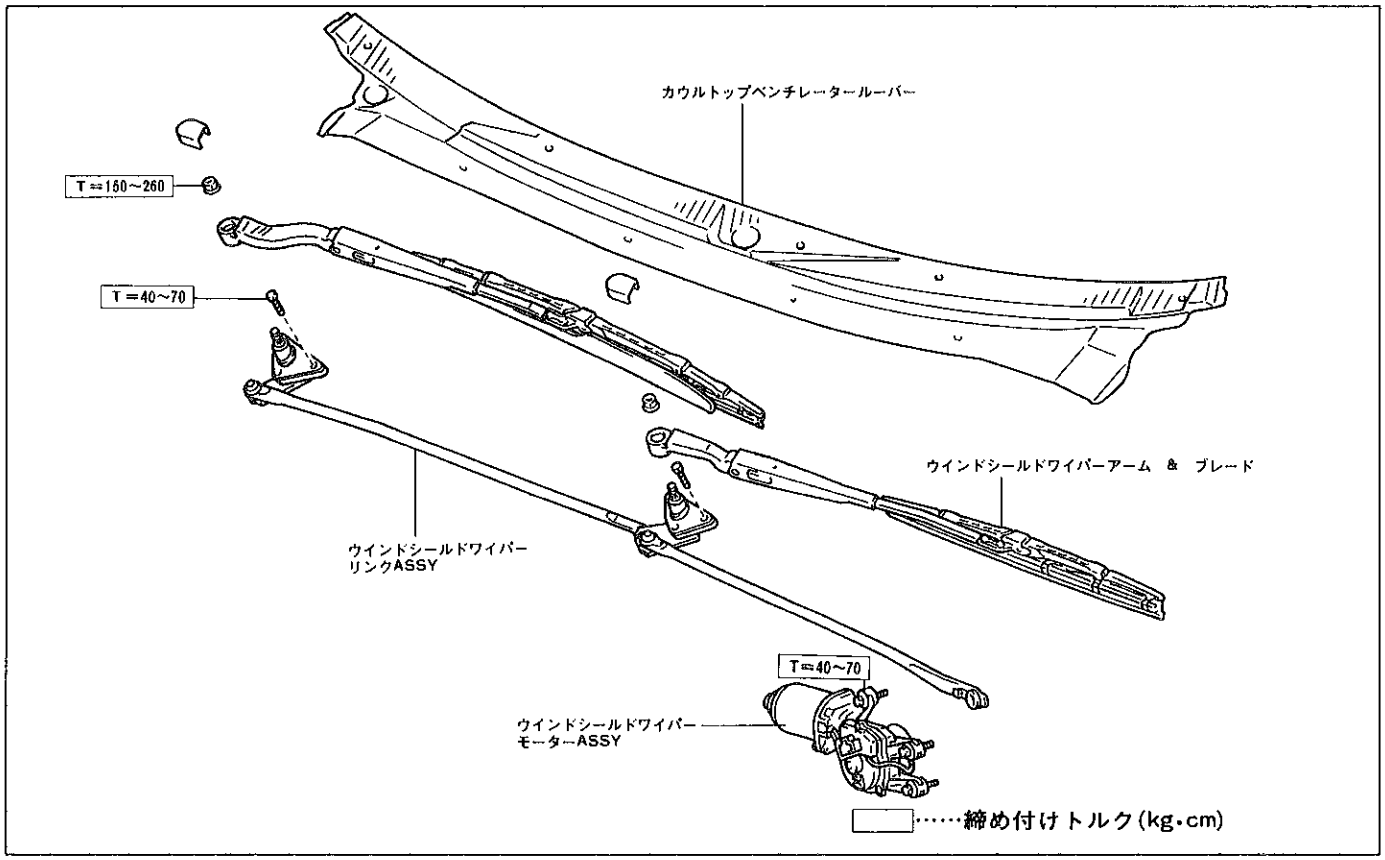
H6938　CJ0390

無断複製禁止

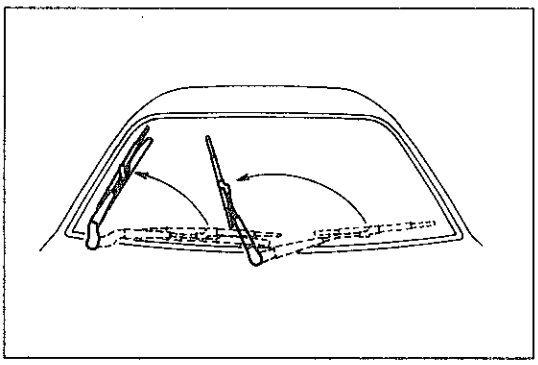
フロントワイパー

フロントワイパーモーター　&　リンク

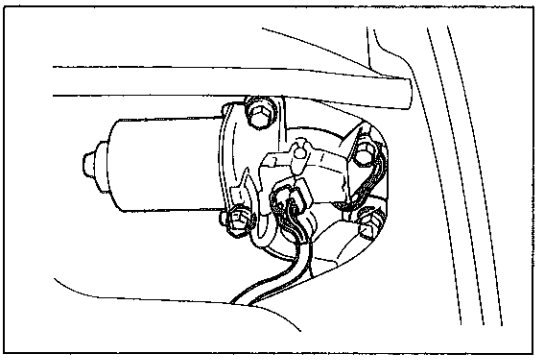
脱着構成図



H6717



H6718



H6719

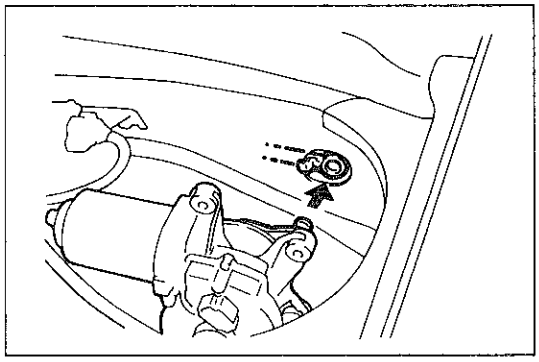
ワイパーモーターASSY取りはずし

1　ワイパーモーターASSY取りはずし

(1)　ワイパーモーターを作動させ，ワイパーアームが反転するところでワイパーモーターを停止させる。

(2)　ボルト4本およびコネクターをはずし，ワイパーモーターをフリーにする。

無断複製禁止

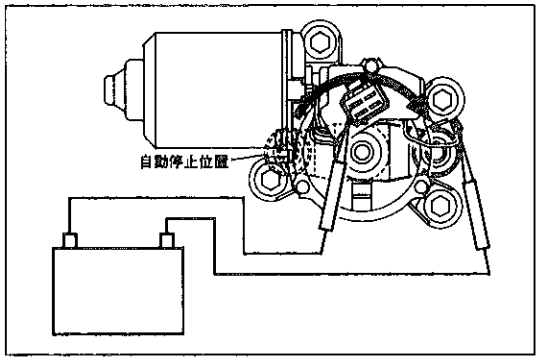

H6720

(3) ワイパーリンク先端のピボットのフックをパネルに引っ掛けた後，ワイパーモーターを取りはずす。

ワイパーモーターASSY取り付け

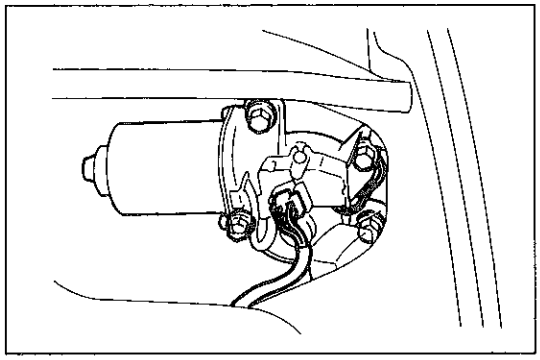
1 ワイパーモーターASSY取り付け

(1) ワイパーモーターのピボットをワイパーリンクに取り付ける。



H6721

〈参考〉 ワイパーモーターが自動停止位置にある場合は，ワイパーモーターを作動させ，ワイパーモーターのリンクを約180°回転させる。


H6719

(2) ボルト4本を締め付け，コネクターを接続する。

T＝40～70kg･cm

注意 アース線端子が確実に固定されていることを確認する。

(3) ワイパーモーターを作動させ，自動停止位置に停止させる。

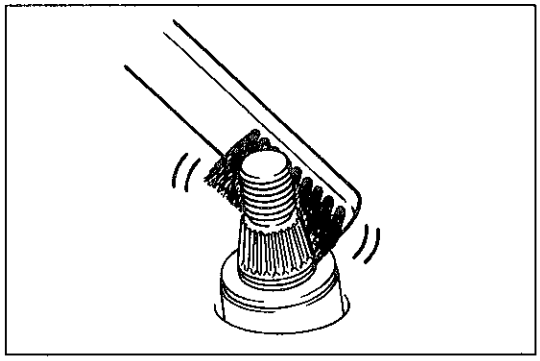
ウインドシールドワイパーアーム取り付け，調整

1 ワイパーアーム取り付け

(1) ワイパーモーターを作動させ，自動停止位置に停止させる。

(2) ワイパーピボットのセレーション部に異物（アルミダイキャストの削粉）の付着がないことを確認する。

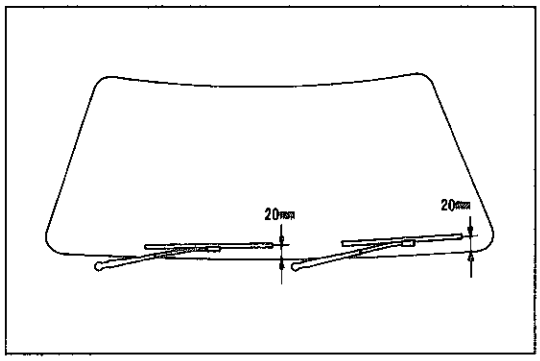
異物が付着している場合は，ワイヤブラシなどで清掃する。


H5970

(2) ワイパーブレードの先端をルーバーから20 mmの位置にセットしてアームを取り付け，ナットを締め付ける。

T＝150～260kg･cm

〈参考〉 助手席側ワイパーブレードは湾曲ブレードになっている。



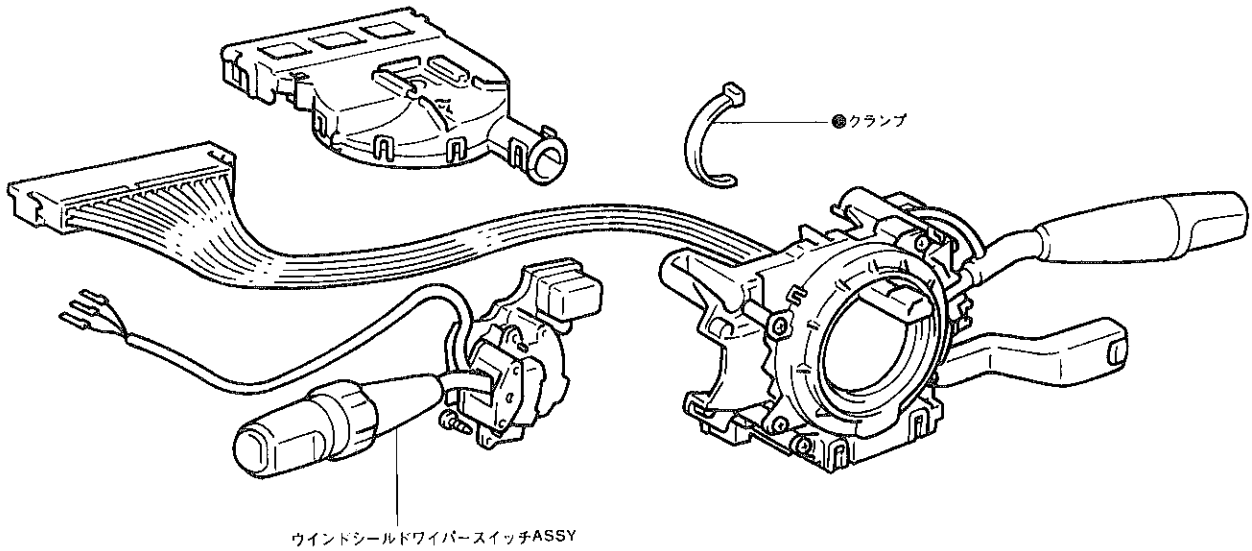
H0781

無断複製禁止

ターンシグナルスイッチ

注意　ステアリングホイールパッドは平坦な安定した場所に保管する。またパッド面を上にして置き，絶対に物を上に置かない。（詳細はP9-2参照）

分解構成図



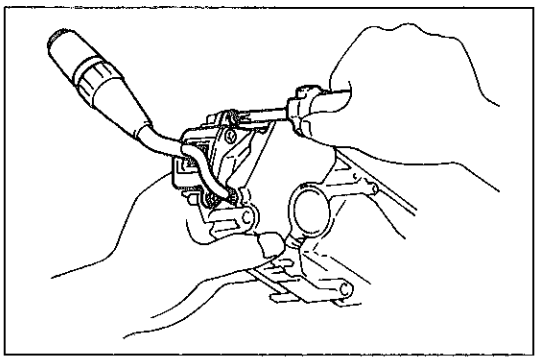
●……再使用不可部品

H6920

ウインドシールドワイパースイッチASSY

取りはずし

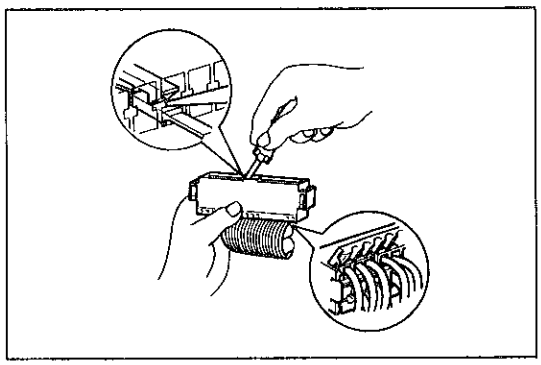
1　ターンシグナルスイッチASSY取りはずし
（P8-18参照）
2　ハーネススプールカバー取りはずし（テレスコピック付き）
3　ハーネスホルダー取りはずし
4　ホーンコンタクトプレート取りはずし（スリップリングなし）



H6909

5　ウインドシールドワイパースイッチASSY取りはずし
(1)　スクリュー２本をはずし，ワイパースイッチを取りはずす。

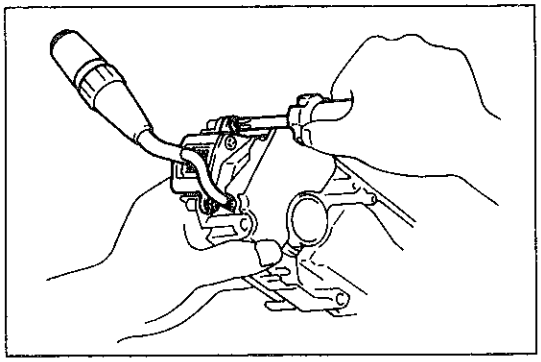
無断複製禁止



H5337

(2)　コネクターのロックをはずす。

(3)　コネクター端子のロックをはずし端子を抜き取る。



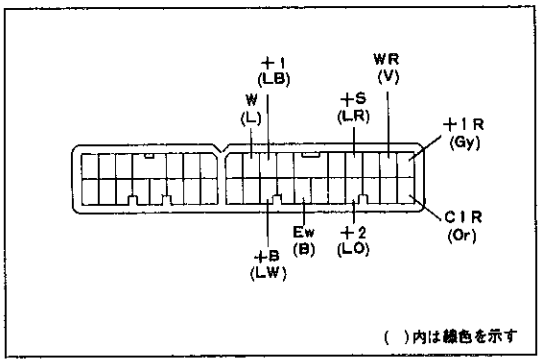
H6909

ウインドシールドワイパースイッチASSY取り付け

1　ウインドシールドワイパースイッチASSY取り付け

(1)　ワイパースイッチをスクリュー２本で取り付ける。

(2)　スイッチがスムースに作動することを確認する。



V-34-2

(3)　コネクターに端子を取り付ける。

注意　線色を確認して，端子の配列を間違えない

2　ホーンコンタクトプレート取り付け(スリップリングなし)

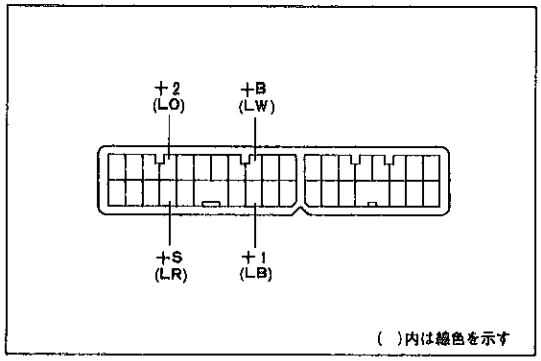
注意　端子接続後，端子をノーズプライヤーなどで軽くつまみ，かん合をきつくする。

3　ハーネスホルダー取り付け

4　ハーネススプールボデー　&　カバー取り付け
(テレスコピック付き)

5　ターンシグナルスイッチASSY取り付け

無断複製禁止



V-34-2

単体点検

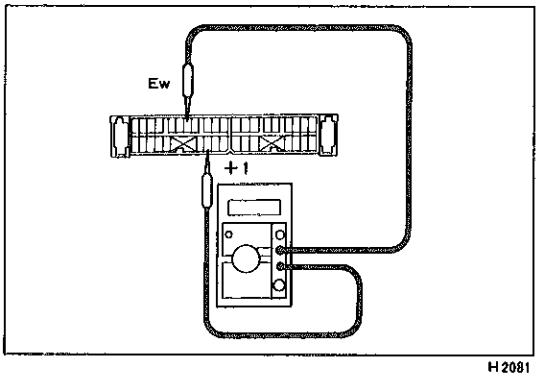
ウインドシールドワイパースイッチASSY

1　導通点検

(1)　スイッチのコネクター各端子間の導通を点検する。

基　準　　○—○導通あり

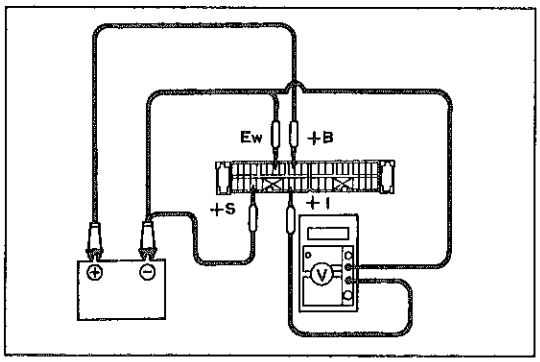
切り替え ＼ 端子記号		+B	+S	+1	+2
OFF			○	○	
	MIST	○		○	
INT			○	○	
	MIST	○		○	
LO		○		○	
	MIST	○		○	
HI		○			○
	MIST	○		○	○



H 2081

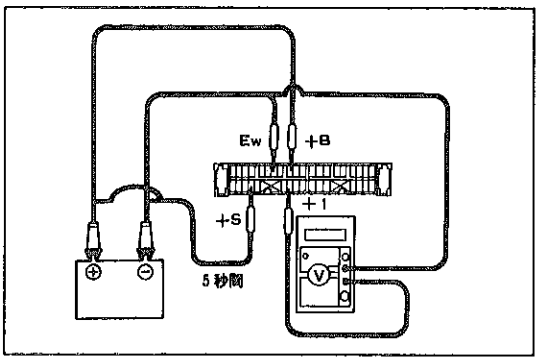
2　作動点検

(1)　コネクターの＋1端子にテスターの⊕端子，Ew端子にテスターの⊖端子を接続する。



H 2082

(2)　コネクターの＋B端子にバッテリーの⊕，Ew端子と＋S端子にバッテリーの⊖を接続する。

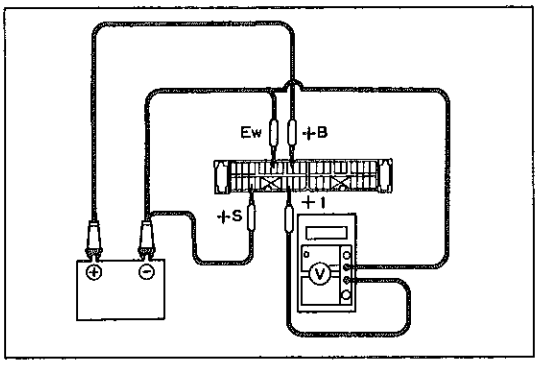


H 2083

(3)　ワイパースイッチをINTにする。

(4)　コネクターの＋S端子を5秒間バッテリーの⊕に接続する。

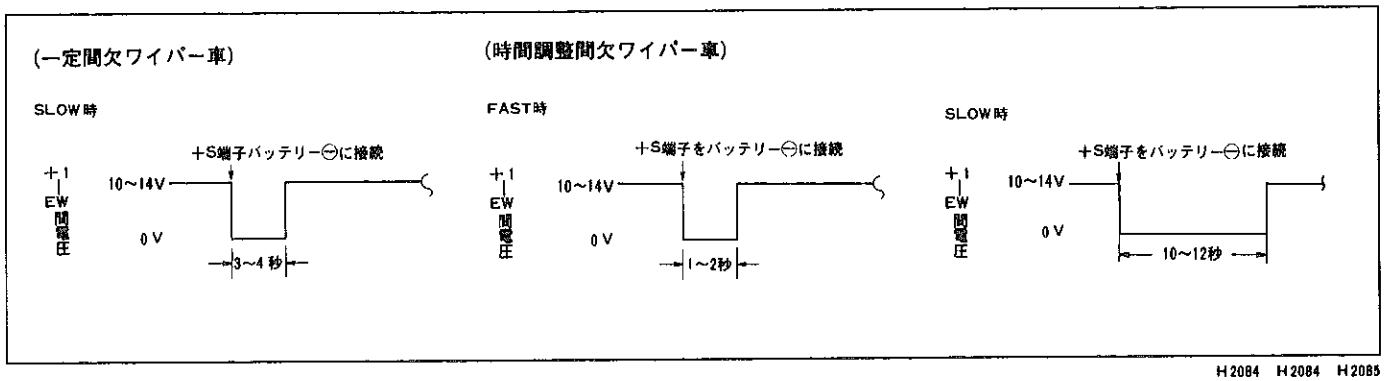
無断複製禁止



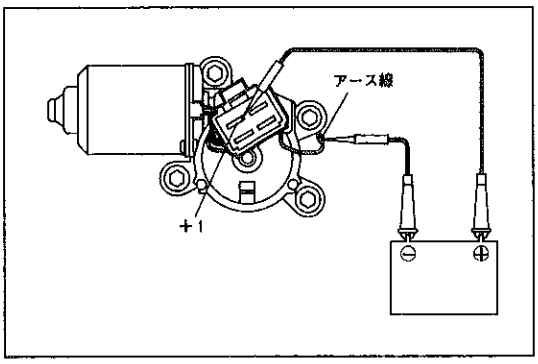
H2082

(5)　コネクターの＋S端子をバッテリーの⊖に接続して間欠ワイパーリレーを作動させたときの，＋1端子とEw端子間の電圧変化を点検する。

基　準　　図に示す



H2084　H2084　H2085

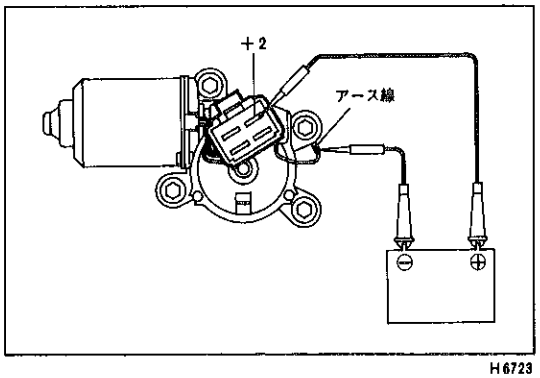


H6722

ウインドシールドワイパーモーターASSY

1　Lo作動点検

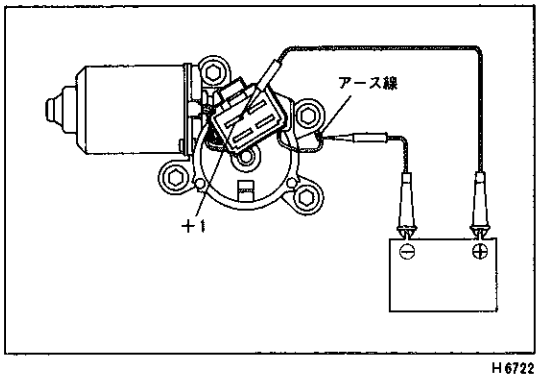
(1)　コネクター＋1端子にバッテリー⊕，アース線をバッテリー⊖に接続したときモーターが低速（Lo）で作動することを確認する。



H6723

2　Hi作動点検

(1)　コネクター＋2端子にバッテリー⊕，アース線をバッテリー⊖に接続したときモーターが高速（Hi）で作動することを確認する。

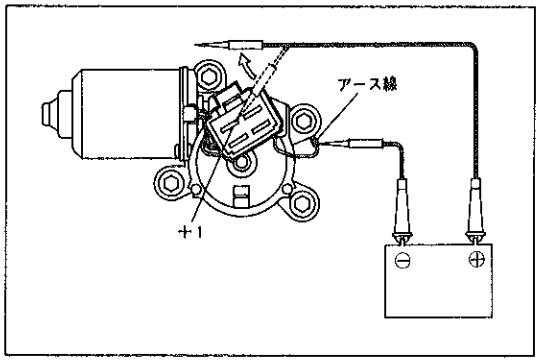


H6722

3　OFF作動点検

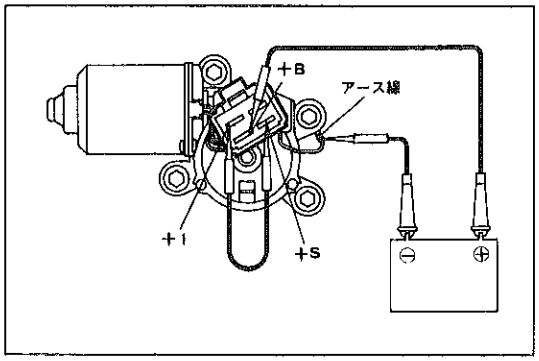
(1)　コネクター＋1端子にバッテリー⊕，アース線をバッテリー⊖に接続し，モーターを低速（Lo）で回転させる。

無断複製禁止



H6724

(2) (1)の作動途中で＋１端子の接続をはずし，ワイパーモーターを作動状態で停止させる。



H6725

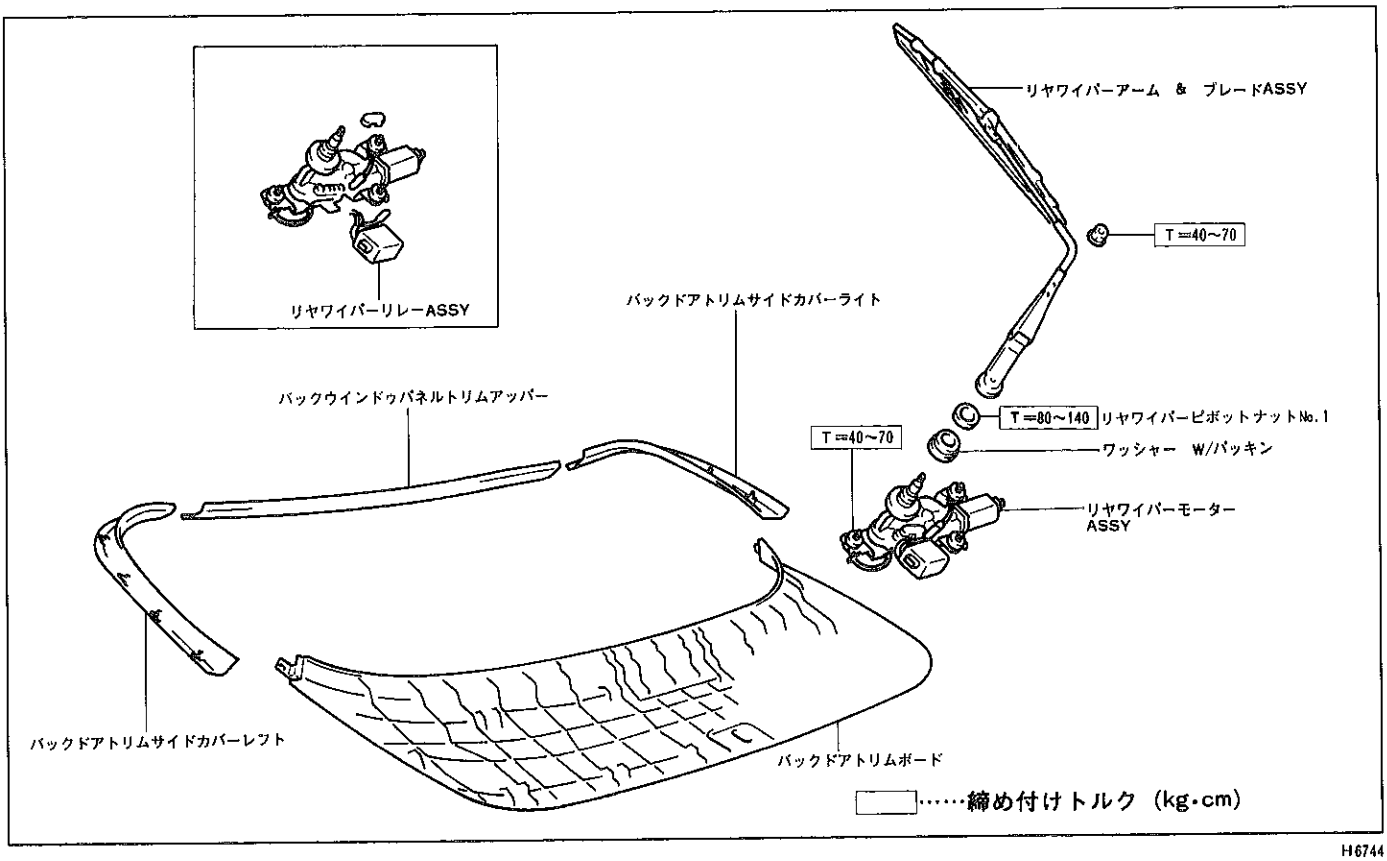
(3) コネクター＋１端子と＋S端子を接続し，＋B端子にバッテリー⊕を接続したときモーターが低速（Lo）で再び作動し，自動停止位置で停止することを確認する。

無断複製禁止

リヤワイパー

リヤワイパーモーター　&　リヤワイパーコントロールリレー

脱着分解構成図



H6744

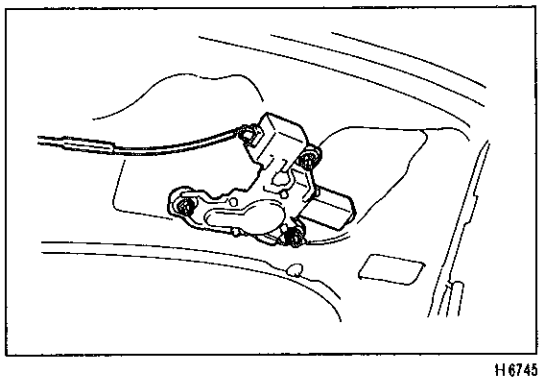
リヤワイパーモーター　&　リヤワイパーコントロールリレー取りはずし

1　リヤワイパーアーム　&　ブレード取りはずし

2　リヤワイパーリンクピボットナットNo.1およびワッシャー取りはずし

3　バックドアトリムボード取りはずし

（P10-58参照）



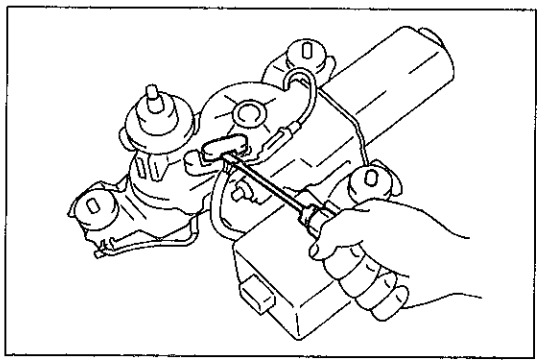
H6745

4　リヤワイパーモーターASSY取りはずし

(1)　コネクターを取りはずす。

(2)　ボルト３本をはずし，モーターASSYを取りはずす。

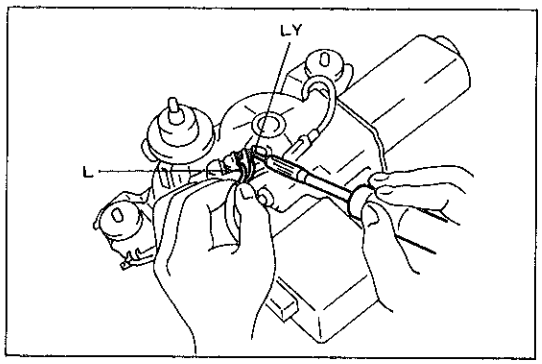
無断複製禁止


H6746

5 リヤワイパーコントロールリレー取りはずし

(1) ターミナルカバーを取りはずす。

(2) リレーとモーター間の1Pコネクターを取りはずす。



H6747

(3) 半田ごてでターミナルの半田を溶かしてワイヤハーネス2本を取りリレーを取りはずす。

リヤワイパーモーター & リヤワイパーコントロールリレー取り付け

1 リヤワイパーコントロールリレー取り付け

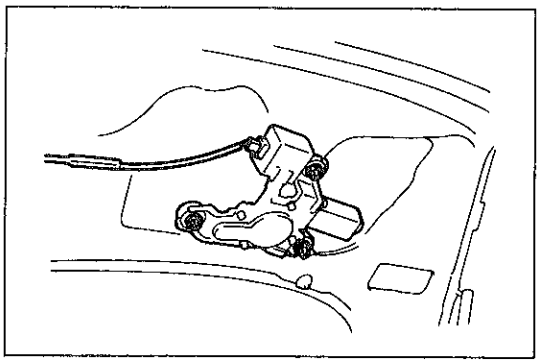
(1) リレーをモーターASSYのブラケットに取り付ける。

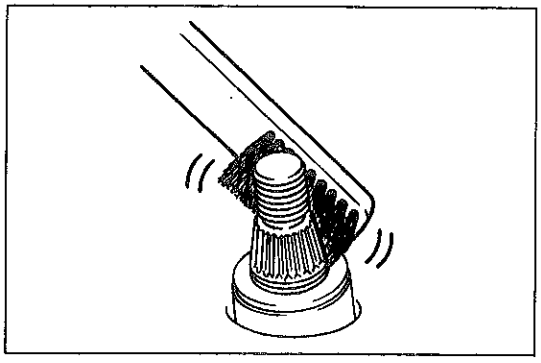
(2) 半田ごてと半田を使用してリレーのL端子, LY端子をそれぞれモーターのL端子, LY端子に取り付ける。

注意
- L, LYは線色を示す。
- 半田を加熱しすぎてハーネス, ターミナルを溶損しない。
- 半田を必要以上に大きく盛らないこと。

(3) ターミナルカバーを取り付ける。

(4) 1Pコネクターを接続する。


H6745


H5970

2 リヤワイパーモーターASSY取り付け

(1) セットボルト3本を締め付ける。

T=40~70kg·cm

(2) セットボルト締め付け後, アース線の端子が確実に固定されていることを点検する。

(3) コネクターを接続する。

3 バックドアトリムボード取り付け

4 リヤワイパーリンクピボットナットNo.1およびワッシャー取り付け

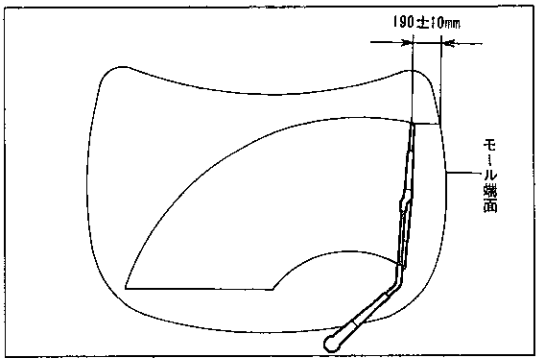
T=80~140kg·cm

5 リヤワイパーアーム & ブレード取り付け

(1) ワイパーモーターを作動させ自動停止位置に停止させる。

(2) ワイパーピボットのセレーション部に異物（アルミダイキャストの削粉）付着がないことを確認する。異物付着がある場合はワイヤブラシなどで清掃する。

無断複製禁止



H6748

(3) リヤワイパーアーム先端をモール端面から190mmの位置にセットし，ナットを締め付ける。

T＝40～70kg·cm

単体点検

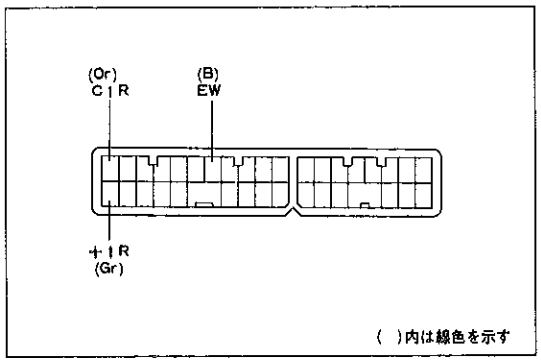
ウインドシールドワイパースイッチASSY（リヤワイパースイッチ）

1 導通点検

(1) スイッチコネクター各端子間の導通を点検する。

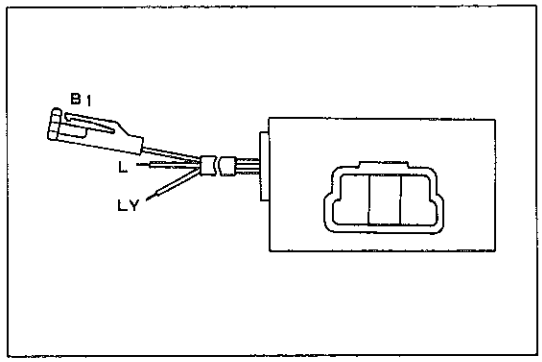
基 準 ○—○導通あり

切り替え ＼ 端子記号	Ew	CIR	+IR
OFF			
INT	○	○	
ON	○		○



V-34-2

リヤワイパーコントロールリレー



H2097

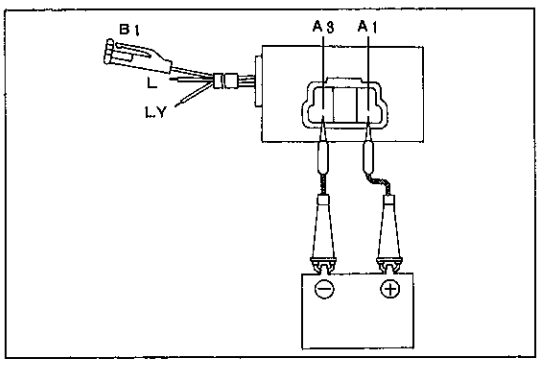
注意 LY，Lは線色を示す。

1 OFF点検

(1) リレー各端子間の導通を点検する。

基 準 L端子 ——B1端子間……導通なし

LY端子——B1端子間……導通あり



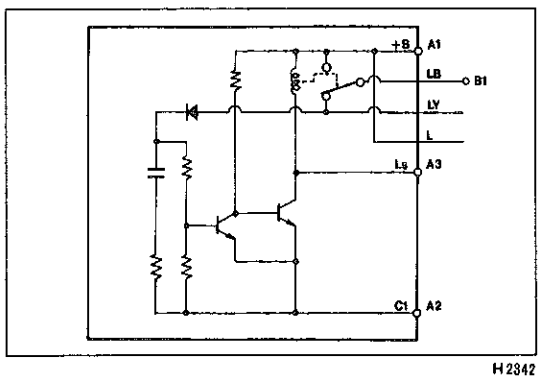
H2098

2 ON時点検

(1) A1端子にバッテリー⊕，A3端子にバッテリー⊖を接続する。

基 準 L端子 ——B1端子間……導通あり

LY端子——B1端子間……導通あり



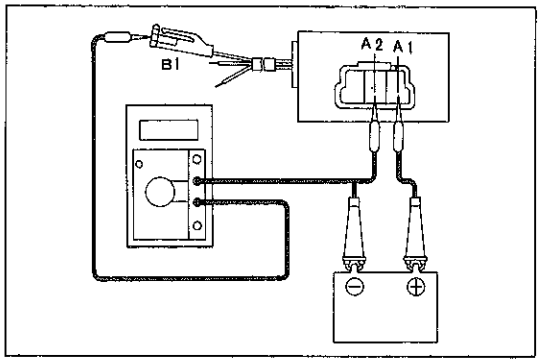
H2342

3 間欠作動点検

(1) テスターをDC-Vレンジにして B 1 端子にテスター⊕，A2 端子にテスターの⊖を接続する。

〈参考〉 リレー内部回路を図に示す。

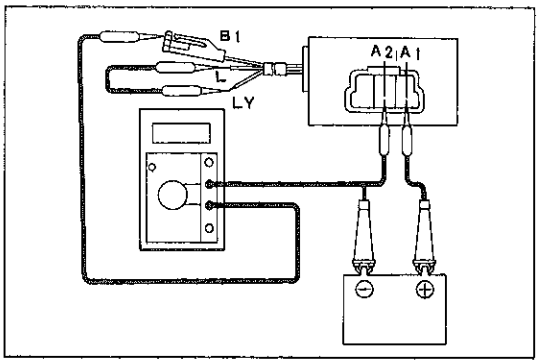
無断複製禁止



H2094

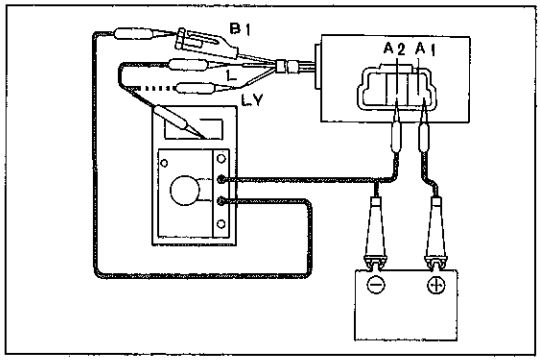
(2) A1端子にバッテリー⊕，A2端子にバッテリー⊖を接続する。（リレー ON状態）

基 準 B1端子——A2端子間……約12V



H2095

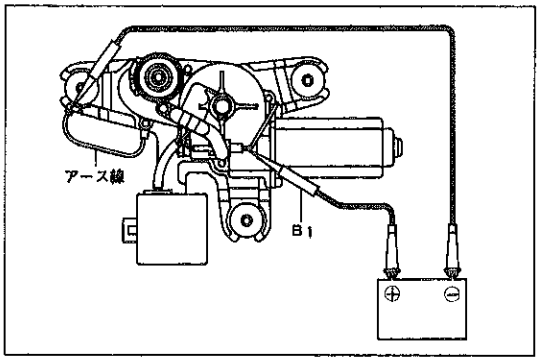
(3) (2)の状態のままLY端子とL端子を約5秒間短絡する。（リレーはON↔OFF状態）



H2096

(4) LY端子とL端子の短絡を切り離したときB1端子—A2端子間の電圧変化を点検する。

基 準 短絡を切り離したとき0Vで，その後9～15秒後に約12Vに戻る

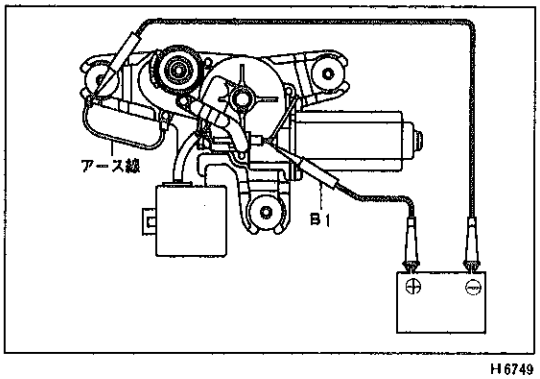


H6749

リヤワイパーモーターASSY

1 ON点検

(1) B1端子にバッテリー⊕，アース線をバッテリー⊖に接続し，モーターが作動することを点検する。

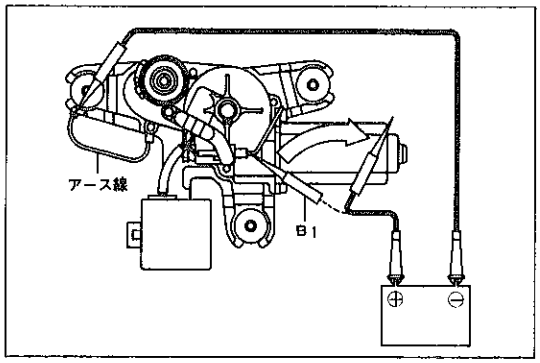


H6749

2 OFF点検

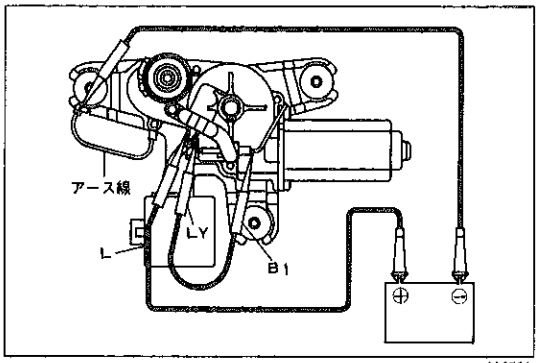
(1) B1端子にバッテリー⊕，アース線にバッテリー⊖を接続し，モーターを作動させる。

無断複製禁止



H6750

(2) (1)の作動途中でＢ１端子の接続をはずし，モーターを作動状態で停止させる。

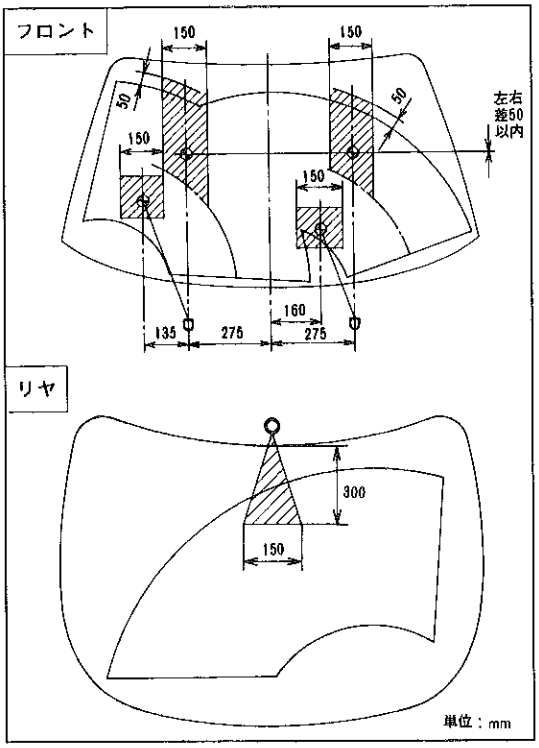


H6751

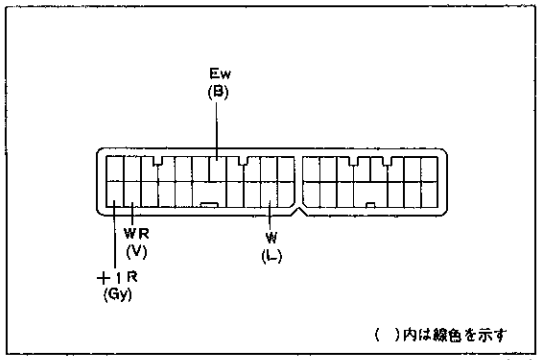
(3) Ｂ１端子とLY端子を接続し，L端子にバッテリー⊕を接続したときモーターが再び作動し，自動停止位置で停止することを点検する。

注意　LY，Lは線色を示す。

無断複製禁止



H6952　H6755



V-34-2

ウォッシャー

ウォッシャーノズル

ウインドシールドウォッシャーノズルの ウォッシャー液噴射位置調整

(1) エンジンがアイドル回転状態でウォッシャー噴射液の着水位置を点検する。

基　準　　図に示す

単体点検

ウインドシールドワイパースイッチ （ウォッシャースイッチ）

1　導通点検

(1) スイッチコネクター各端子間の導通を点検する。

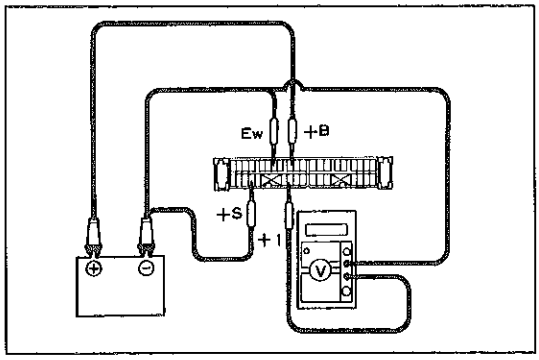
基　準

フロント　　○—○導通あり

切り替え ＼ 端子記号	W	Ew
OFF		
ON	○	○

リヤ　　○—○導通あり

切り替え ＼ 端子記号	Ew	W_R	+1R
ON (OFF側)	○	○	
OFF			
ON (ON側)	○	○	○



H2082

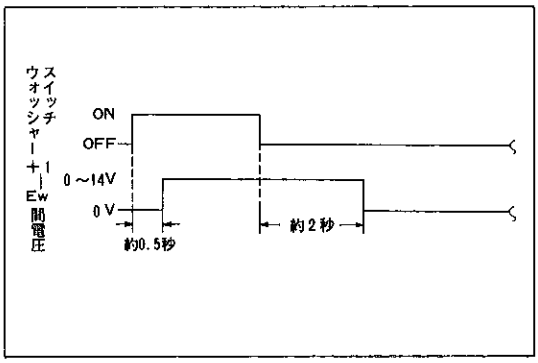
2　ウォッシャースイッチ作動点検（フロント用）

(1) ワイパースイッチをOFFにする。

(2) コネクターの＋B端子にバッテリー⊕，＋S端子とEw端子にバッテリー⊖を接続する。

(3) コネクターの＋1端子にテスターの⊕端子，Ew端子にテスターの⊖端子を接続する。

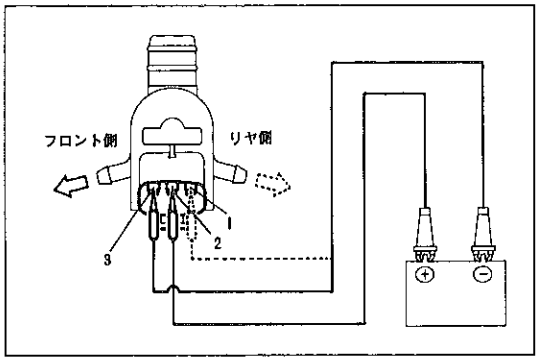
無断複製禁止



H2086

(4) ウォッシャースイッチをON, OFFしたときの＋1端子とEw端子間の電圧変化を点検する。

基　準　　図に示す



H6757

ウォッシャーモーターASSY

1 作動点検

(1) ウォッシャーモーターをウォッシャータンクに取り付けた状態でウォッシャータンクに水を入れる。

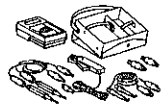
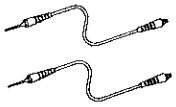
(2) モーターのコネクターの2端子にバッテリーの⊕，3端子にバッテリーの⊖をかけたとき，フロント側へ水が圧送されることを確認する。

(3) モーターのコネクターの2端子にバッテリーの⊕，1端子にバッテリーの⊖をかけたとき，リヤ側へ水が圧送されることを確認する。

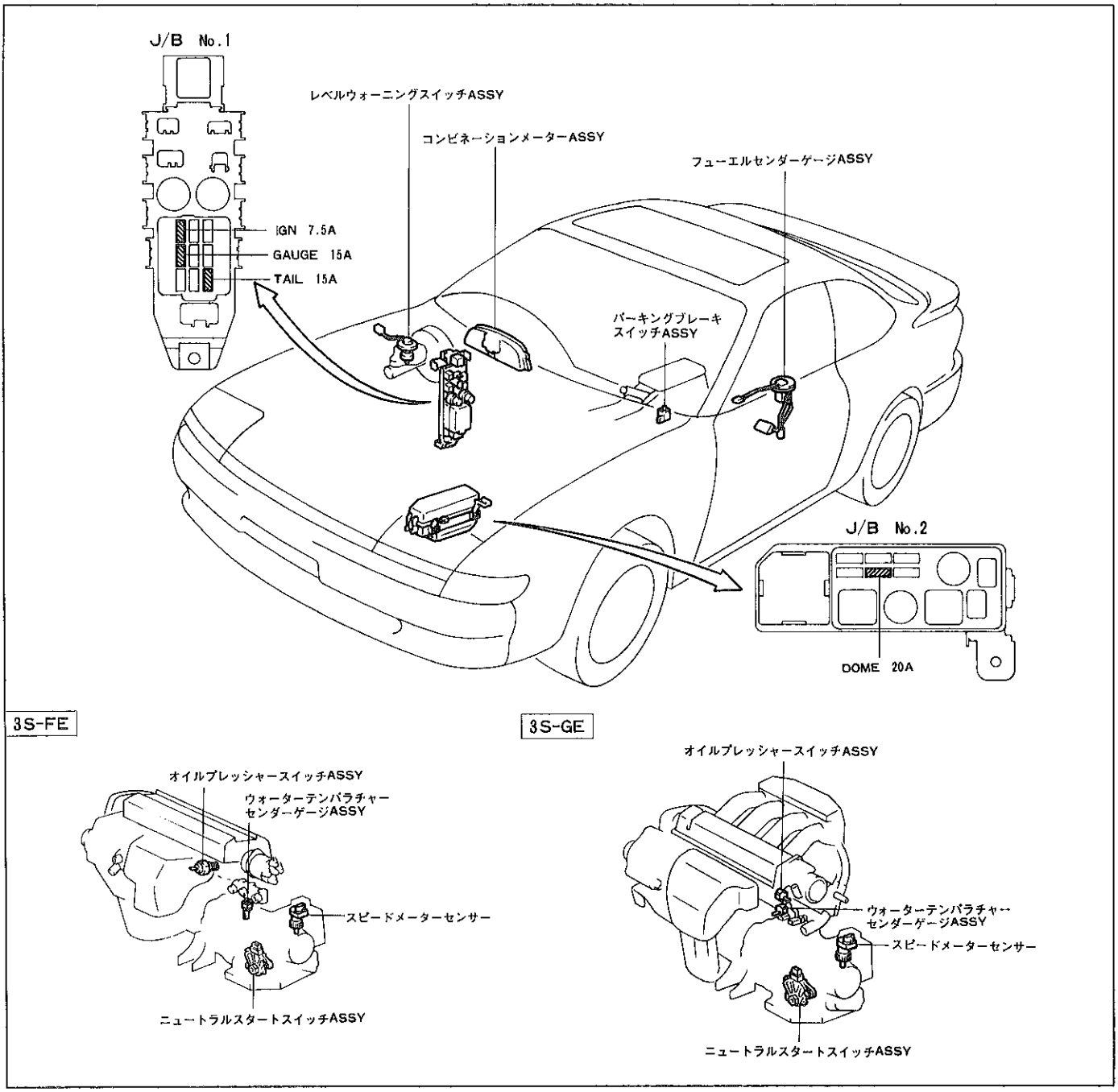
無断複製禁止

メーター ＆ ゲージ

準 備 品

計 器		09082-00012 トヨタエレクトリカルテスター	各部点検用
		09083-00060 ミニテストリード	コネクター部点検用
	回転計		タコメーター点検用

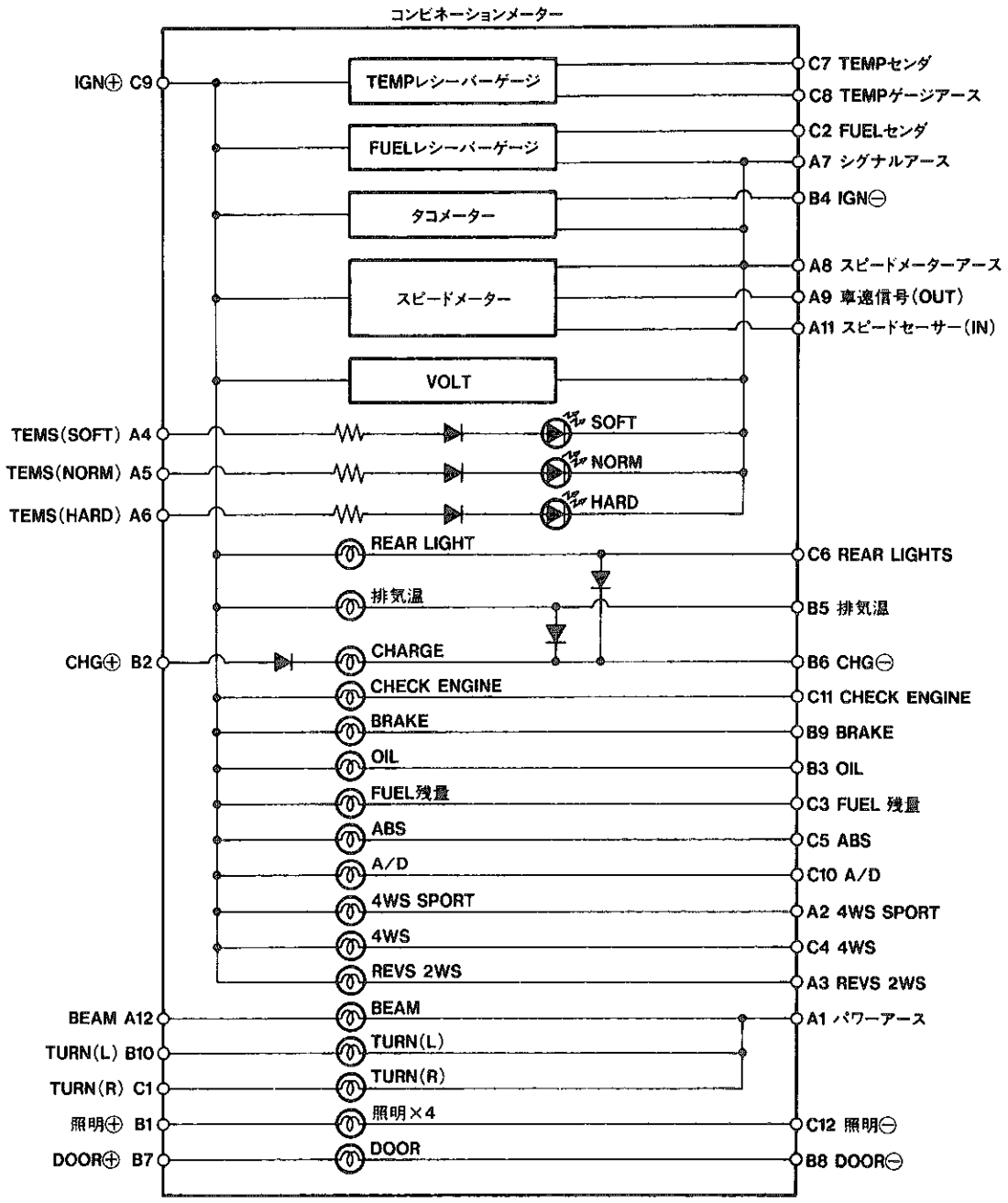
部品配置図

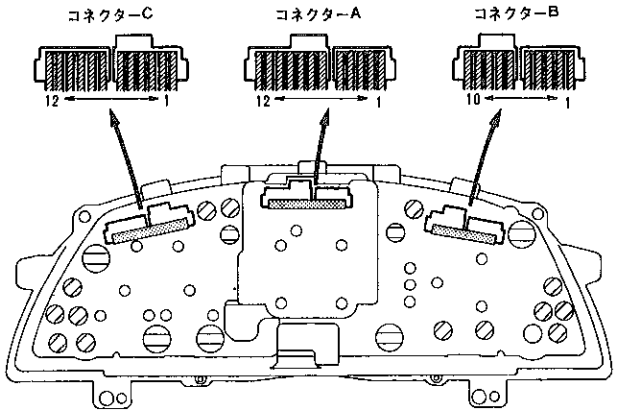


H6900 H6696 H6903

無断複製禁止

内部回路図



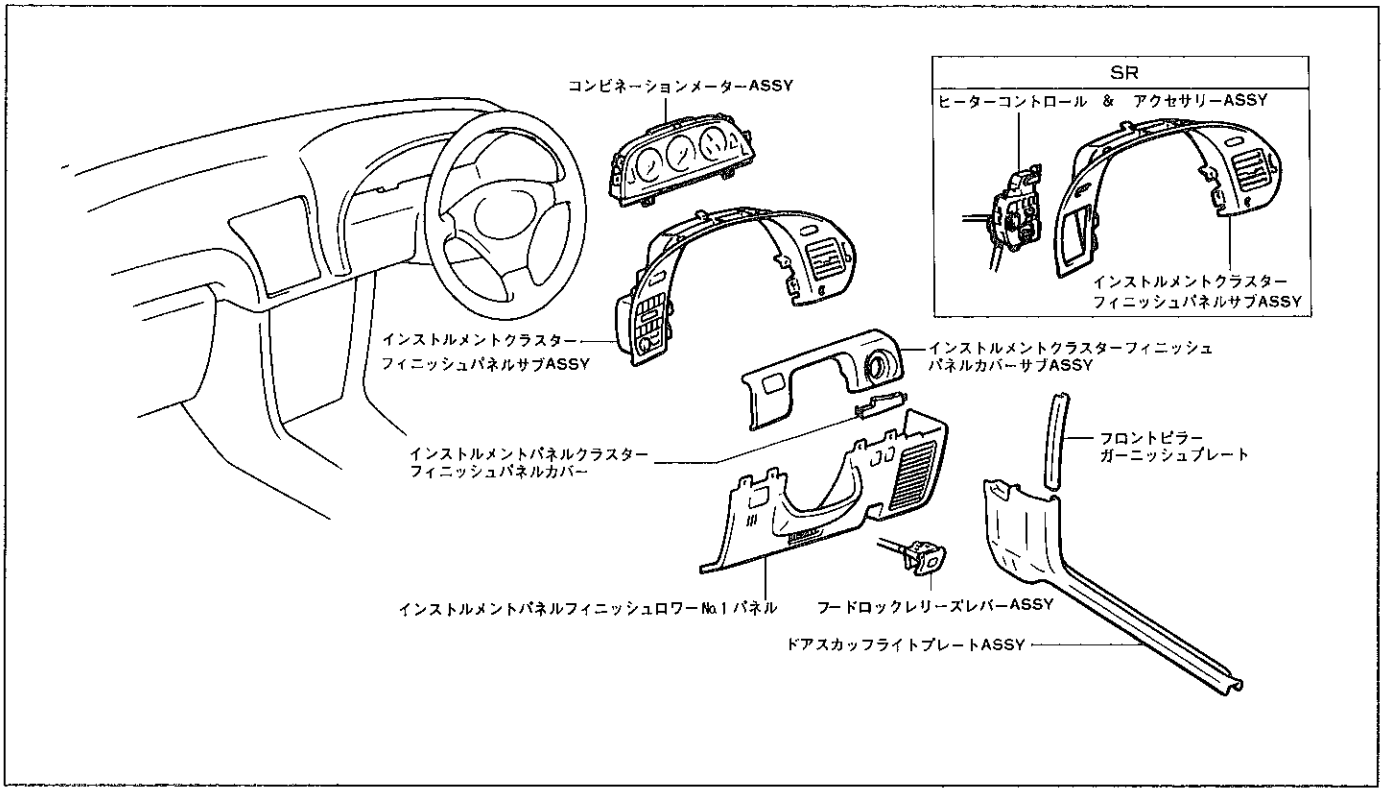


H6933 H6707

無断複製禁止

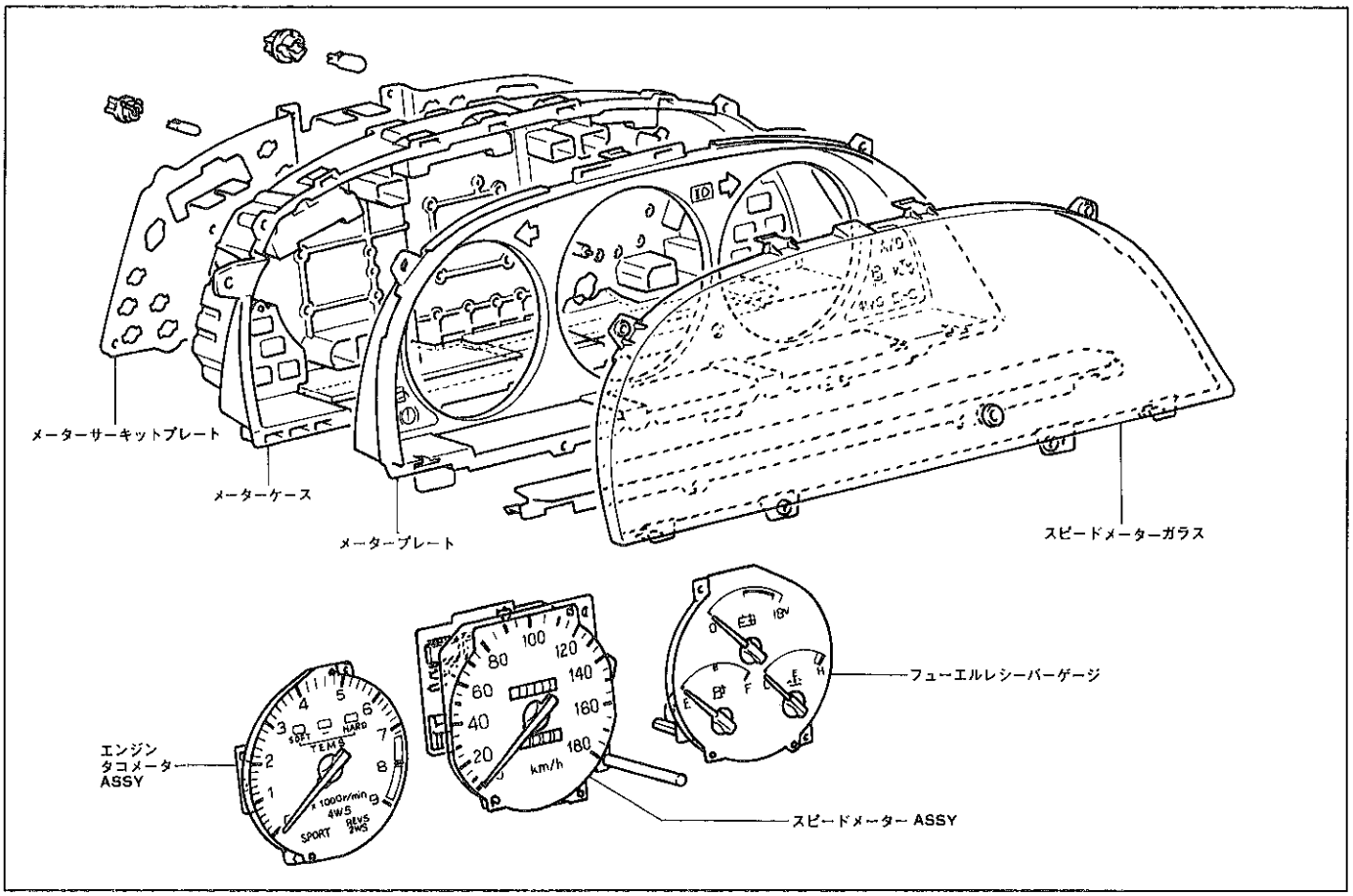
コンビネーションメーターASSY

脱着構成図



H6823

分解構成図



H6708

無断複製禁止

単体点検

スピードメーター

1 車上点検

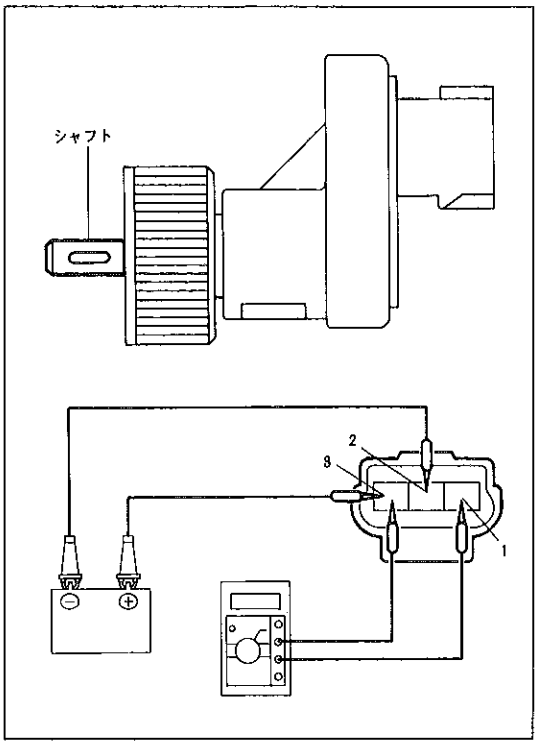
(1) スピードメーターの指示誤差と積算計の作動を点検する。

基準値

標準速度(km/h)〔テスター指示〕	許容範囲(km/h)〔メーター指示〕
20	16～21
40	38～42
60	59～63.5
80	80～85
100	101～106.5
120	122～128
140	143～149.5
160	164～171

注意 タイヤ空気圧が不適正だと指示誤差が増加する。

(2) 指示振れと異音の点検を行う。



H6709 H6710

スピードメーターセンサー

1 作動点検

(1) コネクターの3端子にバッテリーの⊕，2端子にバッテリーの⊖を接続する。

(2) シャフトをゆっくりと回転させたときのコネクターの1端子↔3端子間の電圧を測定する。

基 準 シャフト1回転で10～14V↔2V以下を4回繰り返す

タコメーター

1 車上点検

(1) 回転計を接続して，エンジンを始動する。

(2) タコメーターの指示誤差を点検する。

基準値

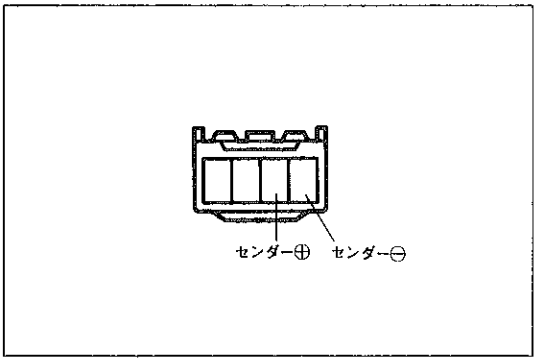
エンジン型式		テスター指示(rpm)	許容範囲(rpm)（ ）内は参考値
3S-GE	3S-FE	700	610～750
		1000	(900～1100)
		2000	(1850～2150)
		3000	2800～3200
		4000	(3800～4200)
		5000	4800～5200
		6000	(5750～6250)
		7000	6700～7300

注意 各エンジンを許容回転数以上に回転させない。

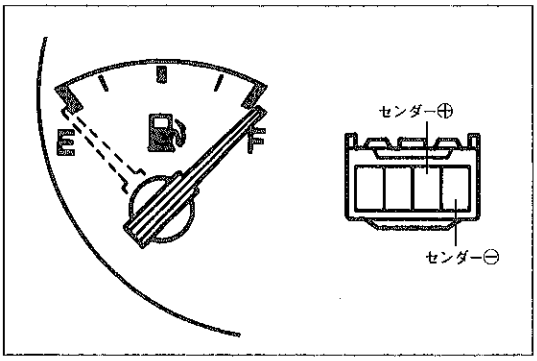
3S-FE 6000rpm

3S-GE 7300rpm

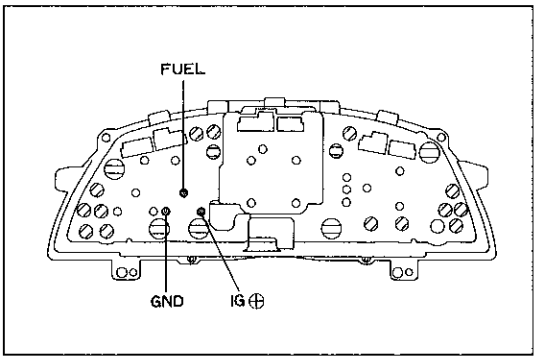
無断複製禁止



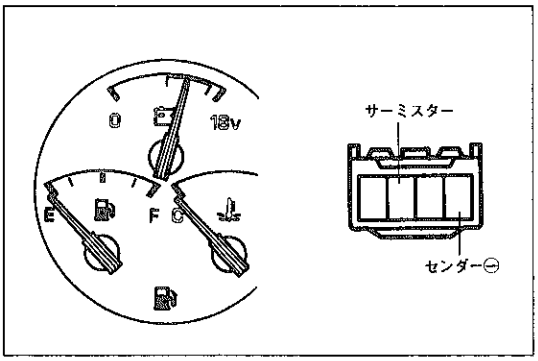
S-4-1-C



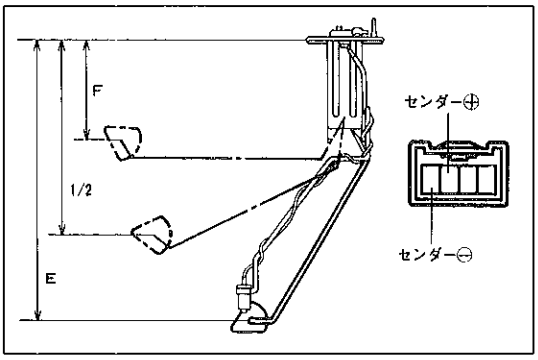
H6711　S-4-1-C



H6712



H6713　S-4-1-C



H6705　S-4-2-C

フューエルレシーバーゲージ

注意　ガソリン補給の際は必ずイグニッションスイッチをOFFにしておく。

1　電圧測定

(1)　フューエルセンダーゲージのコネクターを切り離す。

(2)　イグニッションスイッチをONにする。

(3)　フューエルセンダーゲージの車両W/H側コネクターのセンダー⊕端子↔センダー⊖端子間の電圧を測定する。

基　準　6.5～7.5V

2　作動点検

(1)　フューエルセンダーゲージのコネクターを切り離す。

(2)　イグニッションスイッチをONにしたとき，フューエルレシーバーゲージの指針がEを示すことを確認する。

(3)　(2)の状態からフューエルセンダーゲージの車両W/H側コネクターのセンダー⊕端子↔センダー⊖端子間を短絡したとき，フューエルレシーバーゲージの指針がFを示すことを確認する。

注意　ゲージの指針が落ち着くまで2分程かかる

3　抵抗値測定

(1)　フューエルレシーバーゲージ各端子間の抵抗値を測定する。

基準値

測　定　端　子	抵　抗　値(Ω)
IG⊕端子↔FUEL端子	85.0
FUEL端子↔GND端子	153.0
GND端子↔IG⊕端子	238.0

フューエルレシーバーゲージウォーニング

1　回路点検

(1)　フューエルセンダーゲージのコネクターを切り離す。

(2)　イグニッションスイッチをONにする。

(3)　フューエルセンダーゲージの車両W/H側コネクターのサーミスター端子↔センダー⊖端子間を短絡したとき，フューエルウォーニングランプが点灯することを確認する。

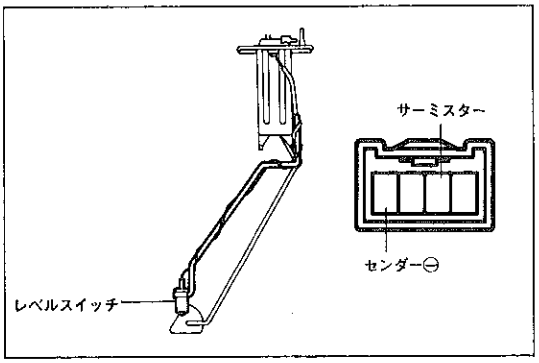
フューエルセンダーゲージ

1　抵抗値測定

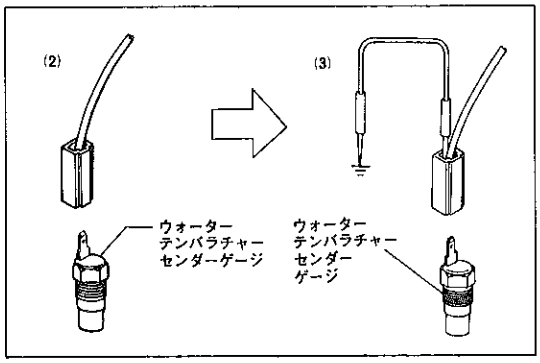
(1)　フロートがスムースに動くことを点検する。

(2)　フロートの位置をE点～F点間で変化させたとき，センダー⊕端子↔センダー⊖端子間の抵抗値を測定する。また，抵抗値が連続的に変化することを確認する。

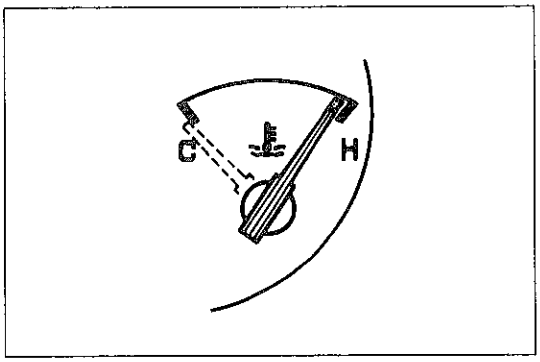
無断複製禁止



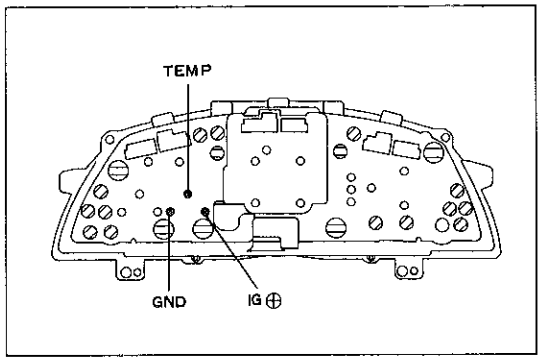
H6706 S-4-2-C



H4530 H4531



H6714



H6712

基 準

フロート位置 (mm)		抵抗値(Ω)
F	97.1±3	3.0±1
1/2	188.3±3	32.5±1
E	272.4±3	110.0±1

2 レベルスイッチ点検

(1) フューエルセンダーゲージのサーミスター端子に12V-3.4Wのバルブを介してバッテリーの⊕，センダー⊖端子にバッテリーの⊖端子を接続する。

(2) レベルスイッチをガソリンの中に入れたとき，バルブが点灯することを確認する。

ウォーターテンパラチャーレシーバーゲージ

1 作動点検

(1) ウォーターテンパラチャーセンダーゲージのコネクターの接続を切り離す。

(2) イグニッションスイッチをONにしたとき，ウォーターテンパラチャーセンダーゲージの指針がCを示すことを確認する。

(3) (2)の状態からウォーターテンパラチャーセンダーゲージより切り離したコネクターをボデーアースと短絡したとき，ウォーターテンパラチャーセンダーゲージの指針がHを示すことを確認する。

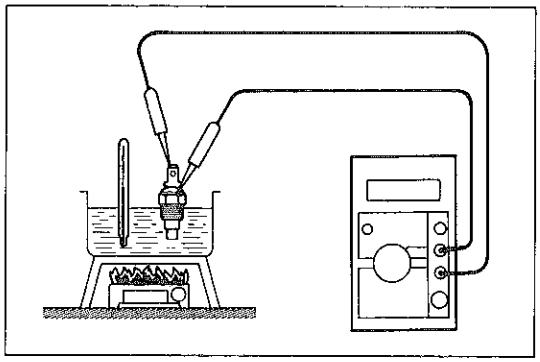
2 抵抗値測定

(1) ウォーターテンパラチャーレシーバーゲージの各端子間の抵抗値を測定する。

基準値

測定端子	抵抗値(Ω)
IG⊕端子↔TEMP端子	51.0
TEMP端子↔GND端子	189.6
GND端子↔IG⊕端子	138.6

無断複製禁止


H0990

ウォーターテンパラチャーセンダーゲージ

1 ウォーターテンパラチャーセンダーゲージ抵抗測定

(1) ゲージ端子とゲージボデー間の抵抗値を測定する。

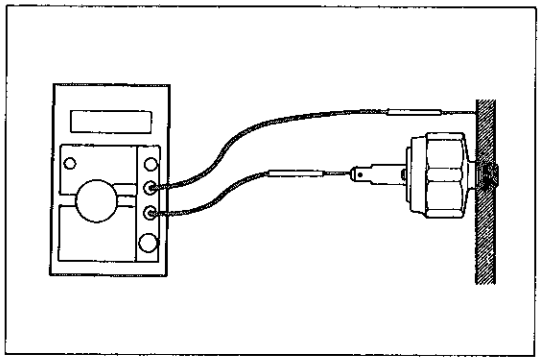
基準値

矢崎製

温 度(℃)	抵抗値(Ω)
60	142.6～173.1
115	22.5～25.6

ND製

温 度(℃)	抵抗値(Ω)
50	189.4～259.6
115	24.19～28.11


H6286

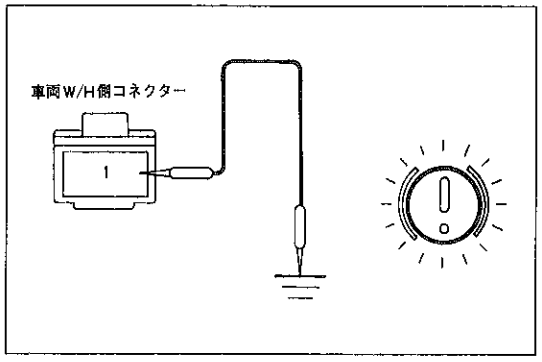
オイルプレッシャースイッチ

1 導通点検

(1) オイルプレッシャースイッチ端子↔アース間の導通を点検する。

基 準 エンジン停止時……導通あり

エンジン回転時……導通なし



H2126

ブレーキウォーニング

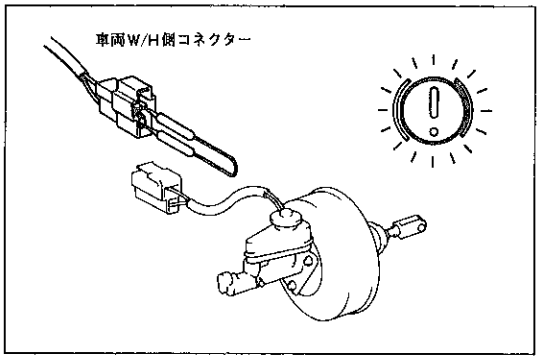
1 回路点検

PKBインジケーター

(1) PKBスイッチのコネクターを切り離す。

(2) イグニッションスイッチをONにする。

(3) PKBスイッチの車両W/H側コネクターの1端子間をアースしたときウォーニングランプが点灯することを確認する。



H2127

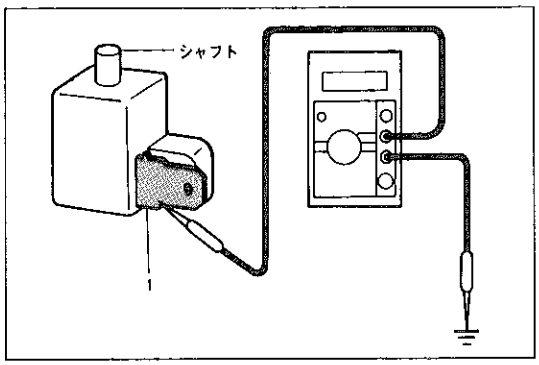
ブレーキレベルウォーニング

(1) ブレーキレベルウォーニングスイッチのコネクターを切り離す。

(2) イグニッションスイッチをONにする。

(3) ブレーキレベルウォーニングスイッチの車両W/H側コネクター端子間を短絡したときウォーニングランプが点灯することを確認する。

無断複製禁止



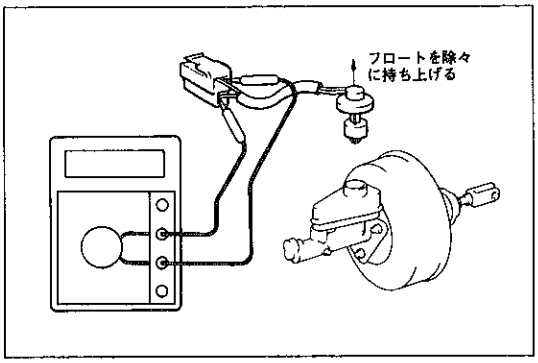
H5387

パーキングブレーキスイッチ

1 導通点検

(1) コネクターの1端子とスイッチASSYの側面の導通を点検する。

基 準 シャフトを押したとき……導通なし
シャフトがフリーのとき……導通あり

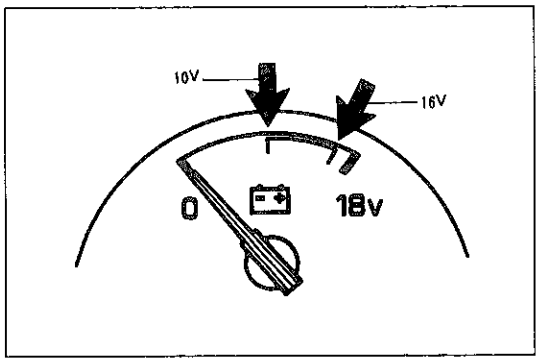


H2128

レベルウォーニングスイッチ

(1) スイッチのコネクターを切り離し，テスターを接続する。

(2) フロートを徐々に持ち上げる途中でコネクター端子間が導通することを点検する。



H6715

ボルトメーター

1 作動点検

(1) ボルトメーターのA端子↔B端子間にバッテリー電圧を加えたとき，ボルトメーターの指針がスムースに動くことを確認する。

〈参考〉 各電圧における指針の位置を図に示す。

ライト断線ウォーニング

1 回路点検

テールランプ回路

(1) 右または左のリヤコンビネーションランプ用コネクターを切り離す。

(2) イグニッションスイッチをONにし，ライトコントロールスイッチをONにしたときウォーニングランプが点灯することを点検する。

ストップランプ回路

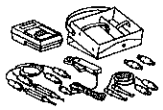
(1) 右または左のリヤコンビネーションランプ用コネクターを切り離す。

(2) エンジンを始動してブレーキペダルを踏み込んだときウォーニングランプが点灯することを点検する。

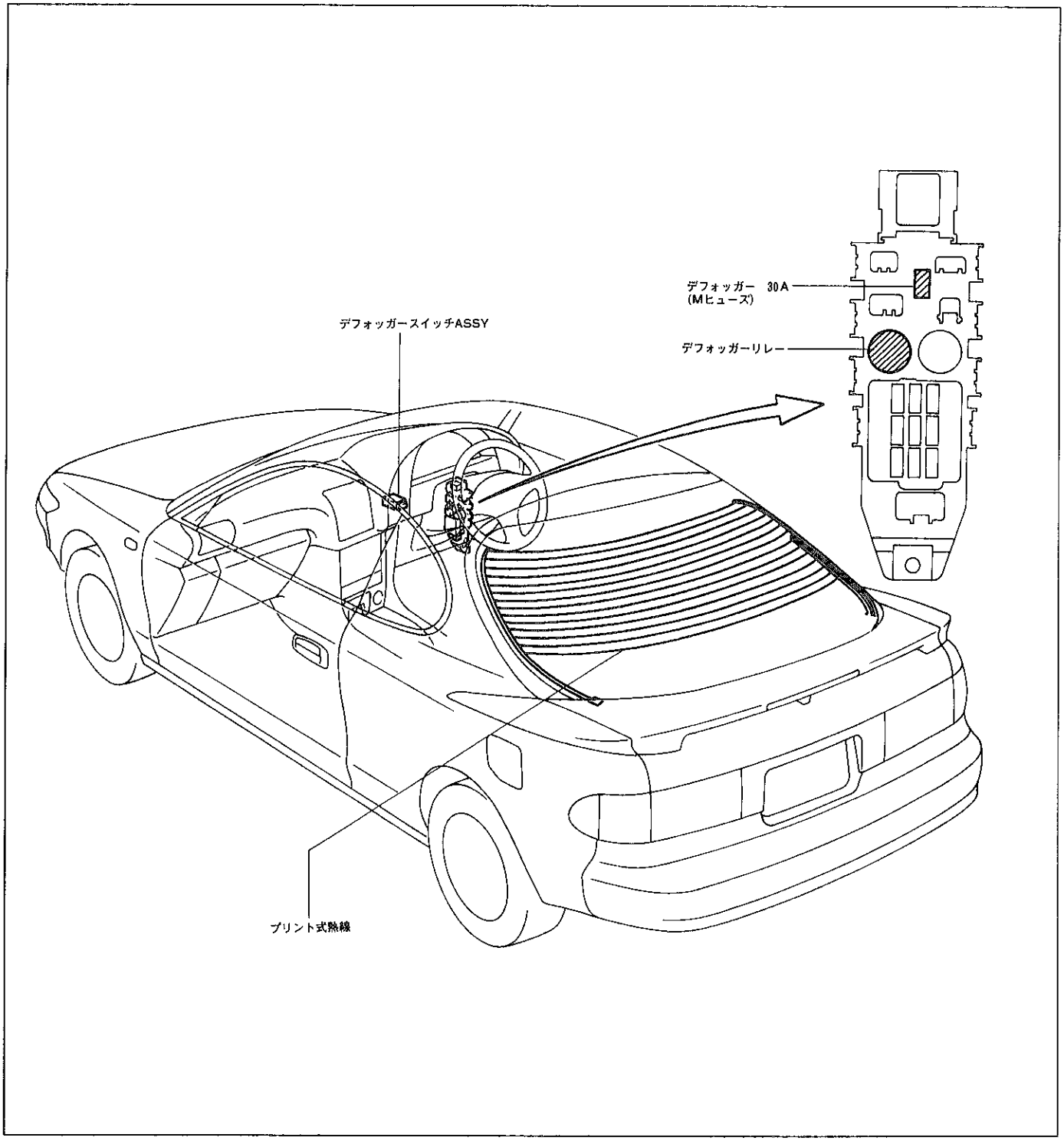
無断複製禁止

リヤウインドゥデフォッガー

準 備 品

計 器		09082-00012 トヨタエレクトリカルテスター	各部点検用
油 脂 その他	アルミ箔		リヤウインドゥデフォッガー点検用

部品配置図



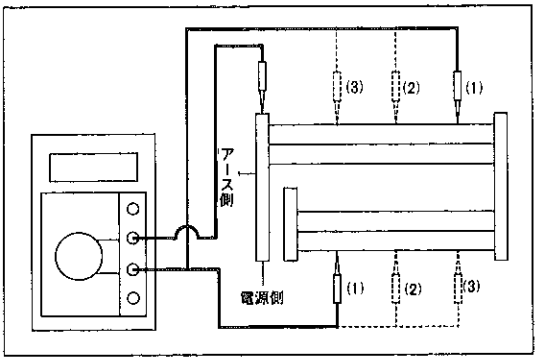
H6761

無断複製禁止

単体点検

プリント式熱線点検

注意
- ガラスの汚れを布などで清掃する場合は，熱線を傷つけないように，乾いた柔らかい布を使用して熱線の方向に沿ってぬぐう。
- 一般の洗剤やガラスクリーナーなどは使用しない。



H6762

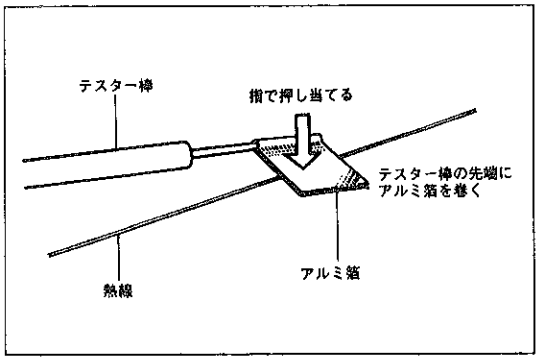
1　断線点検

(1)　イグニッションスイッチをONにする。

(2)　デフォッガースイッチをONにする。

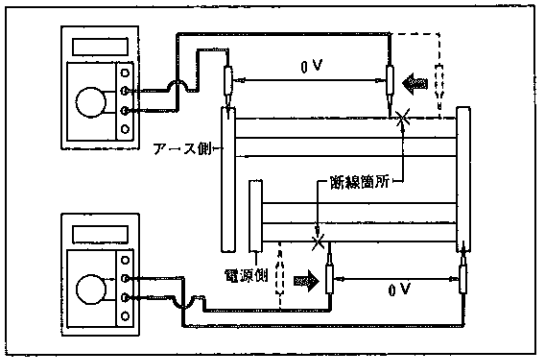
(3)　3箇所の電圧を測定する。

基　準　(1), (2), (3)と測定するごとに電圧が小さくなる



H5655

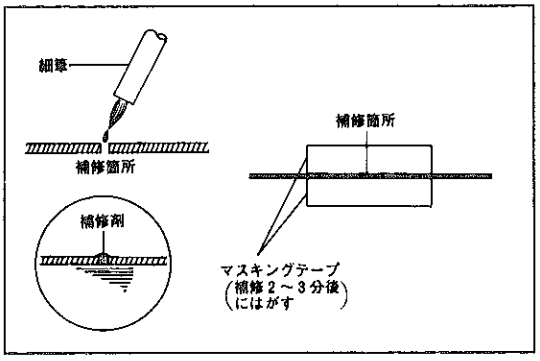
注意　電圧測定時，テスター棒の先端で熱線を傷つけないよう先端にアルミ箔を巻き，アルミ箔を熱線に当てながら点検する。



H6763

(4)　不良線にテスター棒を当て動かしていき，断線箇所（0Vに変化する箇所）を見つける。

プリント式熱線修正



H6321　H5656

(1)　断線箇所を白ガソリンで清掃する。

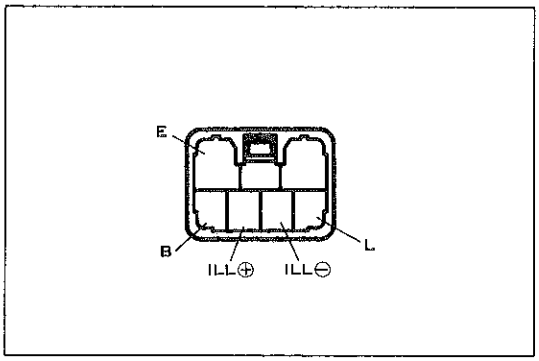
(2)　補修剤を十分にかく拌してから細筆に少量つけて補修箇所に塗布する。

(3)　補修箇所が長い場合は，マスキングテープを貼り補修剤を塗布する。

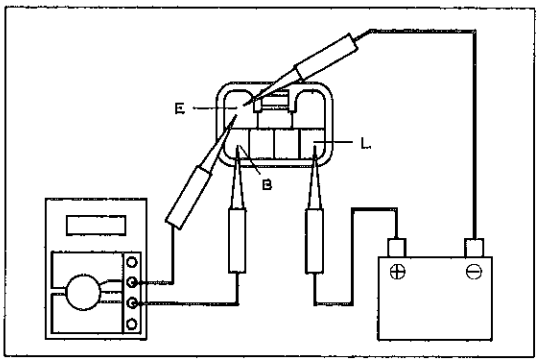
(4)　補修2～3分後にマスキングテープをはがす。

注意　補修後24時間は通電させない。

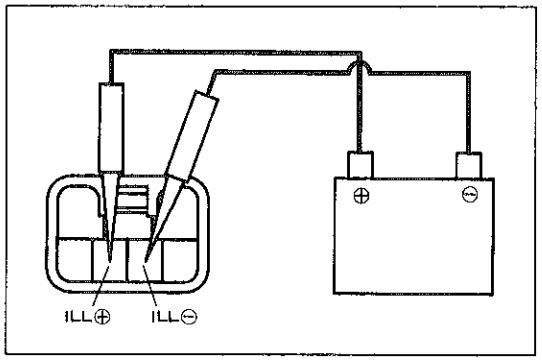
無断複製禁止



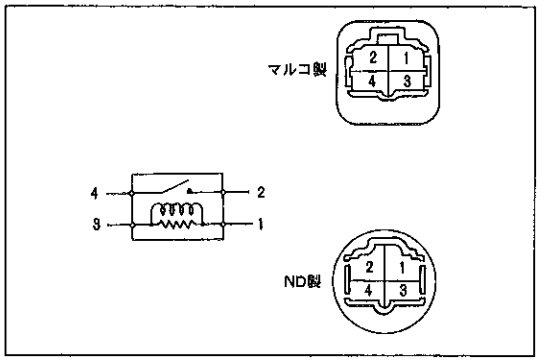
S-6-2



H6839



H6764



H0414

リヤウインドゥデフォッガースイッチ

タイマーなし

1 導通および照明バルブ点検

(1) コネクター各端子間の導通および照明バルブを点検する。

基 準 ○—○導通あり ○—Ⓐ—○照明バルブあり

	L	E	B	ILL⊕	ILL⊖
OFF		○—Ⓐ—○		○—Ⓐ—○	
ON	○—	—Ⓐ—○			

タイマー付き

1 作動点検

(1) コネクターのB端子にテスターの⊕，E端子にテスターの⊖を接続する。

(2) コネクターのL端子にバッテリーの⊕，E端子にバッテリーの⊖を接続する。

(3) デフォッガースイッチをONにしたときの電圧の変化を確認する。

基 準 12～18分間10～14V，その後約0V

2 夜間照明点検

(1) コネクターのILL⊕端子にバッテリーの⊕，ILL⊖端子にバッテリーの⊖を接続したとき，夜間照明が点灯することを点検する。

デフォッガーリレー

1 導通点検

(1) コネクター各端子間の導通を点検する。

基 準 1端子↔3端子間……導通あり

2端子↔4端子間……導通なし

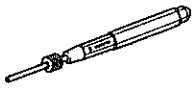
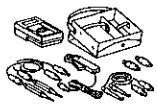
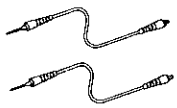
(2) コネクターの1端子↔3端子間にバッテリー電圧を加えたとき，2端子↔4端子間の導通を点検する。

基 準 導通あり

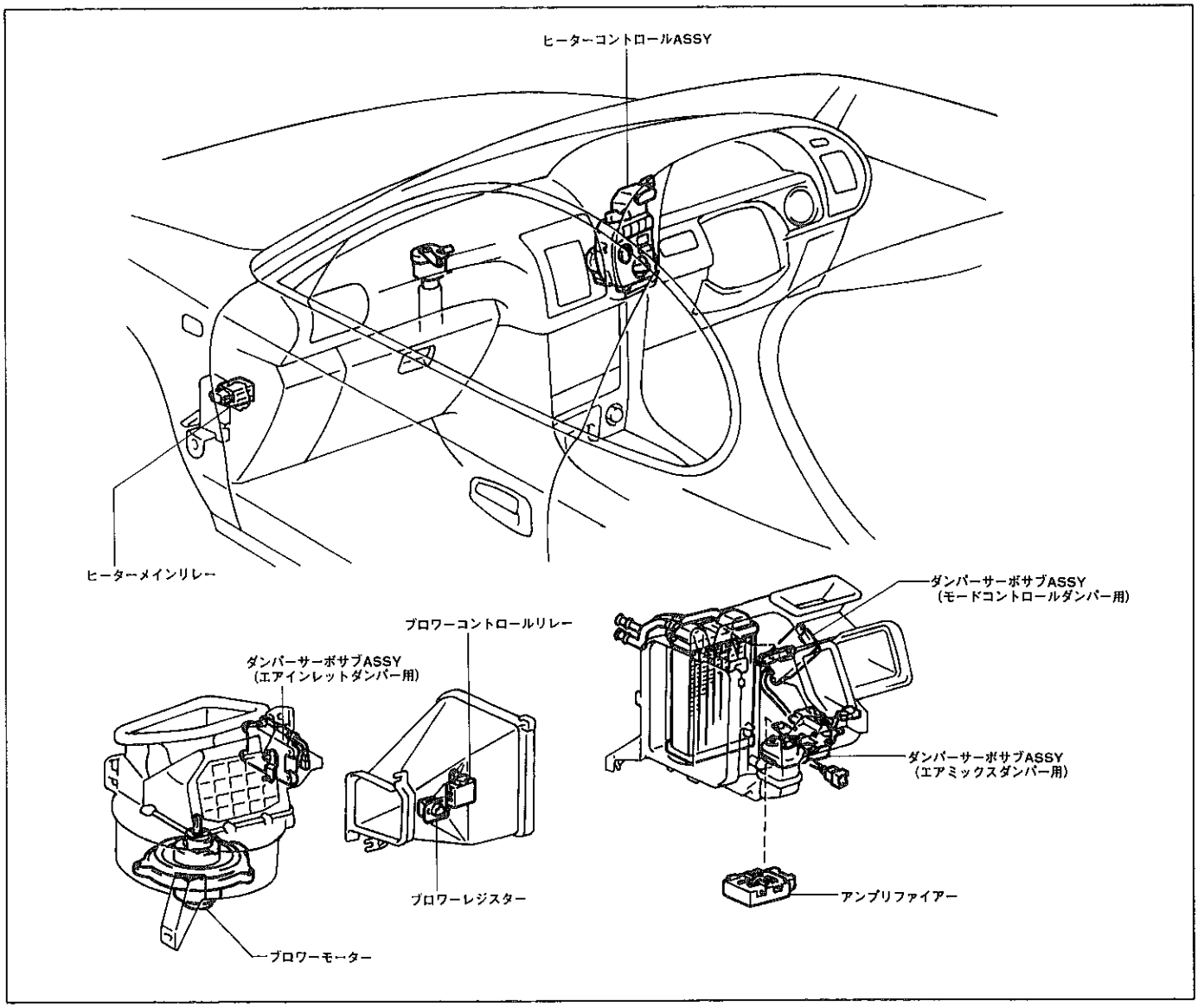
無断複製禁止

ヒーター

準　備　品

工　具		09031-00030　ピンポンチ	ブロワーファン取りはずし用
計　器		09082-00012　トヨタエレクトリカルテスター	各部点検用
		09083-00060　ミニテストリード	コネクター部点検用
油　脂 その他	ポリタンク		冷却水抜き取り用
	ひも		ヒーターコントロールケーブル脱着用

部品配置図

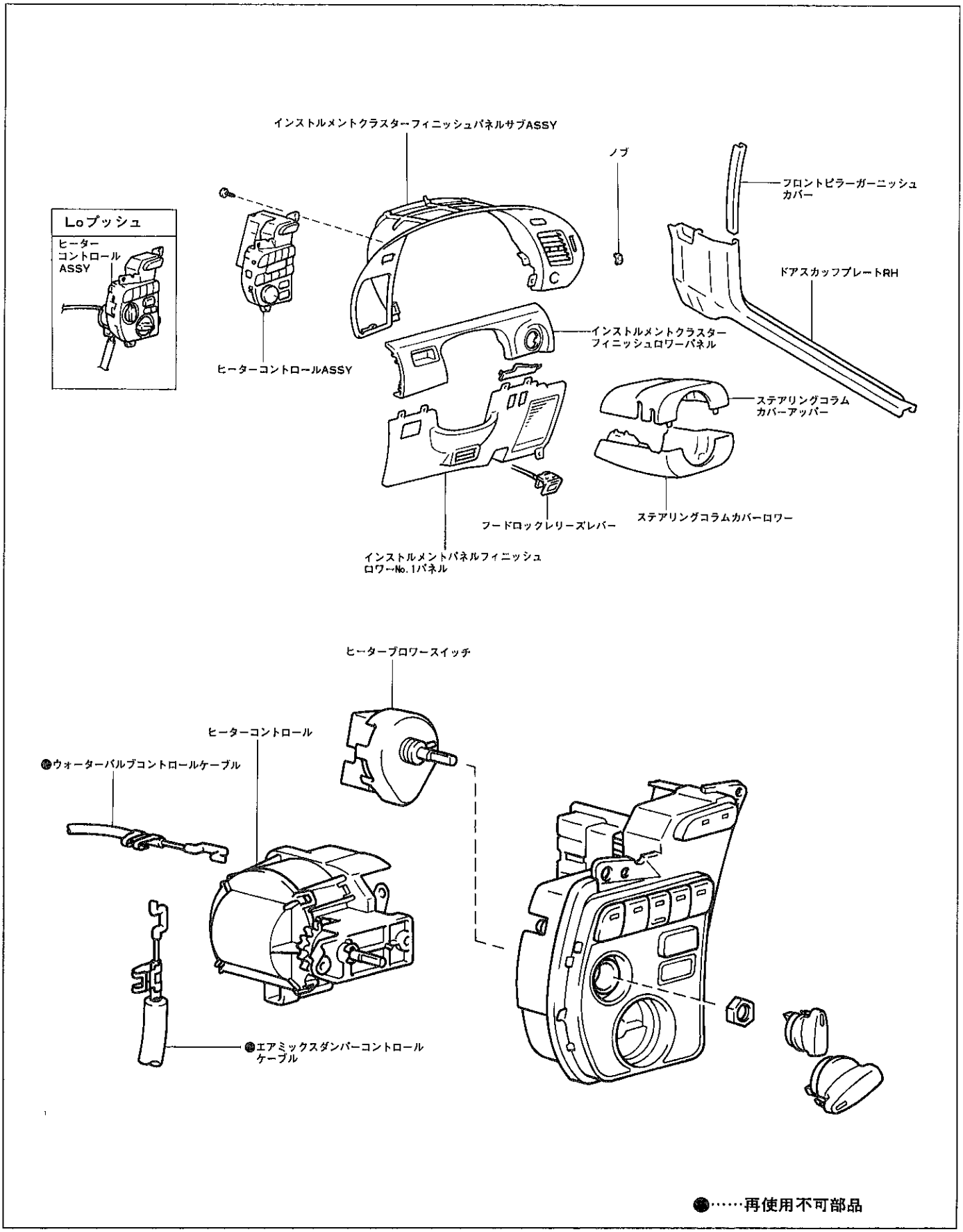


H6912

無断複製禁止

ヒーターコントロールASSY

脱着分解構成図



●……再使用不可部品

H6954 H6947

無断複製禁止

ヒーターコントロールASSY取りはずし

1　フロントドアスカッフプレートRH取りはずし
(P10-87参照)

2　フードロックレリーズレバー取りはずし
(P10-81参照)

3　インストルメントパネルフィニッシュロワーNo.1パネル取りはずし
(P10-82参照)

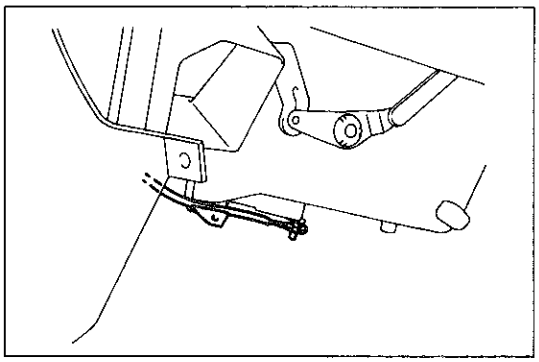
4　ステアリングコラムカバー取りはずし
(P8-18参照)

5　インストルメントクラスターフィニッシュロワーパネル取りはずし
(P10-82参照)

6　インストルメントクラスターフィニッシュパネルサブASSY取りはずし

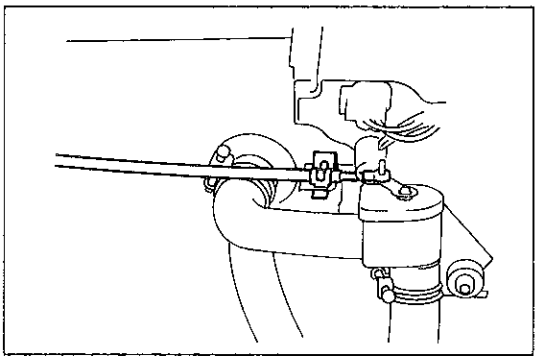
(1)　ヒーターユニットASSYのクランプをはずし，エアミックスダンパーコントロールケーブルを取りはずす。(Loプッシュ)

〈参考〉　ケーブルの先端にひもを結び，取り付け時のガイドにする。

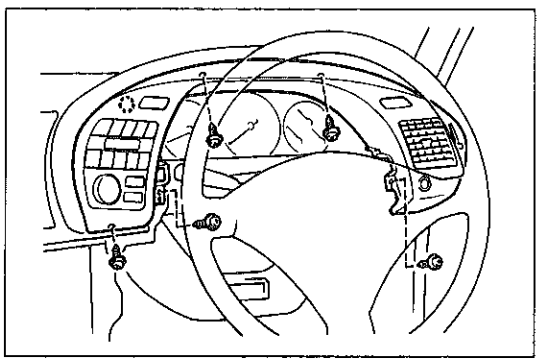

H6939

(2)　ウォーターバルブのクランプをはずし，ウォーターバルブコントロールケーブルを取りはずす。(Loプッシュ)

〈参考〉　ケーブルの先端にひもを結び，取り付け時のガイドにする。

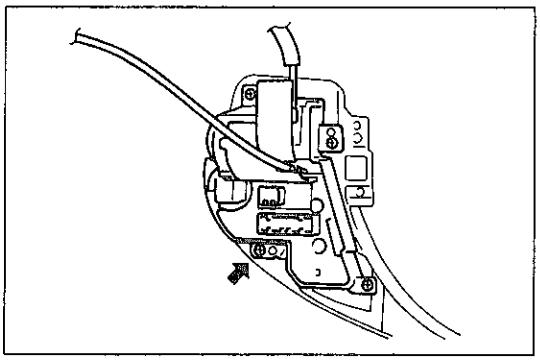

H6765

(3)　スクリュー５本およびコネクターをはずし，インストルメントクラスターフィニッシュパネルを取りはずす。

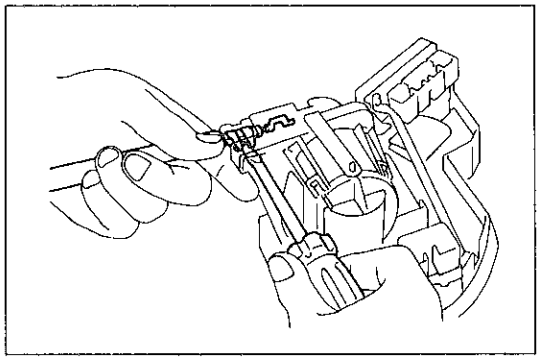

U9703

7　ヒーターコントロールASSY取りはずし

(1)　スクリュー４本をはずし，ヒーターコントロールをインストルメントクラスターフィニッシュパネルから取りはずす。


H6768

無断複製禁止

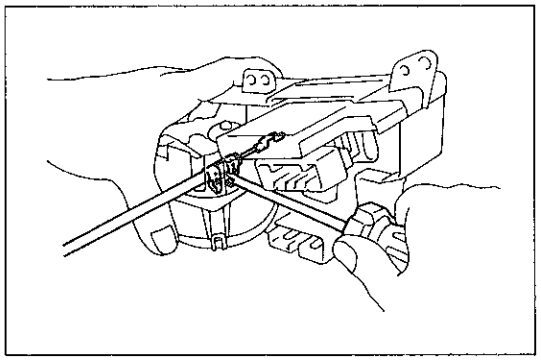


H6825

ヒーターコントロールASSY分解（Loプッシュ）

1 エアミックスダンパーコントロールケーブル取りはずし

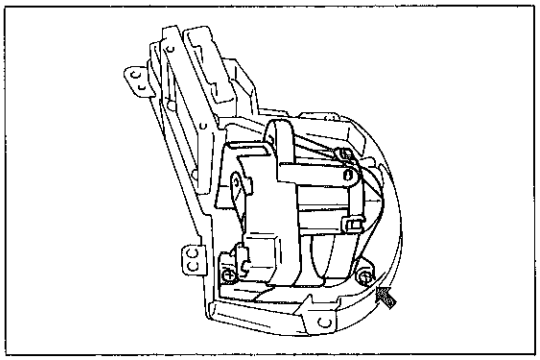
(1) ⊖ドライバーを使用してケーブルクランプのツメを曲げて，ケーブルを取りはずす。



H6826

2 ウォーターバルブコントロールケーブル取りはずし

(1) ⊕ドライバーを使用して，ヒーターコントロールの切り欠き部からケーブルクランプのツメを曲げて，ケーブルを取りはずす。

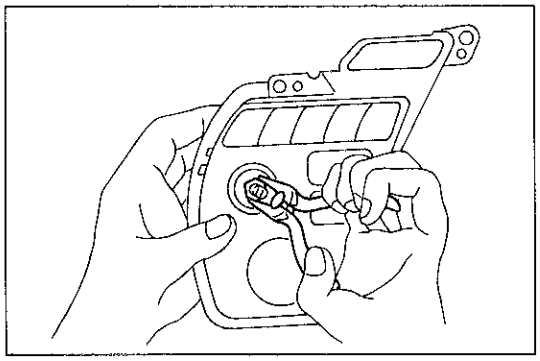


H6769

3 ヒーターコントロール取りはずし

(1) ツマミを引っ張って取りはずす。

(2) スクリュー２本をはずし，ヒーターコントロールを取りはずす。



H6827

4 ヒーターブロワースイッチ取りはずし

(1) ツマミを引っ張って取りはずす。

(2) ノーズプライヤーを使用して，樹脂ナットをはずし，ブロワースイッチを取りはずす。

ヒーターコントロールASSY組み付け（Loプッシュ）

(1) 組み付けは分解の逆に行う。

注意 エアミックスダンパーコントロールケーブルおよびウォーターバルブコントロールケーブルは新品を使用する。

無断複製禁止

ヒーターコントロールASSY取り付け

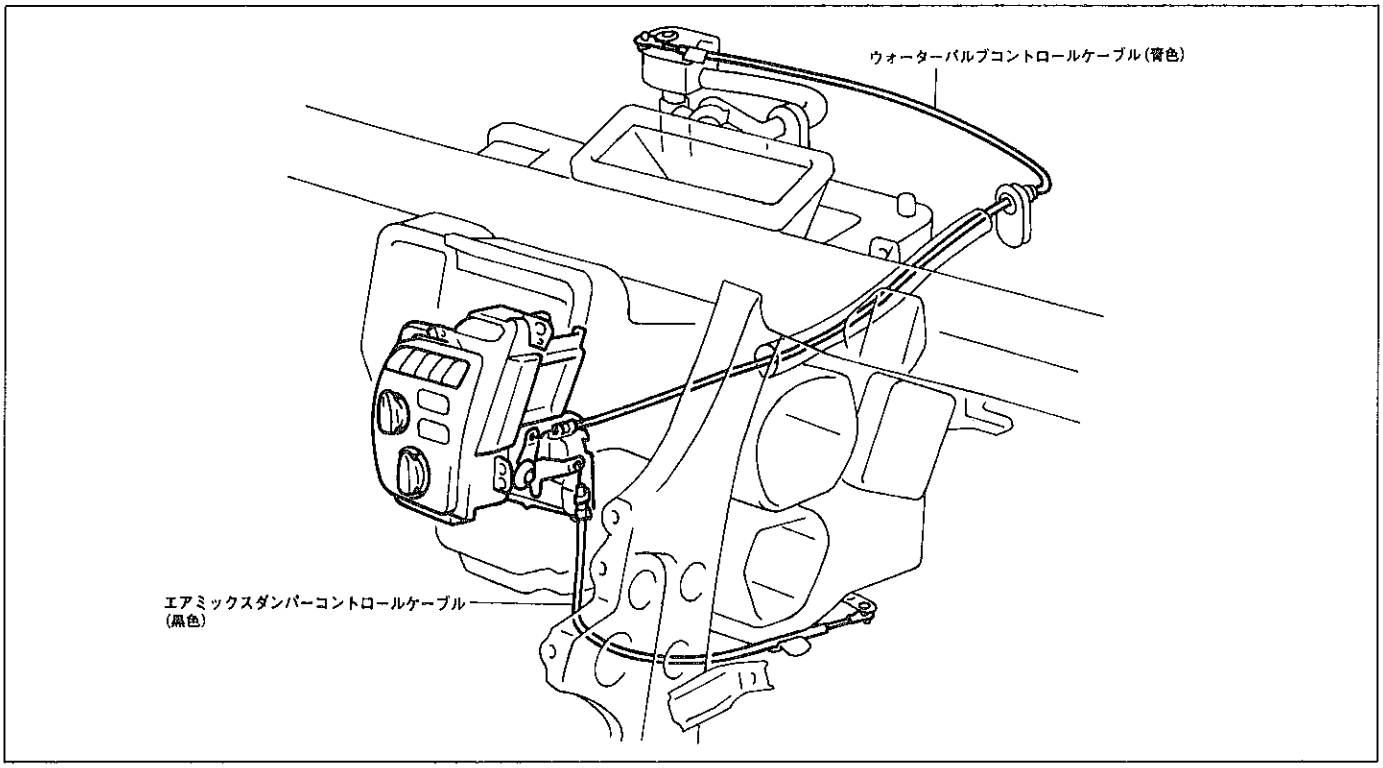
(1) 下記項目を除き，取りはずしの逆に行う。(Loプッシュ)

(2) 取り付けは取りはずしの逆に行う。(Hiプッシュ)

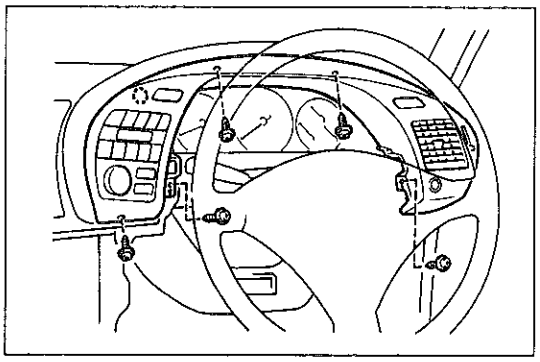
1 インストルメントクラスターフィニッシュパネルサブASSY取り付け

(1) ヒーターコントロールのコントロールケーブルの取りまわしに気をつけてパネルをセットする。

〈参考〉 コントロールケーブルの取りまわしを図に示す。



H6828

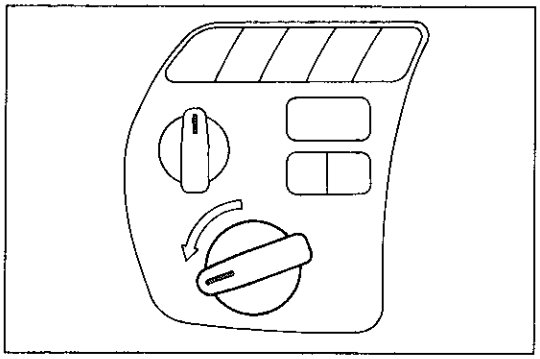


U9703

(2) コネクターを接続し，スクリュー５本でインストルメントクラスターフィニッシュパネルを取り付ける。

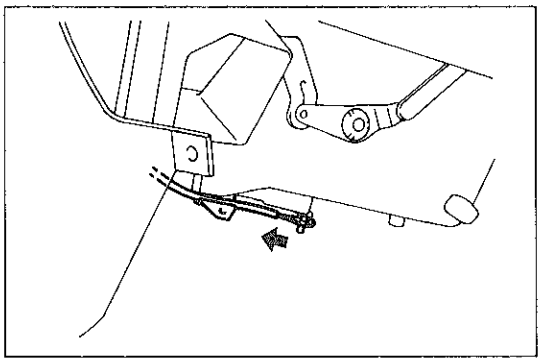
2 ヒーターコントロールセット

(1) 温度コントロールツマミをCOOL側にセットする。



H6770

無断複製禁止

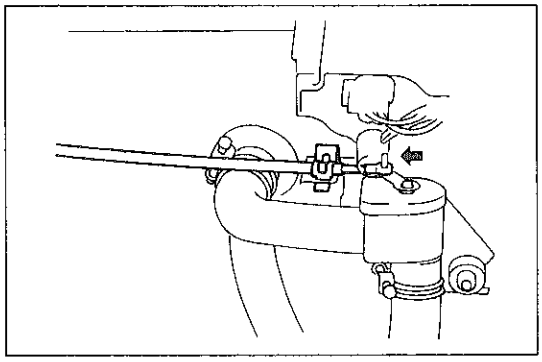


H6939

3 エアミックスダンパーコントロールケーブル取り付け

(1) ヒーターユニットのエアミックスダルパーのレバーを“COOL”側いっぱいにセットした状態でケーブルをクランプする。

(2) ヒーターコントロールの温度コントロールツマミを回し，“COOL”“WARM”の両端で節度音がし，反発力が発生しないことを確認する。



H6765

4 ウォーターバルブコントロールケーブル取り付け

(1) ウォーターバルブのレバーを“COOL”側いっぱいにセットした状態でケーブルのマーキング位置を目安にクランプする。

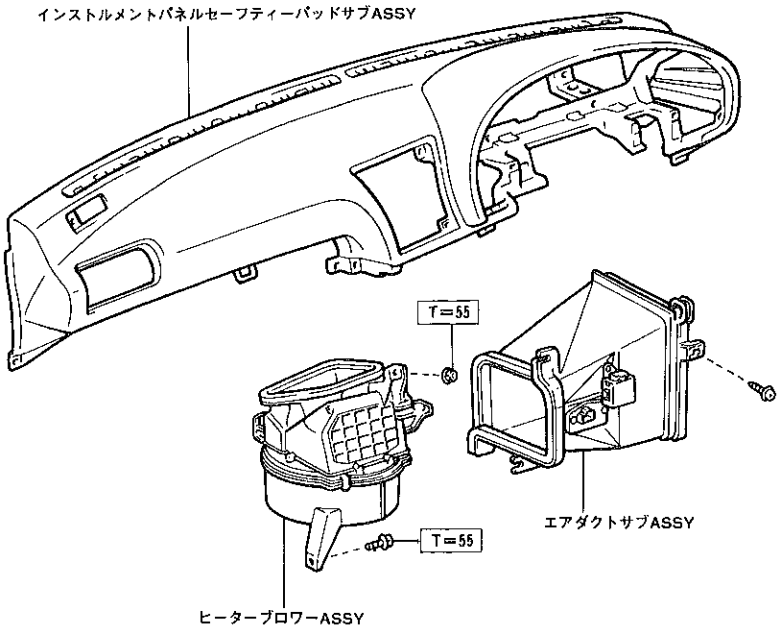
(2) ヒーターコントロールの温度コントロールツマミを回し，“COOL”“WARM”の両端で節度音がし，反発力が発生しないことを確認する。

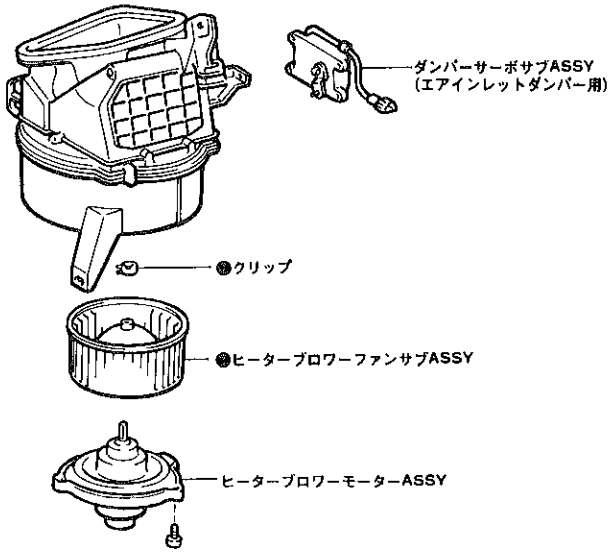
無断複製禁止

ヒーターブロワーASSY

注意 ステアリングホイールパッドは平坦な安定した場所に保管する。またパッド面を上にして置き，絶対に物を上に置かない。（詳細はP 9-2参照）

脱着分解構成図

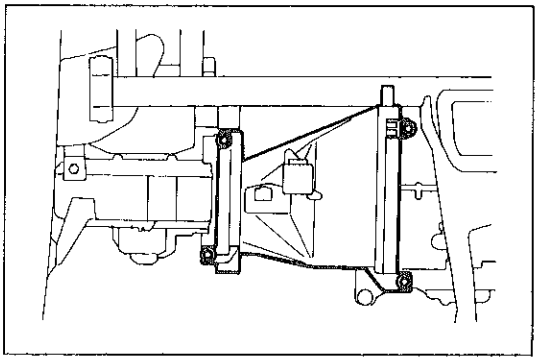




●……再使用不可部品 □……締め付けトルク（kg・cm）

H6916 H6860

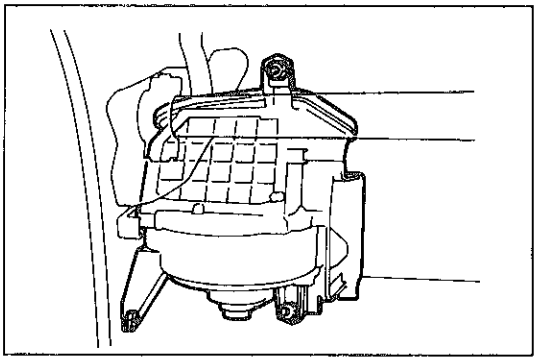
無断複製禁止


H6953

ヒーターブロワーASSY取りはずし

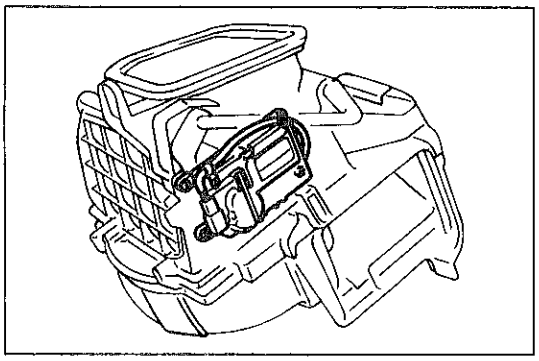
1 インストルメントパネルセーフティーパッドサブASSY取りはずし
(P10-81参照)

2 エアダクト取りはずし
(1) スクリュー4本をはずし，エアダクトを取りはずす。

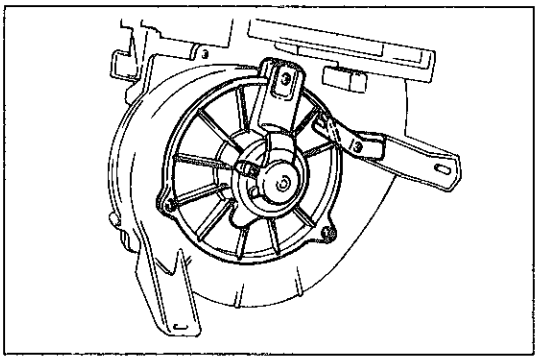

H6944

3 ヒーターブロワーASSY取りはずし
(1) ブロワーモーター，内外気切り替えサーボのコネクターを取りはずす。
(2) ボルト1本，ナット2個をはずし，ヒーターブロワーASSYを取りはずす。

ヒーターブロワーASSY分解

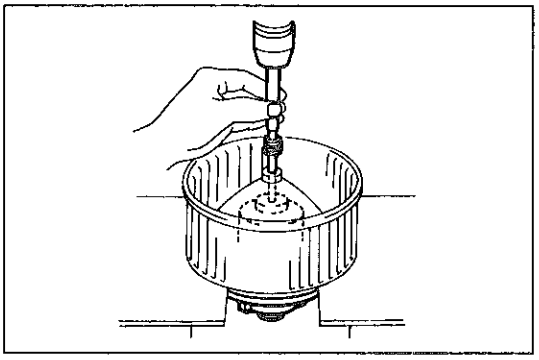

H6771

1 ダンパーサーボ取りはずし
(1) サーボのコネクターのクランプを取りはずす。
(2) スクリュー2本をはずし，サーボを取りはずす。


H6772

2 ヒーターブロワーリレー取りはずし
(1) スクリュー1本をはずし，ヒーターブロワーリレーを取りはずす。

3 ブロワーモーターASSY取りはずし
(1) スクリュー3本をはずし，ブロワーモーターを取りはずす。


H4187

4 ヒーターブロワーファン取りはずし
(1) クリップを取りはずす。
(2) ピンポンチおよびプレスを使用して，ブロワーファンを取りはずす。

ヒーターブロワーASSY組み付け

(1) 分解の逆に行う。

ヒーターブロワーASSY取り付け

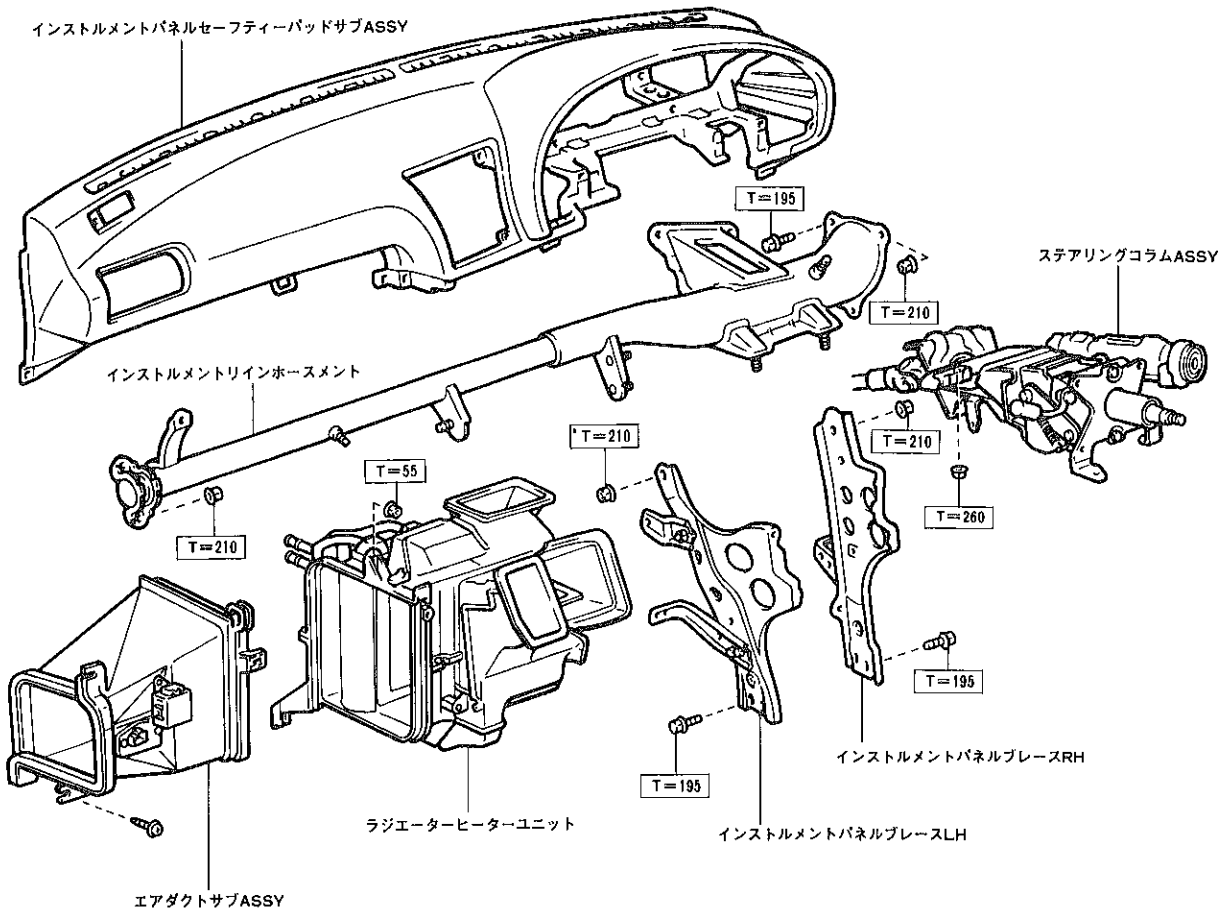
(1) 取りはずしの逆に行う。

無断複製禁止

ラジエーターユニットサブASSY

注意　ステアリングホイールパッドは平坦な安定した場所に保管する。またパッド面を上にして置き，絶対に物を上に置かない。（詳細はP 9-2参照）

脱着構成図

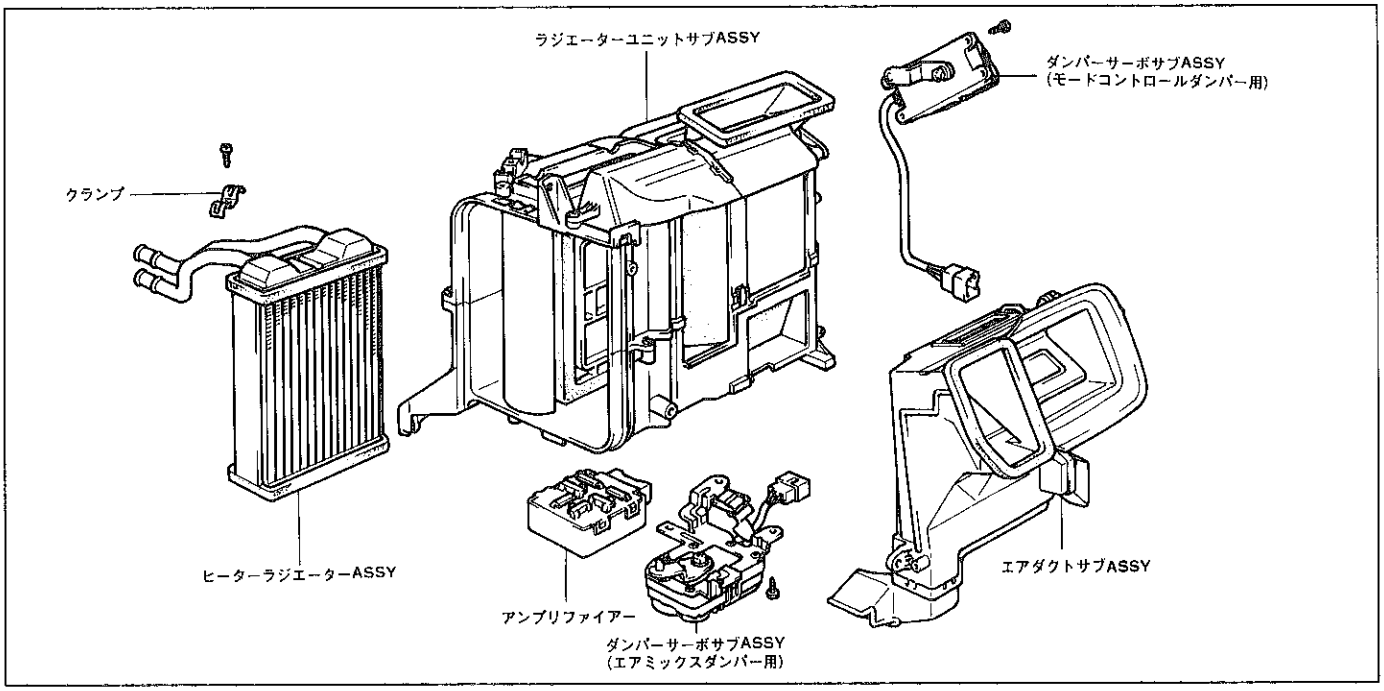


□……締め付けトルク（kg・cm）

H6918

無断複製禁止

分解構成図

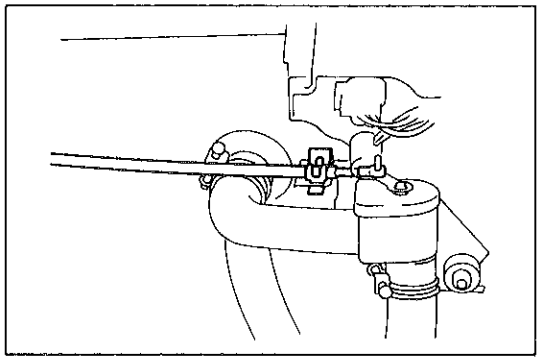


H6842

ラジエーターユニットサブASSY取りはずし

1 冷却水抜き取り

(1) ヒーターコントロールをMAX WARMにして冷却水を抜き取る。

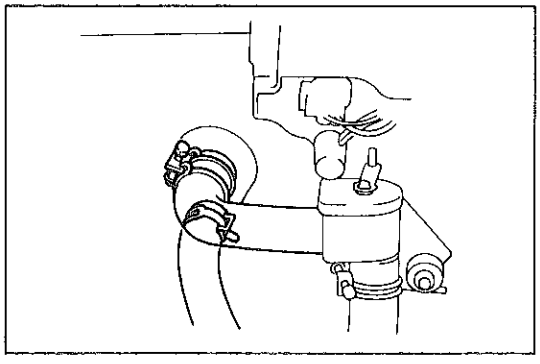


H6765

2 ウォーターバルブコントロールケーブル取りはずし

(1) ウォーターバルブのクランプをはずし，ウォーターバルブコントロールケーブルを取りはずす。

(2) ケーブルの先端にひもを結び，取り付け時のガイドにする。



H6773

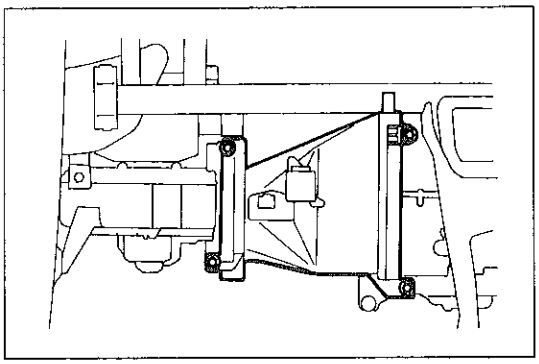
3 ヒーターホース取りはずし

(1) クランプ2個をゆるめ，ヒーターホース2本を取りはずす。

4 インストルメントパネルセーフティーパッドサブASSY取りはずし

(P10-81参照)

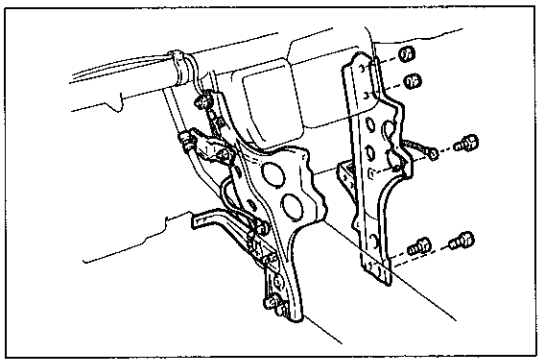
無断複製禁止


H6953

5 エアダクト取りはずし

(1) ブロワーレジスターのコネクターを取りはずす。

(2) スクリュー4本をはずし，エアダクトを取りはずす。

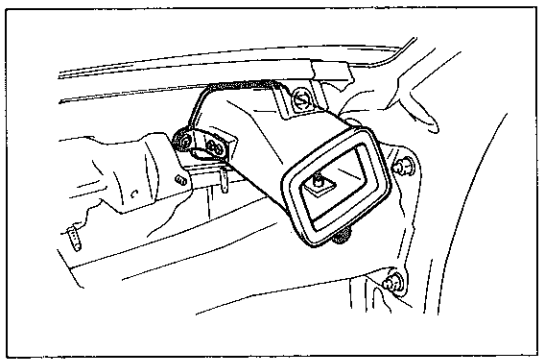

H6864

6 インストルメントパネルブレース取りはずし

(1) ボルト2本をはずし，ボンドケーブル2本を取りはずす。

(2) ワイヤハーネスのクランプ2個を取りはずす。

(3) ボルト4本，ナット3個をはずし，インストルメントパネルブレースRH，LHを取りはずす。


H6843

7 カウルツゥレジスターダクト取りはずし

(1) スクリュー2本をはずし，ダクトを取りはずす。

8 ステアリングコラムASSY取りはずし

(P8-19参照)

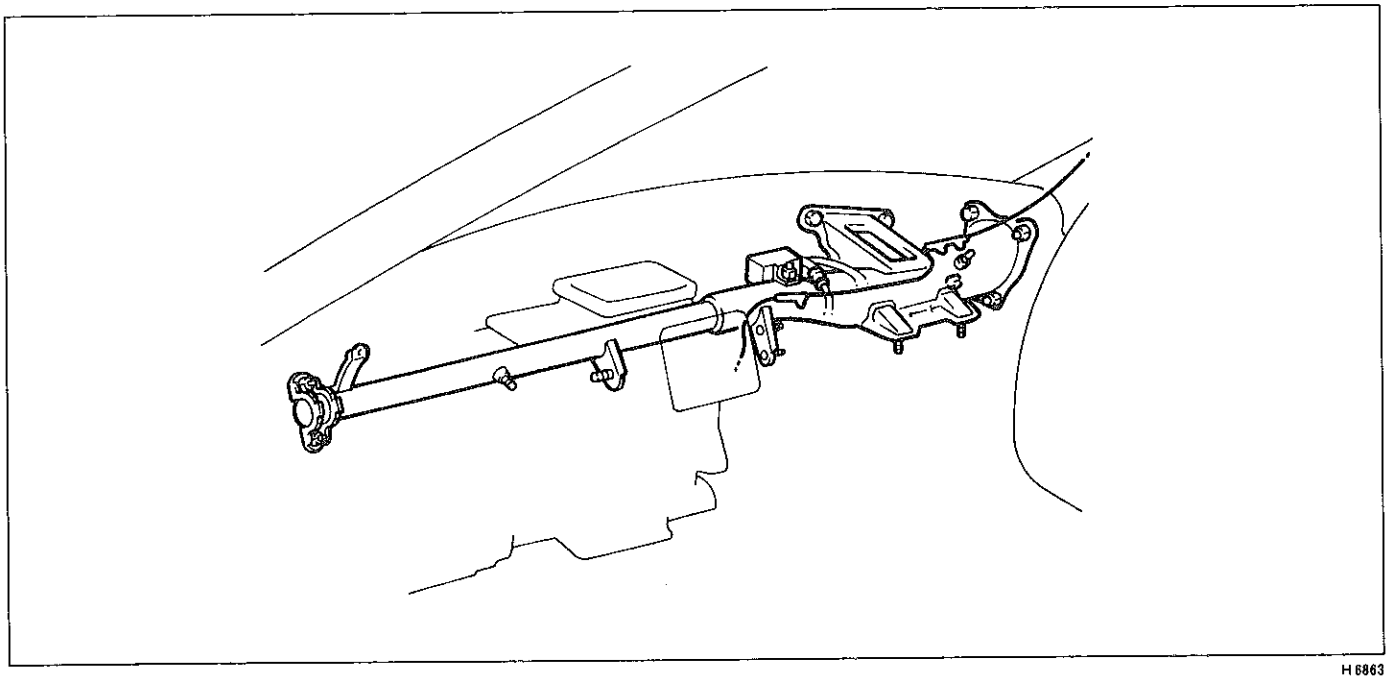
9 インストルメントリインホースメント取りはずし

(1) ワイヤハーネスのクランプ2箇所を取りはずす。

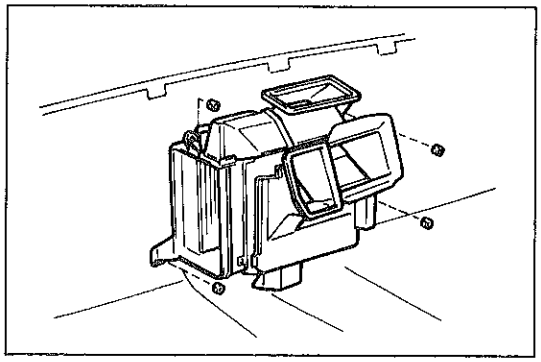
(2) ナット2個をはずし，ジャンクションブロックNo.3を取りはずす。

(3) アンテナケーブルのクランプを取りはずす。

(4) ボルト4本，ナット4個をはずし，リインホースメントを取りはずす。


H6863

無断複製禁止

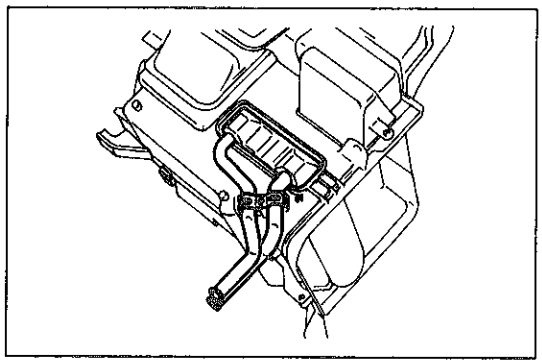

H6774

10 ヒーターユニット取りはずし

(1) サーボおよびアンプ用のコネクター2個を取りはずす。

(2) ナット4個をはずし，ヒーターユニットを取りはずす。

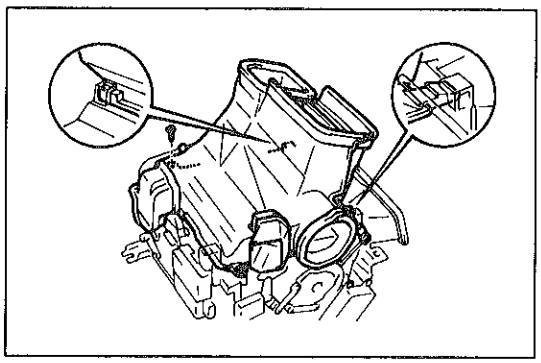
ヒーターユニットサブASSY分解


H6775

1 ラジエーターユニット取りはずし

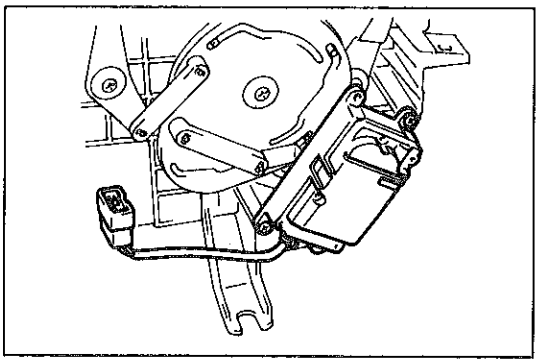
(1) スクリュー1本をはずし，クランプを取りはずす。

(2) ラジエーターユニットを上方へ抜き出す。


H6847

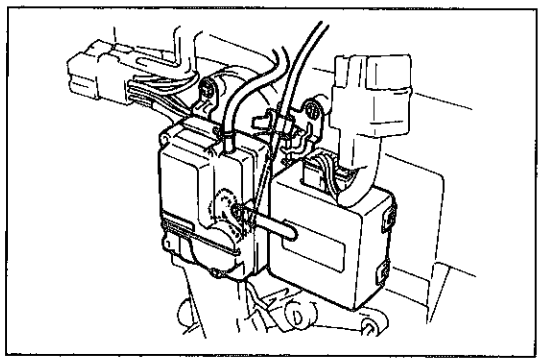
2 エアダクト取りはずし

(1) スクリュー2本をはずし，エアダクトを取りはずす。


H6845

3 ダンパーサーボ（モード用）取りはずし

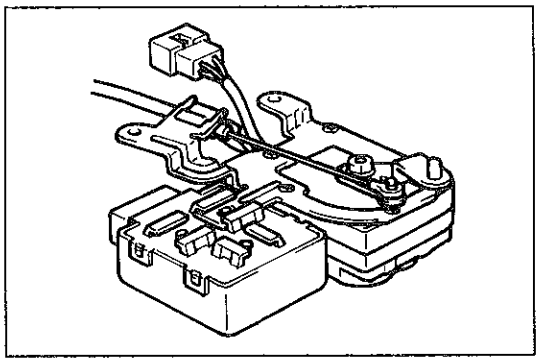
(1) スクリュー2本およびコネクターをはずし，ダンパーサーボ(モード用）を取りはずす。


H6846

4 ダンパーサーボ(エアミックス用)取りはずし（Hiプッシュ）

(1) スクリュー2本およびコネクターをはずし，ダンパーサーボ(エアミックス用)，アンプリファイアー，ウォーターバルブコントロールケーブルを一体で取りはずす。

無断複製禁止

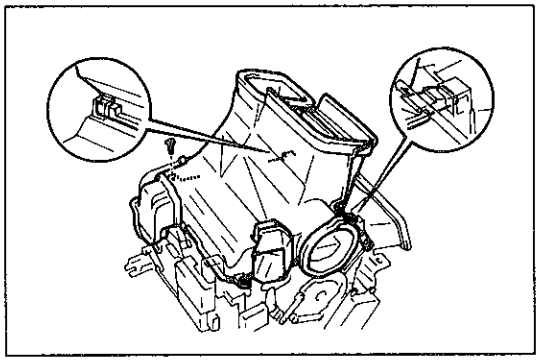

H6848

5 アンプリファイアーASSY取りはずし（Hiプッシュ）

(1) ダンパーサーボ（エアミックス用）のブラケットからアンプリファイアーを取りはずす。

6 ウォーターバルブコントロールケーブル取りはずし（Hiプッシュ）

(1) ダンパーサーボ（エアミックス用）のブラケットのクリップをはずし，コントロールケーブルを取りはずす。

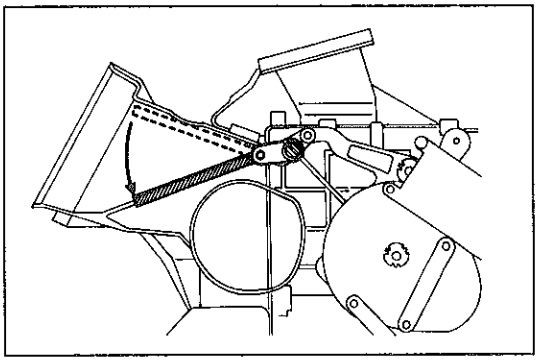

H6847

ヒーターユニットサブASSY組み付け

(1) 組み付けは，下記要領を除いて分解の逆に行う。

1 エアダクト取り付け

(1) エアダクトのツメ2箇所を合わせ，スクリュー2本で取り付ける。


H6949

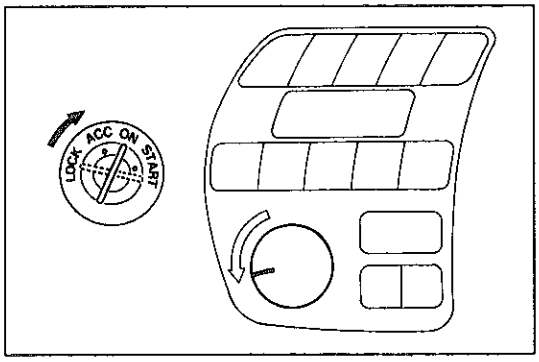
(2) ヒーターユニット側を“DEF”モードにし，エアダクトのフェースダンパーを全閉にしてリンクを接続する。

ヒーターユニットサブASSY取り付け

(1) 取り付けは，下記要領を除いて取りはずしの逆に行う。

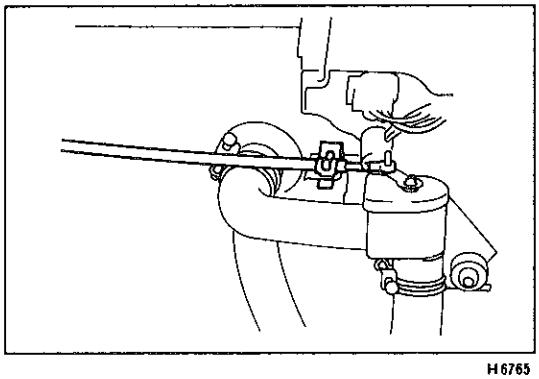
1 ウォーターバルブコントロールケーブル取り付け（Hiプッシュ）

(1) イグニッションスイッチをONにし，ヒーターコントロールの温度コントロールレバーを“MAX COOL”にする。

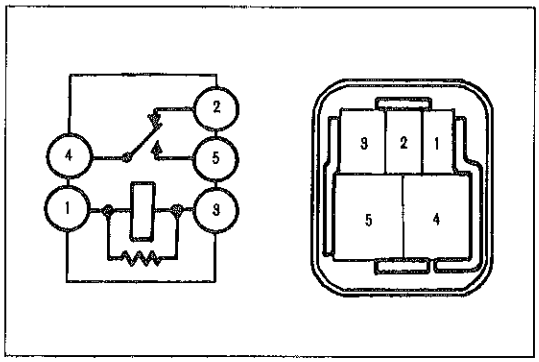


H6874

(2) ウォーターバルブを“COOL”側にセットし，コントロールケーブルを取り付ける。


H6765

無断複製禁止



H6280

単体点検

ヒーターメインリレー

1 導通点検

(1) コネクター各端子間の導通を点検する。

基 準 1端子↔3端子間……導通あり

2端子↔4端子間……導通あり

4端子↔5端子間……導通なし

(2) 1端子↔3端子間にバッテリー電圧を加えたとき，各端子間の導通を点検する。

基 準 2端子↔4端子間……導通なし

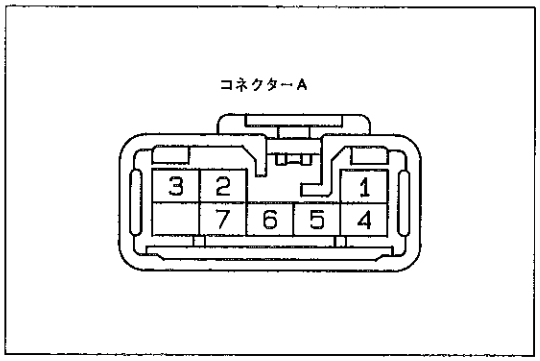
4端子↔5端子間……導通あり

ヒーターコントロールASSY

Loプッシュ

1 ヒーターブロワースイッチ点検

(1) コネクター各端子間の導通を点検する。



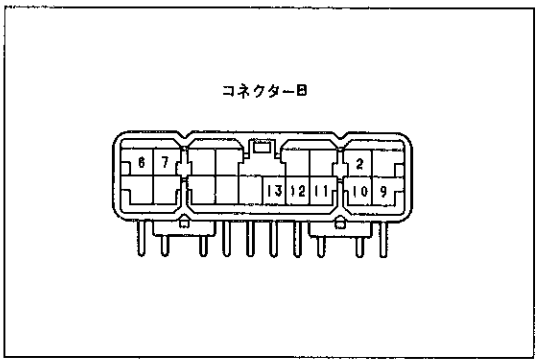
H6967

基 準 ○—○導通あり

切り替え＼端子番号	コネクターA 1	2	3	4	5	6	7
OFF							
ON	○		○				○
I		○	○			○	
II		○	○	○			
HI		○	○		○		

2 モード切り替えスイッチ点検

(1) コネクター各端子間の導通を点検する。



E-18-2-A

基 準 ○—○導通あり

切り替え＼端子番号		コネクターB 2	9	10	11	12	13
FACE		○	○				
BI-LEVEL		○		○			
FOOT		○			○		
FOOT-DEF		○				○	
DEF		○					○

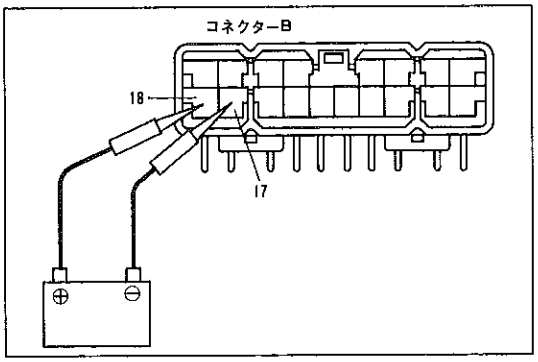
3 エアインレットダンパーコントロールスイッチ点検

(1) コネクター各端子間の導通を点検する。

基 準 ○|◀|○ダイオードあり ○—○導通あり

切り替え＼端子番号	コネクターB 2	7	8
FRESH	○		○
FREIRC	○	○	

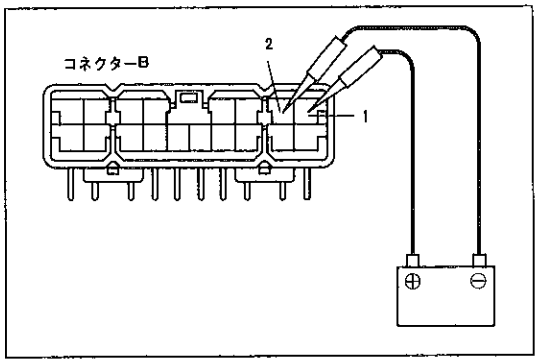
無断複製禁止



H6829

4　夜間照明点検

(1)　コネクターBの18端子にバッテリーの⊕，17端子にバッテリーの⊖を接続したとき，夜間照明が点灯することを確認する。



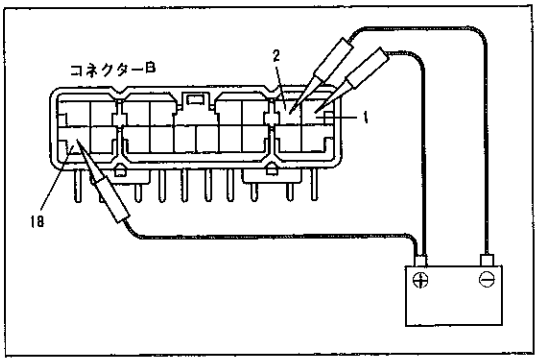
H6830

5　インジケーター点検

点灯点検

(1)　コネクターBの1端子にバッテリーの⊕，2端子にバッテリーの⊖を接続する。

(2)　モード切り替えスイッチ，エアインレットダンパーコントロールスイッチを操作したとき，操作したスイッチのインジケーターが点灯することを確認する。



H6831

減光点検

(1)　コネクターBの1端子にバッテリーの⊕，2端子にバッテリーの⊖を接続したとき，点灯するインジケーターを確認する。

(2)　(1)の状態で，コネクターBの18端子にバッテリーの⊕を接続したとき，各インジケーターが減光することを確認する。

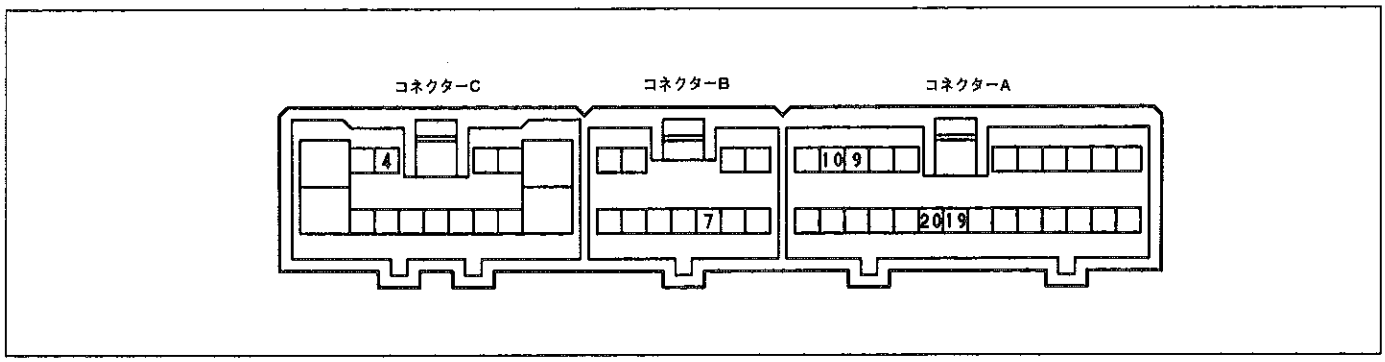
Hiプッシュ

1　ヒーターブロワースイッチ点検

(1)　コネクター各端子間の導通を点検する。

基　準　　○—○導通あり

端子番号 / 切り替え	コネクターA				コネクターB	コネクターC
	9	10	19	20	7	4
OFF(押す)					○	○
LO			○			○
I		○	○			○
II	○		○			○
HI			○	○		○



eh-51-2

無断複製禁止

2 モード切り替えスイッチ点検

(1) コネクター各端子間の導通を点検する。

基 準 ○—○導通あり

切り替え＼端子番号		コネクターC					
		1	2	3	4	10	11
FACE		○			○		
BI-LEVEL			○		○		
FOOT				○	○		
FOOT-DEF					○	○	
DEF					○		○

3 エアインレットダンパーコントロールスイッチ点検

(1) コネクター端子間の導通を点検する。

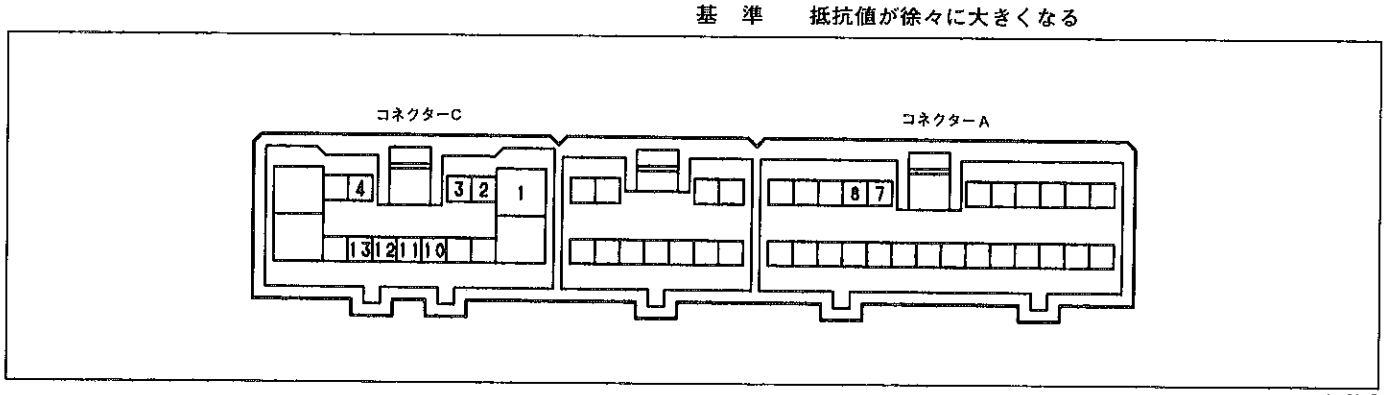
基 準 ○—◀—○ダイオードあり ○—○導通あり

切り替え＼端子番号	コネクターC		
	4	12	13
FRESH	○	◀ ○	
RECIRC	○		◀ ○

4 温度コントロール点検

(1) 温度コントロールノブを左側 (MAX COOL) から右側 (MAX WARM) へ回したとき，コネクターAの7↔8端子間の抵抗値が変化することを確認する。

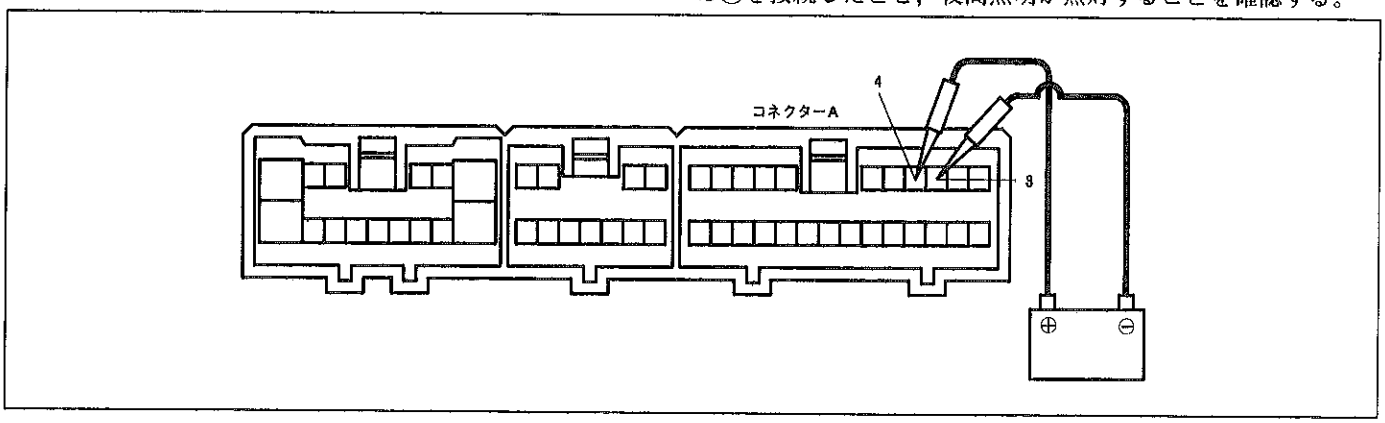
基 準 抵抗値が徐々に大きくなる



eh-51-2

5 夜間照明点検

(1) コネクターAの4端子にバッテリーの⊕，3端子にバッテリーの⊖を接続したとき，夜間照明が点灯することを確認する。



H6985

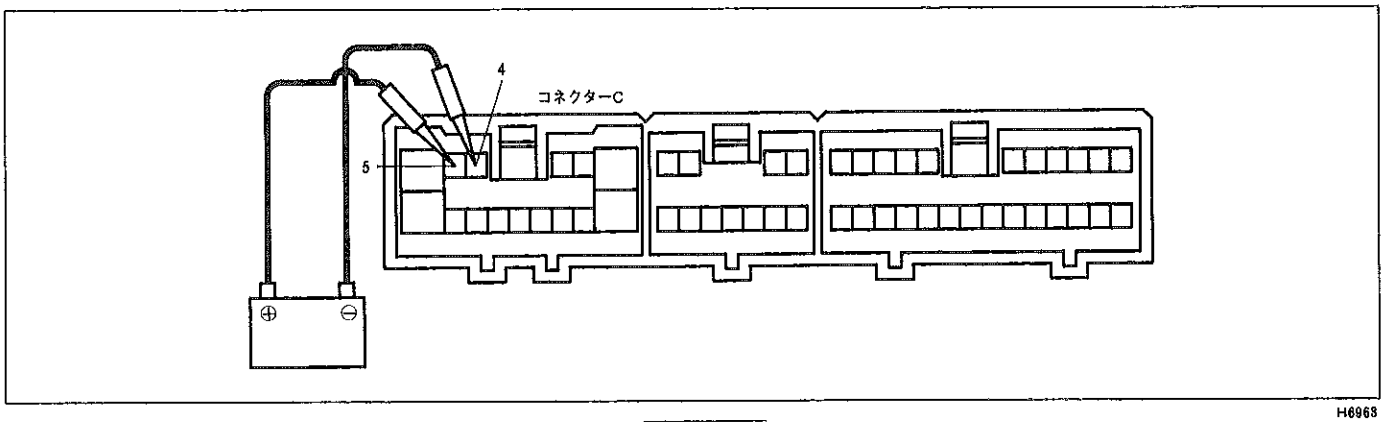
無断複製禁止

6　インジケーター点検

点灯点検

(1)　コネクターCの5端子にバッテリーの⊕，4端子にバッテリーの⊖を接続する。

(2)　モード切り替えスイッチ，エアインレットダンパーコントロールスイッチを操作したとき，操作したスイッチのインジケーターが点灯することを確認する。

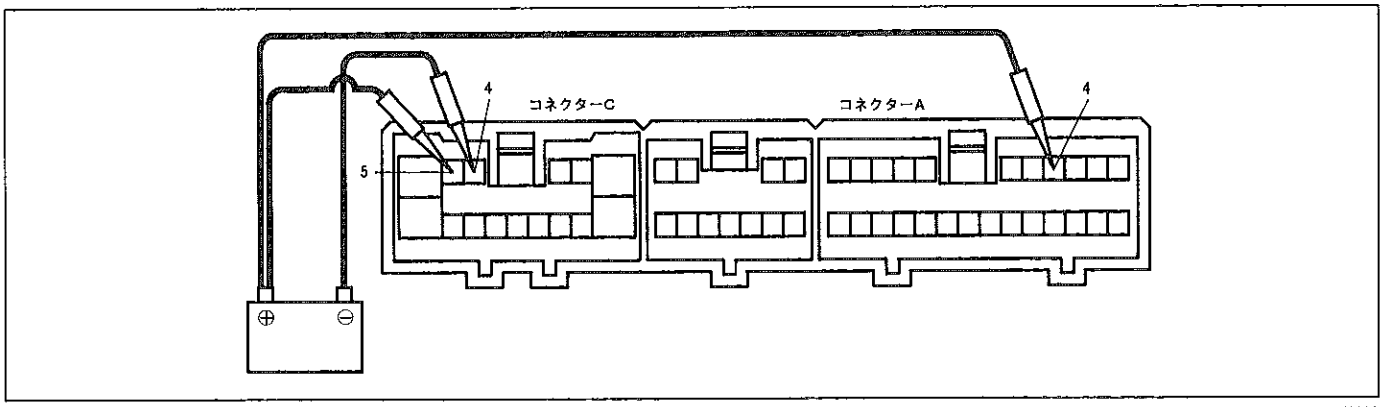


H6968

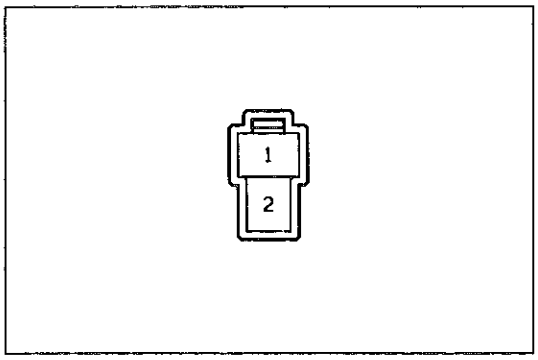
減光点検

(1)　コネクターCの5端子にバッテリーの⊕，4端子にバッテリーの⊖を接続したとき，点灯するインジケーターを確認する。

(2)　(1)の状態で，コネクターAの4端子にバッテリーの⊕を接続したとき，各インジケーターが減光することを確認する。



H6964



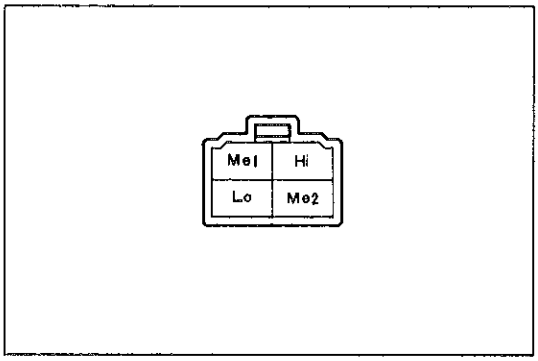
H-2-2

ブロワーモーター

1　作動点検

(1)　コネクターの1端子にバッテリーの⊕，2端子にバッテリーの⊖を接続したとき，モーターがドライブ側より見て異音なく右回転することを確認する。

無断複製禁止



H-4-2

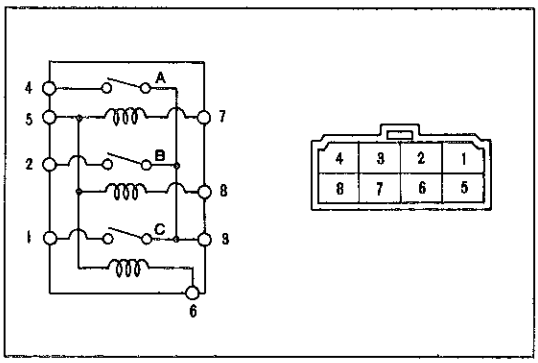
ブロワーレジスター

1 抵抗点検

(1) コネクター各端子間の抵抗値を測定する。

基準値

測定 ＼ 端子記号	Hi↔Me_2	Hi↔Me_1	Hi↔Lo
抵抗値(Ω)	0.45～0.51	1.32～1.52	2.17～2.49



H2181

ヒーターブロワーリレー

1 導通点検

(1) リレーコネクター各端子間の導通を点検する。

基 準 リレーA

5端子↔7端子間……導通あり

3端子↔4端子間……導通なし

5端子↔7端子間にバッテリー電圧を加えたとき

3端子↔4端子間……導通あり

リレーB

5端子↔8端子間……導通あり

2端子↔3端子間……導通なし

5端子↔8端子間にバッテリー電圧を加えたとき

2端子↔3端子間……導通あり

リレーC

5端子↔6端子間……導通あり

1端子↔3端子間……導通なし

5端子↔6端子間にバッテリー電圧を加えたとき

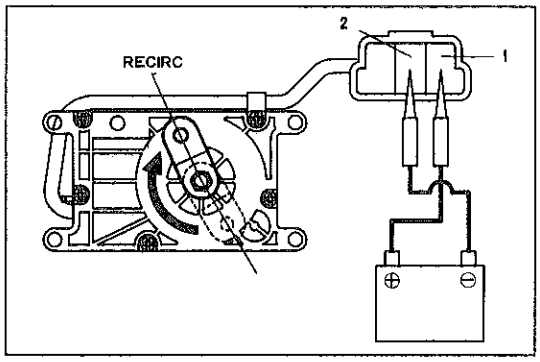
1端子↔3端子間……導通あり

ダンパーサーボサブASSY

エアインレットダンパー用

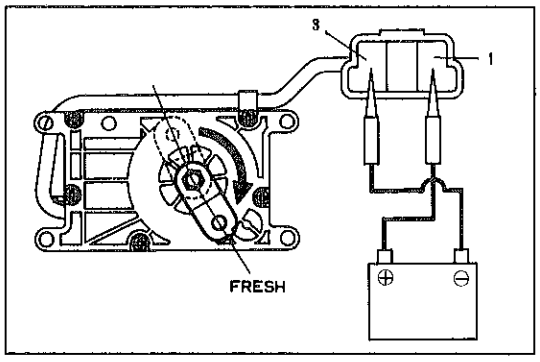
1 作動点検

(1) コネクターの1端子にバッテリーの⊕，2端子にバッテリーの⊖を接続したとき，アームがスムースに右回転し，RECIRC 位置で停止することを確認する。



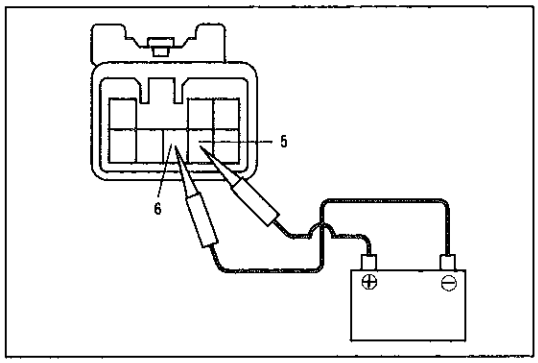
H6832

(2) コネクターの1端子にバッテリーの⊕，3端子にバッテリーの⊖を接続したとき，アームがスムースに右回転し，FRESH 位置で停止することを確認する。



H6833

無断複製禁止



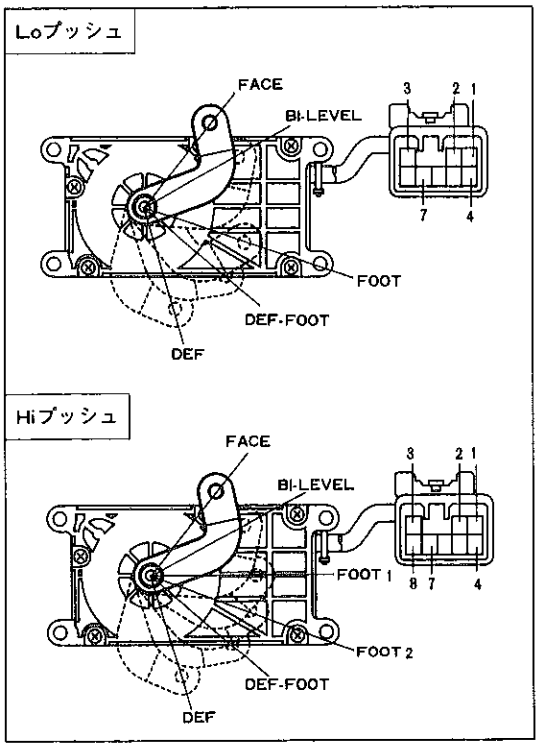
H6834

モードコントロールダンパー用

1　作動点検

(1)　コネクターの5端子にバッテリーの⊕，6端子にバッテリーの⊖を接続する。

注意　バッテリーは，逆に接続しない。



H6835　H6836

(2)　コネクターの各端子にバッテリーの⊖を接続したとき，アームがスムースに回転し，各モード位置で停止することを確認する。

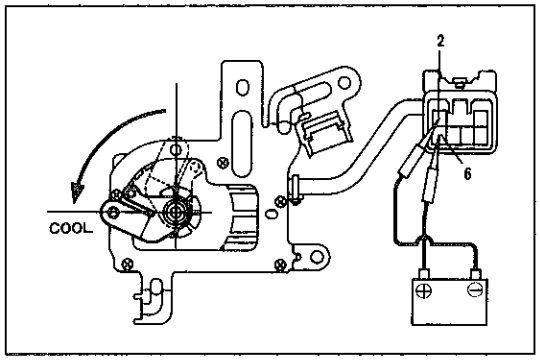
基　準

バッテリー⊖接続端子	アーム停止位置	
	Loプッシュ	Hiプッシュ
1	FACE	FACE
2	BI-LEVEL	BI-LEVEL
3	HEAT	HEAT 2
4	FOOT-DEF	FOOT-DEF
7	DEF	DEF
8	———	HEAT 1

エアミックスダンパー用（Hiプッシュ）

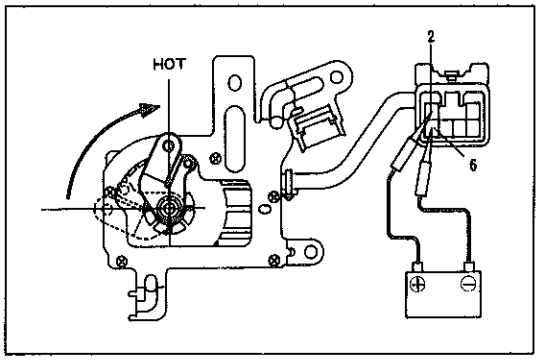
1　作動点検

(1)　コネクターの6端子にバッテリーの⊕，2端子にバッテリーの⊖を接続したとき，アームがスムースに回転し，MAX　COOL位置で停止することを確認する。



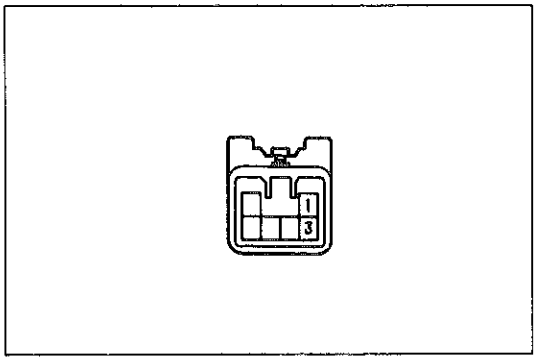
H6837

(2)　コネクターの2端子にバッテリーの⊕，6端子にバッテリーの⊖を接続したとき，アームがスムースに回転し，MAX　HOT位置で停止することを確認する。

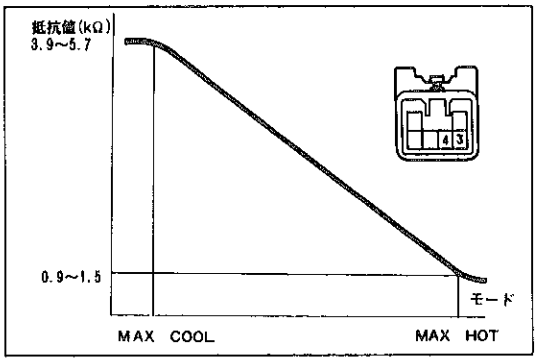


H6838

無断複製禁止



e-6-2



H4914 e-6-2

2 抵抗点検

(1) コネクターの1端子↔3端子間の抵抗値を測定する。

基準値 4.8～7.2kΩ

(2) サーボを作動させ，コネクターの3端子↔4端子間の抵抗値を測定する。

基準値 MAX COOL位置……3.9～5.7kΩ

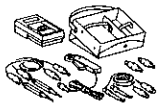
MAX HOT位置……0.9～1.5kΩ

MAX COOL位置～MAX HOT位置間，抵抗値は連続的に変化すること

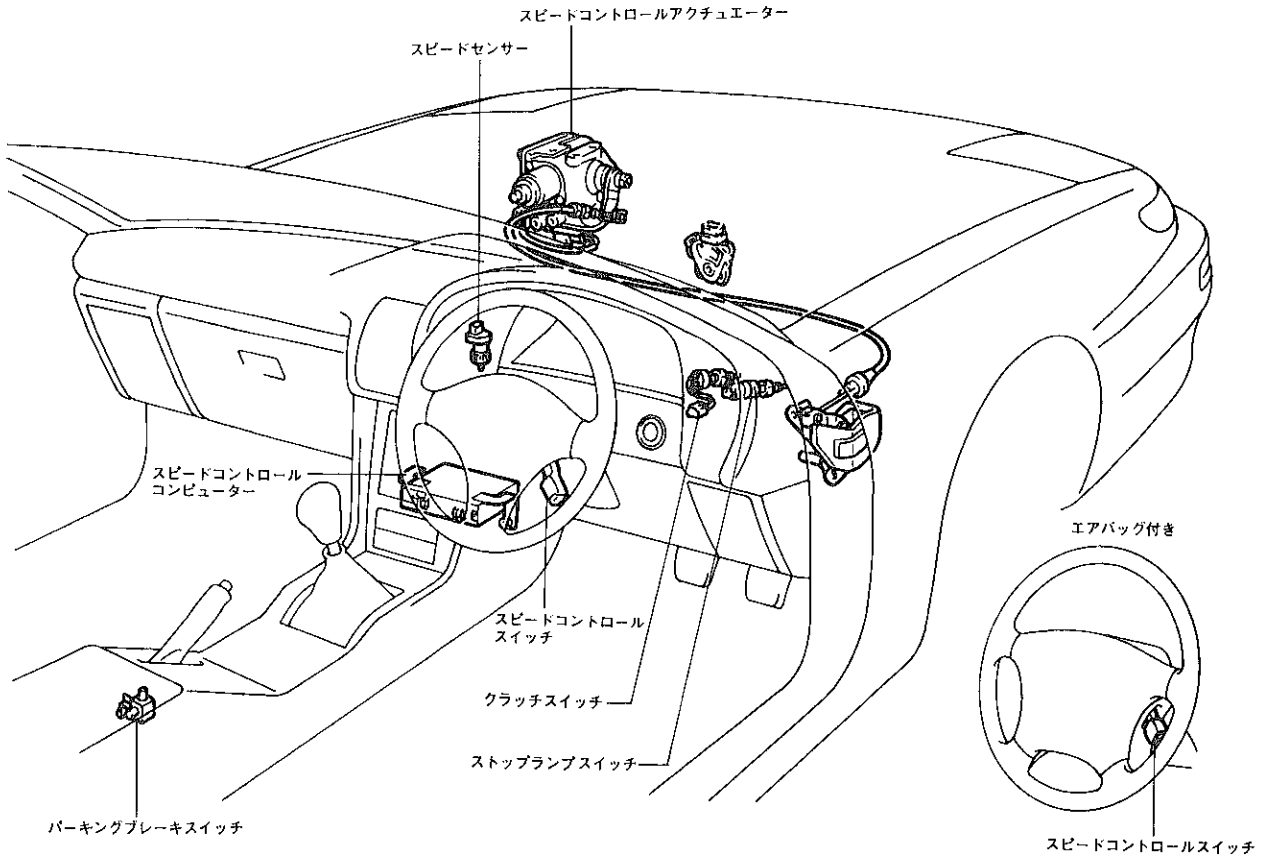
無断複製禁止

オートドライブ

準　備　品

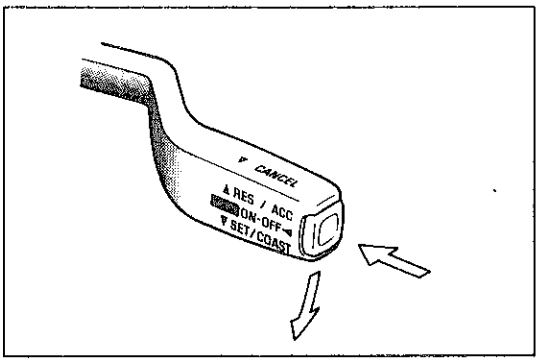
計　器		09082-00012　トヨタエレクトリカルテスター	各部点検用
		09083-00060　ミニテストリード	コネクター部点検用

部品配置図

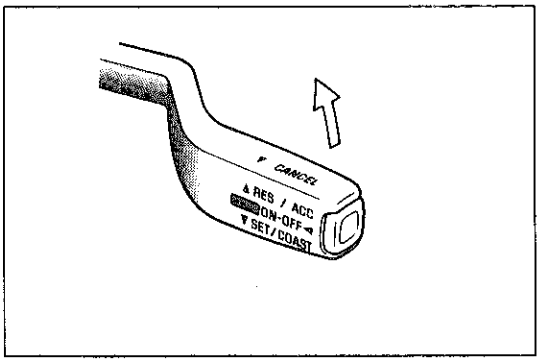


H6867

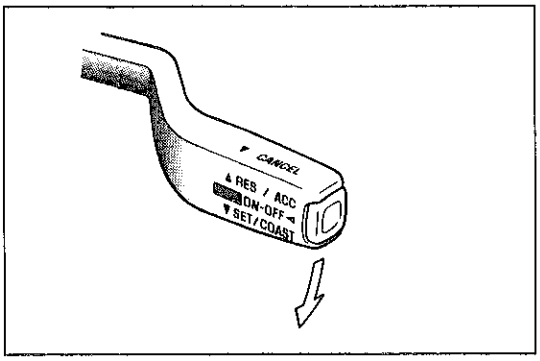
無断複製禁止



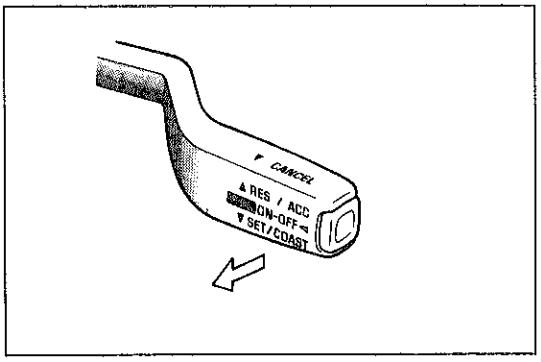
H6961



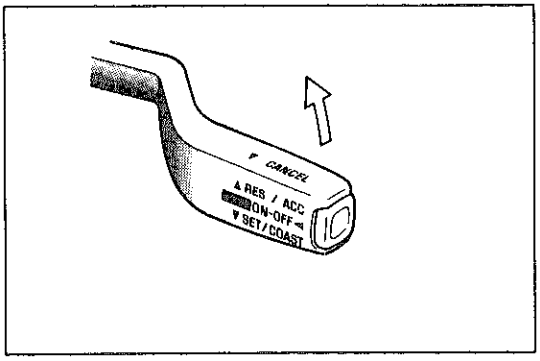
H6961



H6961



H6961



H6961

機能点検

オートドライブ走行点検

1 オートドライブセット点検

(1) メインスイッチをONにする。

(2) 車速を約40～100km/hの希望速度で走行する。

(3) コントロールスイッチをSET/COAST側に下げる。

(4) 手を離すと希望速度で定速走行することを点検する。

〈参考〉 登坂路などを走行中車速がセット速度より約16km/h下がるとオートドライブを解除する。

2 増速セット点検

(1) 希望速度にセットする。

(2) コントロールスイッチをRES/ACC側に上げ続ける間加速を続け，手を離したときの速度で定速走行することを点検する。

〈参考〉 加速中車速が高速リミット（約100km/h）に達するとそれ以上加速しない。

3 減速セット点検

(1) 希望速度にセットする。

(2) コントロールスイッチをSET/COAST側に下げ続ける間減速を続け，手を離したときの速度で定速走行することを点検する。

〈参考〉 減速中車速が低速リミット（約40km/h）に達するとオートドライブは解除する。

4 オートドライブ解除点検

(1) オートドライブをセットする。

(2) 下記のいずれかの操作を行ったとき通常走行にもどることを点検する。

① ブレーキペダルを踏む。

② クラッチペダルを踏む。(M/T車)

③ シフトレバーをN　レンジにする。(A/T車)

④ パーキングブレーキを操作する。

⑤ オートドライブメインスイッチをOFFにする。

⑥ コントロールスイッチをCANCEL側（手前）に引く。

5 解除前のセット速度復帰点検

(1) オートドライブをセットする。

(2) 下記のいずれかの操作を行いオートドライブを解除する。

① ブレーキペダルを踏む。

② クラッチペダルを踏む。(M/T車)

③ シフトレバーをN　レンジにする。(A/T車)

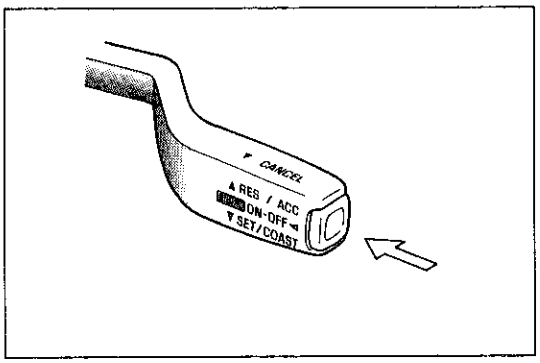
④ パーキングブレーキレバーを操作する。

⑤ コントロールスイッチを手前（CANCEL）に引く。

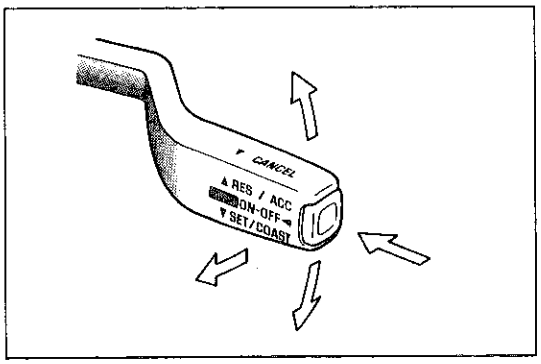
(3) 車速が約40km/h以上の状態でコントロールスイッチをRES/ACC側に上げたとき解除前の速度に復帰することを点検する。

注意 車速が一度約40km/h以下になったときは復帰しない。

無断複製禁止



H6961



H6961

スピードコントロールスイッチ点検

1 オートドライブメインスイッチ点検

(1) イグニッションスイッチをONにする。

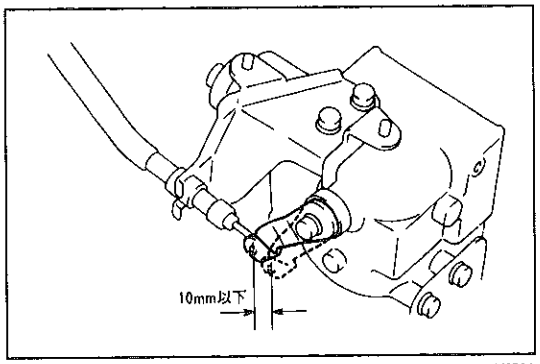
(2) オートドライブのメインスイッチをONしたときメーター内のインジケーターランプが点灯し，OFFにしたとき消灯することを確認する。

(3) メインスイッチがONの状態でイグニッションスイッチをOFFし，再度イグニッションスイッチをONにしたときインジケーターランプが消灯していることを確認する。

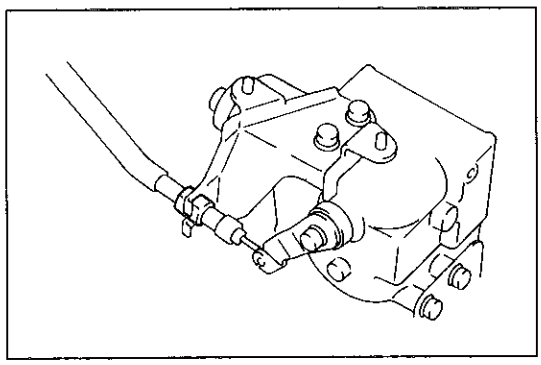
2 スピードコントロールスイッチ点検

(1) RES/ACC側，SET/COAST側へそれぞれスムースに作動することを点検する。

(2) 手を離すと元の位置にもどることを点検する。



H6780


H6781

スピードコントロールケーブル点検，調整

1 スピードコントロールケーブル遊び点検，調整

(1) ナット2個をはずし，アクチュエーターカバーを取りはずす。

(2) アクチュエーターのアウトプットアームを手前に動かし，ケーブルの遊びを調べる。

注意 アウトプットアームは，スロットルバルブが開かない範囲で動かす。

基準値 10mm以下

2 スピードコントロール調整

(1) スピードコントロールケーブルのダブルナットをゆるめて調整する。

無断複製禁止

トラブルシューティング

注意 コンピューターの記憶データーが消去されるので，イグニッションスイッチをON以外にしたり，バッテリーターミナルをはずさない。

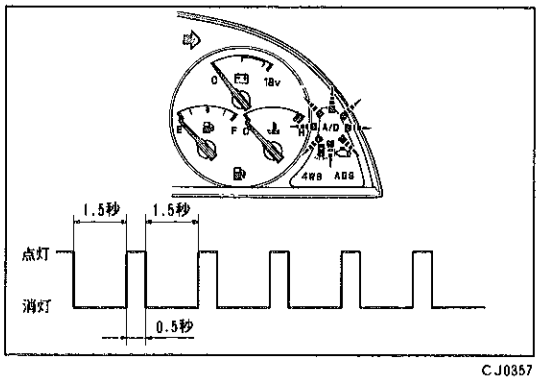
トラブルシューティングの進め方

1 前点検
2 ダイアグノーシス点検
3 入力点検
4 不具合現象別チャートによる点検

前点検

(1) アクチュエーター，アクセルワイヤ，A/Dワイヤ，リンクASSYおよびベルクランクASSYの取り付けが正常であり，ワイヤおよびリンクが完全に接続されていることを確認する。
(2) アクセルペダル，アクセルワイヤ，A/Dワイヤ，リンクASSYおよびベルクランクASSYの動きがスムースであることを確認する。
(3) コントロールワイヤ，リンク系統に遊び，張り過ぎがないように調整する。
(4) コンピューター，アクチュエーター，コントロールスイッチおよび各キャンセルスイッチのコネクターが確実に接続されていることを確認する。
(5) エンジン回転状態で，パーキングブレーキレバーを操作したとき，コンビネーションメーター内のブレーキウォーニングランプが点灯することを確認する。
(6) イグニッションスイッチ ONで，メインスイッチを押したとき，コンビネーションメーター内のオートドライブインジケーターランプが点灯することを確認する。

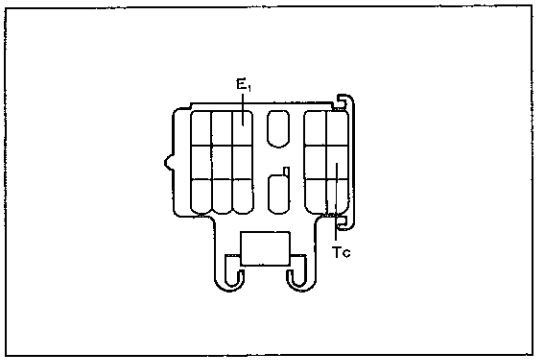
ダイアグノーシス点検



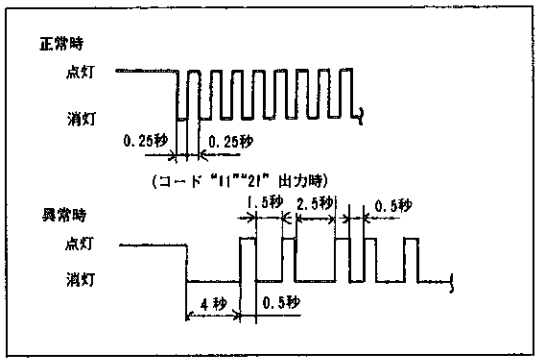
CJ0357

注意 ダイアグノーシスは，オートドライブ走行中，スピードセンサー回路およびスピードコントロールアクチュエーター回路の異常発生を，メーター内のインジケーターランプを5回点滅させて運転者に知らせる。(コード番号23，41についてはオートキャンセルするのみ) また，故障診断コードをメーター内のインジケーターランプの点滅で表示するが，ダイアグノーシスの記憶はイグニッションスイッチをON以外にすると消去される。したがって，ダイアグノーシス点検は走行テスト後，エンジン回転中の状態で行う。

無断複製禁止



SH-18-1



1　イグニッションスイッチ　ON継続

2　ダイアグノーシスコード読み取り

(1)　ダイアグノーシスコネクターのTc↔E_1端子を短絡する。

注意　短絡位置を間違えると故障の原因になるため，絶対に間違えない。

(2)　オートドライブインジケーターランプの点滅回数を読み取る。

コード番号	診断項目	インジケーターランプ点滅周期	診断内容	点検内容
11	スピードコントロールアクチュエーター系	点灯 消灯	• アクチュエーター内のモーターまたは，セーフティーマグネットクラッチに過電流が流れた • アクチュエーターへの出力が，増速側へ100%デューティーになった	• スピードコントロールアクチュエーター • スピードコントロールコンピューター • ワイヤハーネス
12	スピードコントロールアクチュエーター系（セーフティーマグネットクラッチ）	点灯 消灯	アクチュエーター内のセーフティーマグネットクラッチが断線した	• スピードコントロールアクチュエーター • ワイヤハーネス
13	スピードコントロールアクチュエーター系（ポテンショメーター）	点灯 消灯	• アクチュエーター内のポテンショメーター出力が異常 • アクチュエーターの駆動信号を出力してもポテンショメーターの出力が変化しない	• スピードコントロールアクチュエーター • ワイヤハーネス
21	スピードセンサー系	点灯 消灯	A/Dセット中，車速信号が140msec以上入力されない	• スピードセンサー
23	車速リミッター系	点灯 消灯	走行車速が記憶車速の−16km/h以下になった	
31	スピードコントロールスイッチ系（RES/ACC）	点灯 消灯	復帰信号が常時入力されている（メインスイッチをONにしたとき，復帰信号がONされている）	• スピードコントロールスイッチ
32	スピードコントロールスイッチ系(アース)	点灯 消灯	スピードコントロールスイッチ（CCS系）がアースショートした	• ワイヤハーネス

無断複製禁止

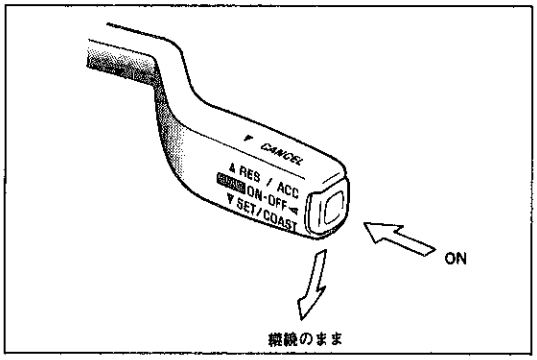
コード番号	診断項目	インジケーターランプ点滅周期	診断内容	点検内容
33	スピードコントロールスイッチ系（セット，リジューム系）	点灯 消灯	スピードコントロールスイッチのセットとリジュームが同時にONした	・スピードコントロールスイッチ
34	スピードコントロールスイッチ系	点灯 消灯	スピードコントロールスイッチがOFFにならない	・スピードコントロールスイッチ
41	コンピューター系	点灯 消灯	コンピューター異常	・スピードコントロールコンピューター

3　ダイアグノーシスコネクター開放

4　イグニッションスイッチ　OFF

入力点検

〈参考〉　スピードコントロールコンピューターは各スイッチとコンピューターまでの回路をメーター内のインジケーターランプの点滅で点検することができる。ただし，インジケーターランプは下記の作動条件でその回路が正常な場合のみコードを示す。



H6961

1　イグニッションスイッチ　ON（No. 1，No. 2，No. 3の点検の場合）

2　エンジン始動（No.4の点検の場合）

3　コード読み取り

(1)　スピードコントロールスイッチをセット状態で保持する。

(2)　メインスイッチをON（押す）する。

(3)　メインスイッチのパワーインジケーターランプが2回点滅を繰り返すことを確認する。

(4)　各入力操作を行いコードを読み取る。

〈参考〉　・入力点検の操作および表示コードを下記に示す。

・表示コードはNo. 1→2→3→4の順に優先して表示する。

No.	診断系統	入力操作	インジケーターランプ点滅周期
1	SET/COASTスイッチ系	SET/COASTスイッチ　ON	点灯 消灯
2	RES/ACCスイッチ系	RES/ACCスイッチ　ON	点灯 消灯
3	各解除スイッチ系	各解除スイッチのいずれかをON ①CANSELスイッチ ②ストップランプスイッチ ③クラッチスイッチ(M/T車) ④ニュートラルスタートスイッチ(A/T車) ⑤パーキングブレーキスイッチ	点灯 消灯
4	車速信号系	約40km以下で走行，また停止(M/T車)	点灯 消灯
		約40km以上で走行	点灯 消灯

4　イグニッションスイッチ　OFF

無断複製禁止

トラブル現象別チャートによる点検

(1) 枠内の番号順に点検を行う。

不具合現象＼点検項目	ダイアグノーシスコード検出	実施する入力点検の項目と結果		スピードコントロールコンピューター	スピードコントロールアクチュエーター	スピードコントロールメインスイッチ	スピードコントロールスイッチ	ストップランプスイッチ	クラッチスイッチまたはニュートラルスタートスイッチ	パーキングブレーキスイッチ	スピードセンサーまたはスピードメーターケーブル	スロットルポジションセンサー	スロットルケーブルの遊び，作動状態	その他
	点検部位													
• スピードメーター内のインジケーターが5回点滅する • A/Dがセットできない • A/Dセット後キャンセルしてしまう	11	—		2	1									
	12	—		3	1			2						
	13	—		2	1									
	21	—		2							1			
	23	—		4	2							3	1	
	31	—		2			1							
	32	—		3		1	2							
	34	—		3		1	2							
	41	—		1										
		—												
	正常	No. 4	OK	8	7	1	(2)	3	4	5			6	
			NG	2							1			
セット車速が加速または減速側へ大きくずれる	—	No. 4	OK	4	3						2		1	
			NG											
セットするとハンチング現象が生じる	—	—		4	3						1		2	
ブレーキペダルを踏んでもA/Dが解除しない	—	No. 3	OK	3	1			2						
			NG	2				1						
パーキングブレーキを操作してもA/Dが解除しない	—	No. 3	OK	2	1									
			NG	2						1				

無断複製禁止

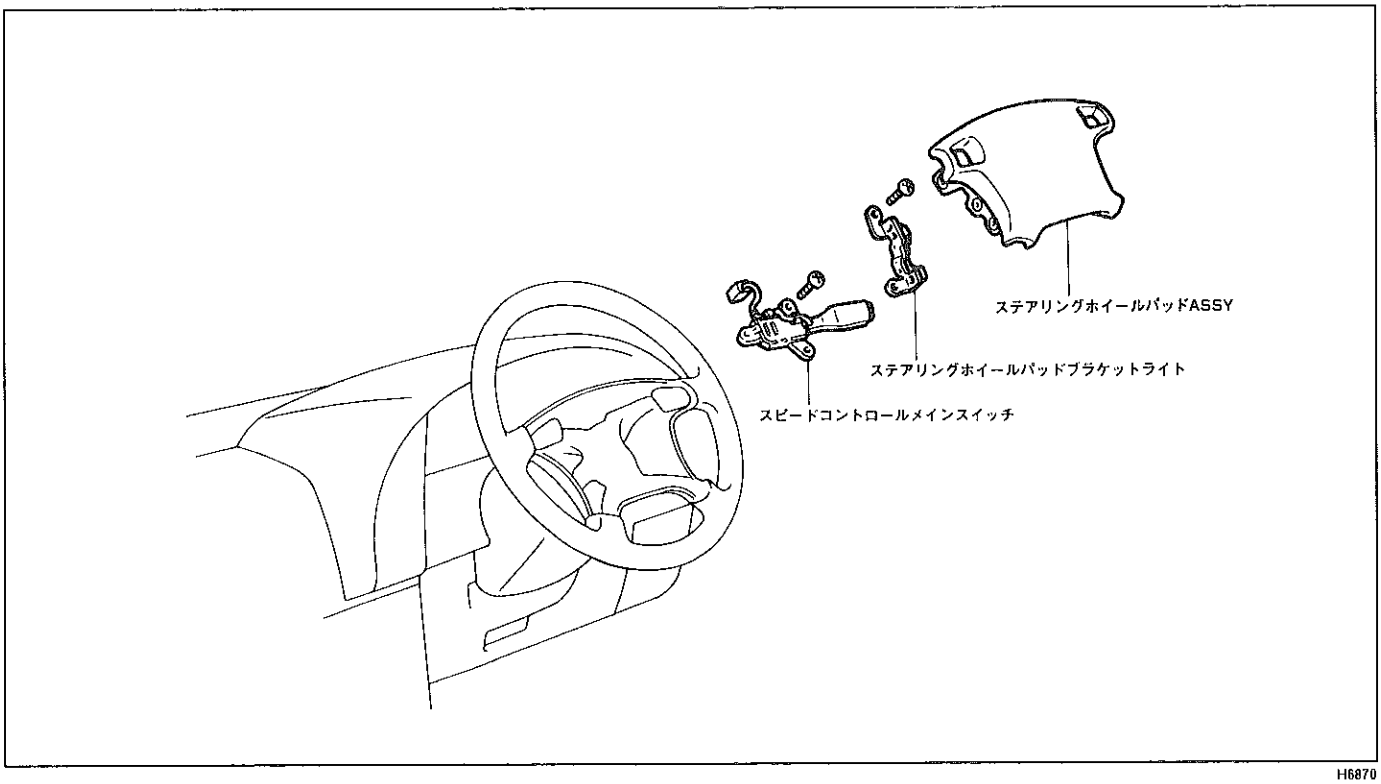
点検項目 / 不具合現象	ダイアグノーシスコード検出	実施する入力点検の項目と結果		点検部位 スピードコントロールコンピューター	スピードコントロールアクチュエーター	スピードコントロールメインスイッチ	スピードコントロールスイッチ	ストップランプスイッチ	クラッチスイッチまたはニュートラルスタートスイッチ	パーキングブレーキスイッチ	スピードセンサーまたはスピードメーターケーブル	スロットルポジションセンサー	スロットルケーブルの遊び，作動状態	その他
"N"レンジにシフトしてもA/Dが解除しない(A/T)	—	No. 3	OK	2	1									
			NG	2					1					
クラッチペダルを踏んでもA/Dが解除しない(M/T)	—	No. 3	OK	2	1									
			NG	2					1					
コースト操作で減速しない	—	No. 1	OK	3	1								2	
			NG	2			1							
アクセル操作で加速しない	—	No. 2	OK	3	1								2	
			NG	2			1							
リジューム操作で復帰しない	—	No. 2	OK	3	1								2	
			NG	2			1							
キャンセル操作でキャンセルしない	—	No. 3	OK	2	1									
			NG	2			1							
車速が約40km/h以下でセットできる	—	No. 4	OK	2	1									
			NG	2							1			
車速が約40km/h以下になっても自動キャンセルしない	—	No. 4	OK	2	1									
			NG	3							1		2	
復帰および加速操作時の応答性が悪い	—	No. 4	OK	3	2								1	
			NG	3								2	1	

無断複製禁止

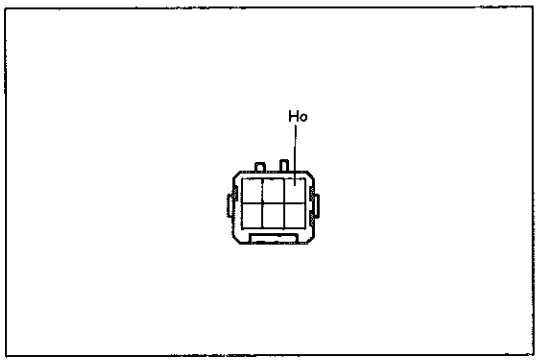
スピードコントロールメイン スイッチ(エアバッグ付き)

注意 ステアリングホイールパッドは平坦な安定した場所に保管する。また,パッド面を上にして置き，絶対に物を上に置かない。(詳細はP9-2参照)

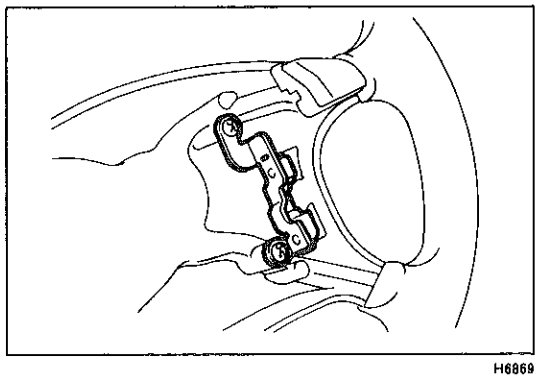
脱着構成図



H6870



S-6-I-B



H6869

スピードコントロールメインスイッチ取りはずし

1 ステアリングホイールパッド取りはずし
(P9-3参照)

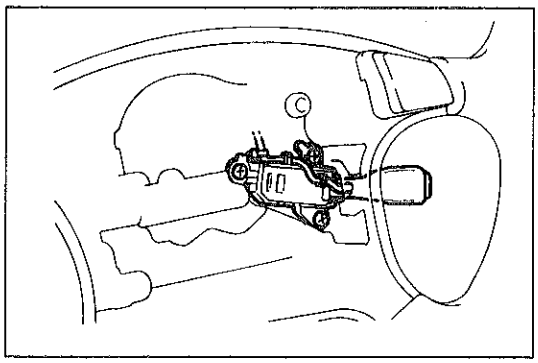
2 ホーン用端子取りはずし

(1) スピードコントロールメインスイッチのコネクターから，ホーン用のHo端子を抜き取る。

3 ステアリングホイールパッドブラケットライト取りはずし

(1) スクリュー2本をはずし，ブラケットを取りはずす。

無断複製禁止



H6871

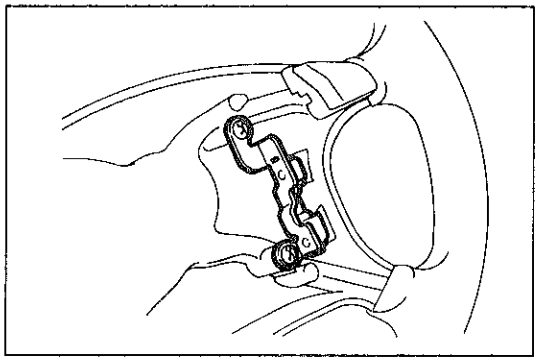
4 スピードコントロールメインスイッチ取りはずし

(1) スクリュー3本をはずし，メインスイッチを取りはずす。

スピードコントロールメインスイッチ取り付け

1 スピードコントロールメインスイッチ取り付け

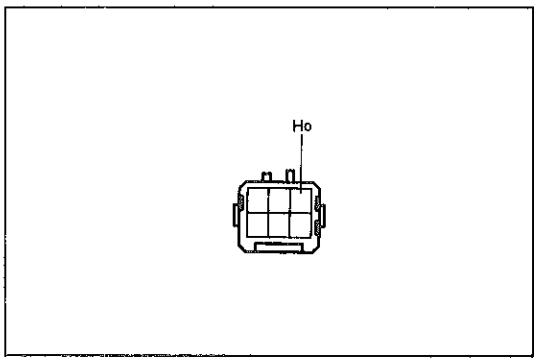
(1) メインスイッチを，スクリュー3本で取り付ける。



H6869

2 ステアリングホイールパッドブラケットライト取り付け

(1) ブラケットを，スクリュー2本で取り付ける。



S-6-1-B

3 ホーン用端子取り付け

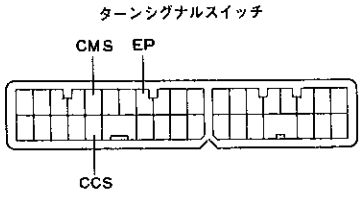
(1) スピードコントロールメインスイッチのコネクターにホーン用のHo端子を取り付ける。

4 ステアリングホイールパッド取り付け

(P9-4参照)

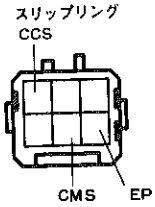
無断複製禁止

エアバッグなし

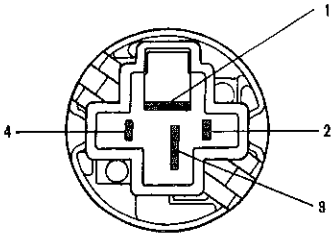


V-34-2

エアバッグ付き



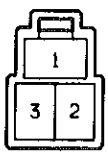
S-6-1-B



K8570



H-1-2



H-3-2

単体点検

スピードコントロールスイッチ

(1) 各端子間の導通または抵抗値を点検する。

基　準　　○—∿—○抵抗あり　○—○導通あり

端子記号 / スイッチ位置	CMS	EP		CCS	抵抗値(Ω)
MAIN	○	○			—
RES/ACC		○	∿	○	約68
SET/COAST		○	∿∿	○	190～200
CANCEL		○	∿∿∿	○	400～500

ストップランプスイッチ

1　導通点検

(1) コネクター各端子間の導通を点検する。

基　準　　○—○導通あり

条件 / 端子番号	1	2	3	4
ブレーキを踏まない		○		○
ブレーキを踏む	○		○	

パーキングブレーキスイッチ

1　導通点検

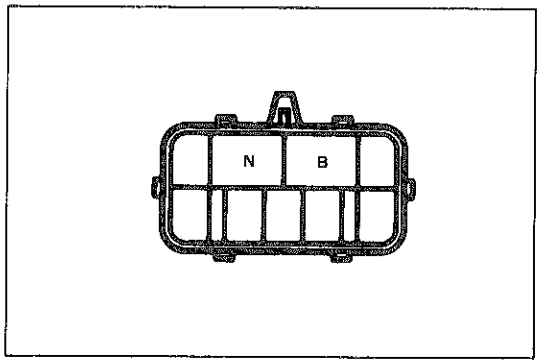
(1) パーキングブレーキを引いたときスイッチの端子とボデーアース間に導通があり，戻したとき導通がないことを確認する。

クラッチスイッチ

1　導通点検

(1) クラッチペダルを踏んだときコネクターの2↔3端子間に導通があり，離したとき導通がないことを確認する。

無断複製禁止

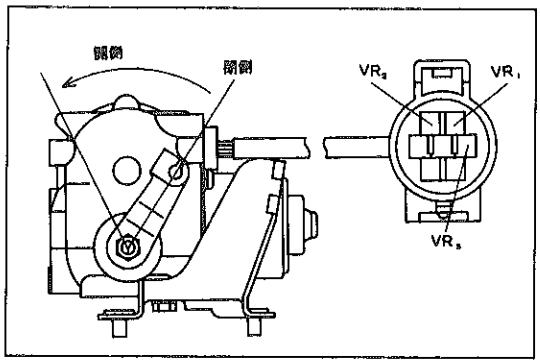


SH-9-2- A

ニュートラルスタートスイッチ

1　導通点検

(1)　シフトレバーをNまたはP　レンジにしたときスイッチのB↔N端子間に導通があり，他のレンジのとき導通がないことを確認する。



H6782

スピードコントロールアクチュエーター

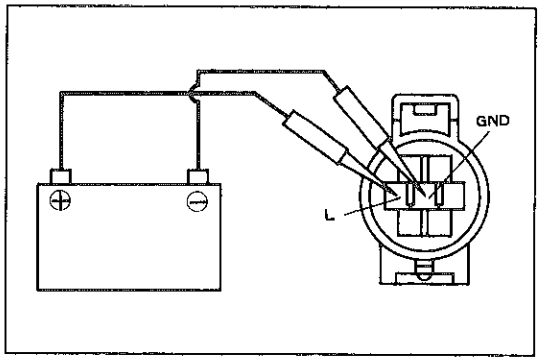
1　抵抗点検

(1)　コネクターのVR1↔VR3端子間の抵抗値を測定する。

基準値　　約2kΩ

(2)　アウトプットアームを閉側から開側へ動かしたとき，コネクターのVR2↔VR3端子間の抵抗を点検する。

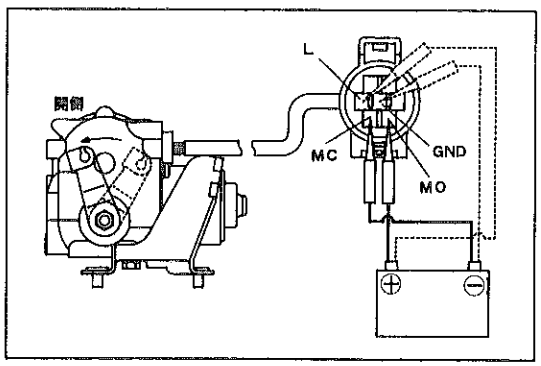
基　準　　抵抗値が徐々に増加する



H6783

2　作動点検

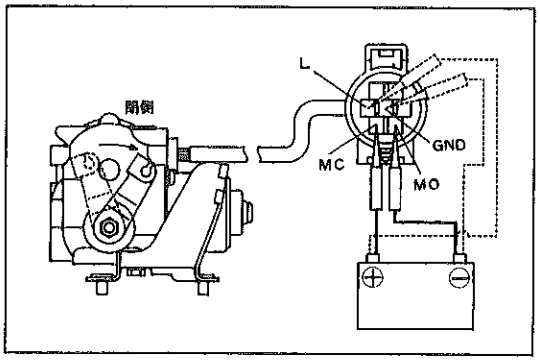
(1)　コネクターのL端子にバッテリーの⊕，GND端子にバッテリーの⊖を接続したとき，アウトプットアームがロックすることを確認する。



H6784

(2)　コネクターのMC端子にバッテリーの⊕，MC端子にバッテリーの⊖を接続したときにモーターが回転することを確認する。

(3)　(2)の状態でL端子にバッテリーの⊕，GND端子にバッテリーの⊖を接続したとき，アウトプットアームが開側に回転し，MAX位置でモーターが止まり，アームも止まることを確認する。

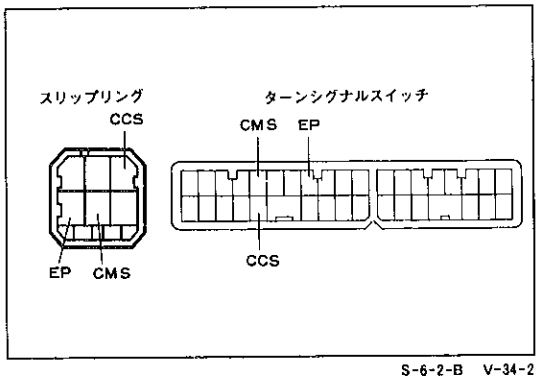


H6785

(4)　コネクターのMC端子にバッテリーの⊕，MO端子にバッテリーの⊖を接続し，モーターを回転させる。

(5)　(4)の状態でL端子にバッテリーの⊕，GND端子にバッテリーの⊖を接続したとき，アウトプットアームが閉側に回転し，MAX位置でモーターが止まり，アームも止まることを確認する。

無断複製禁止



S-6-2-B　V-34-2

ホーンコンタクトスリップリング（エアバッグ付き）

1　導通点検

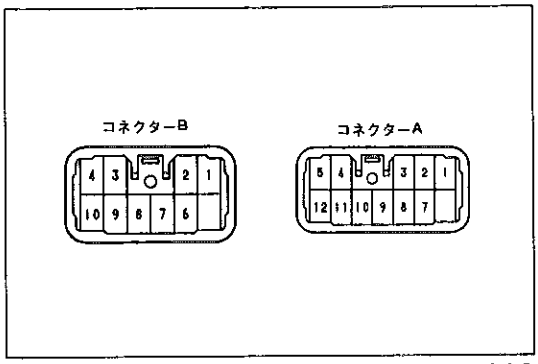
(1)　スリップリングコネクターの端子とターンシグナルスイッチコネクターの端子間に導通があることを確認する。

基　準　　CCS↔CCS端子間導通あり

EP↔EP端子間導通あり

CMS↔CMS端子間導通あり

(2)　スナップリングコネクター全周で導通があることを確認する。



e-10-2-C　e-12-2-B

スピードコントロールコンピューター

(1)　入力点検を行う。(P11-79参照)

(2)　コンピューターにコネクターを接続した状態で導通または電圧を測定する。

注意　電圧はイグニッションスイッチがONの状態で点検する。

基準値

コネクター	端子番号	端子名	測定項目	テスター接続 ⊕↔⊖	測定条件	基準値
コネクターA	1	IG	電圧	A1↔A9	———	10～14V
	2	STP⁺	電圧	A2↔A9	常　時	10～14V
	3	STP⁻	電圧	A3↔A9	ブレーキペダルを踏む（常時）	10～14V
					ブレーキペダルを離す	0.5V以下
	4	N & C	電圧	A4↔A9	“P”または“N”レンジにシフトする（A/T） クラッチペダルを踏む（M/T）	0.5V以下
					“P”“N”レンジ以外にシフトする（A/T） クラッチペダルを離す（M/T）	10～14V
	5	PKB	電圧	A5↔A9	パーキングブレーキレバーを引く	0.5V以下
					パーキングブレーキレバーを戻す	10～14V
	7	SPD	Hz	A7↔A9	走行中	“バー”が点滅または点灯
	8	CMS	電圧	A8↔A9	———	10～14V
					A/Dメインスイッチ　OFF→ON	2.0V以下
	9	GND	導通	A9↔ボディーアース	常　時	導通あり
	10	VR3	導通	A10↔ボディーアース	常　時	導通あり
	11	VR2	電圧	A11↔A10	———	1.2～1.3V
	12	VR1	電圧	A12↔A10	———	4.5～5.0V

無断複製禁止

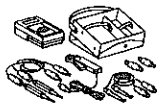
コネクター	端子番号	端子名	測定項目	テスター接続 ⊕ ↔ ⊖	測定条件	基準値
コネクタA	12	VRI	電圧	A12↔A10	———	4.5～5.5V
コネクタB	1	ECT	電圧	B1↔A9	オーバードライブで走行	0.5V以下
					オーバードライブで走行中トランスミッションコントロールスイッチ OFF	10～14V
	4	MO	電圧	B4↔B10	オートドライブで走行（定速走行）	0.5V以下
	10	MC	Hz		オートドライブで走行中スピードコントロールスイッチで加速	“バー”が点滅または点灯
				B10↔B4	オートドライブで走行中スピードコントロールスイッチで減速	“バー”が点滅または点灯
	8	CCS	電圧	B8↔A9	イグニッションスイッチ OFF→ON	10～14V
					リジュームスイッチ ON	2.5V以下
	9	IDL	電圧	B9↔A9	スロットルバルブ全閉	2.0V以下
					スロットルバルブ開（約1.5°以上）	4.5～5.5V

無断複製禁止

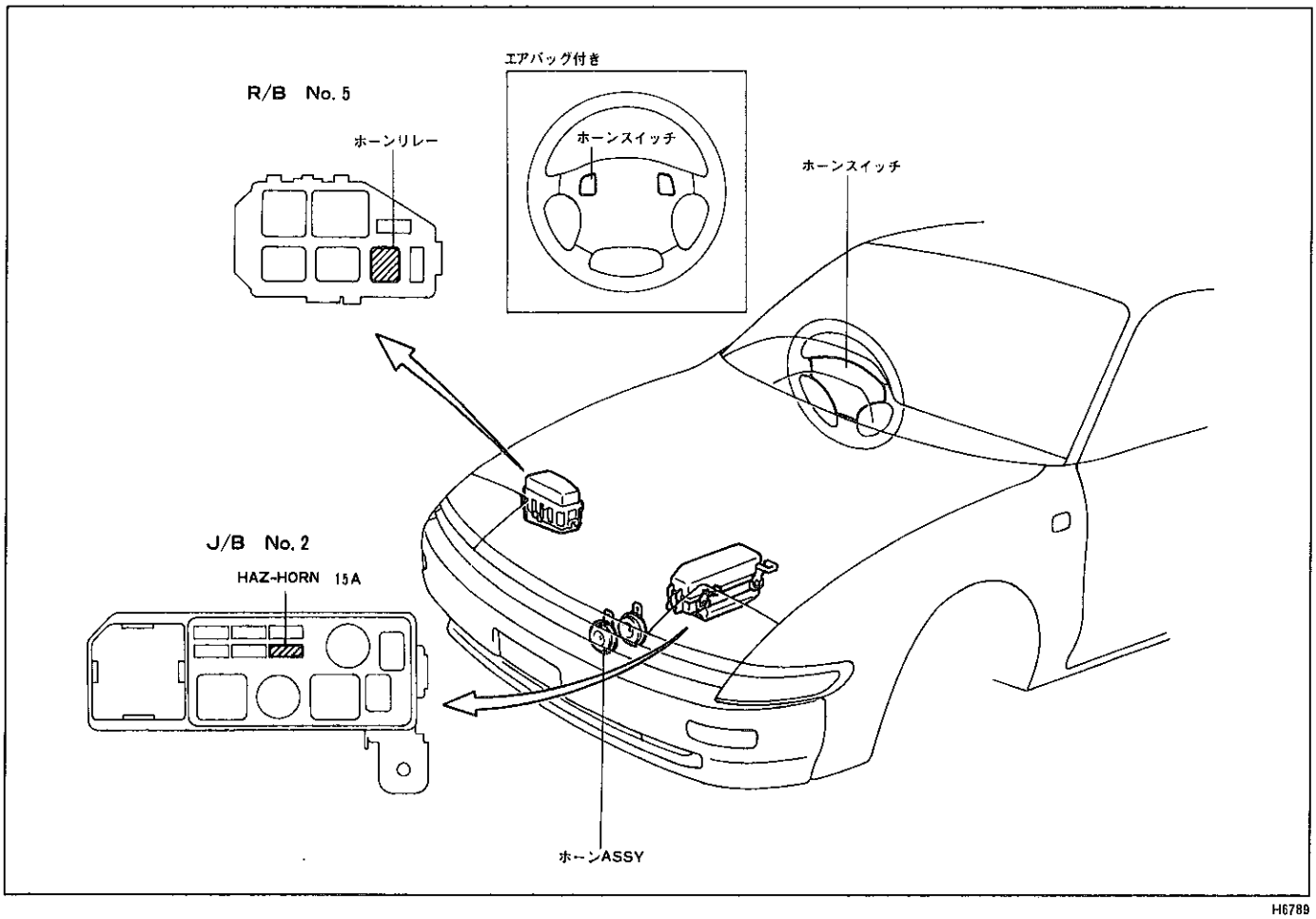
ホーン

注意　ステアリングホイールパッドは平坦な安定した場所に保管する。またパッド面を上にして置き，絶対に物を上に置かない。(詳細はP9-2参照)

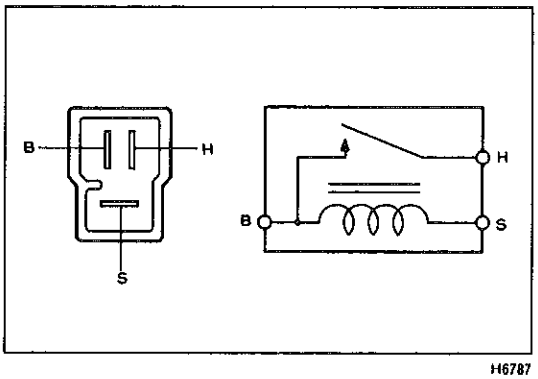
準　備　品

計　器		09082-00012　トヨタエレクトリカルテスター	ホーンリレー点検用

部品配置図



H6789



H6787

単体点検

ホーンリレー

1　導通点検

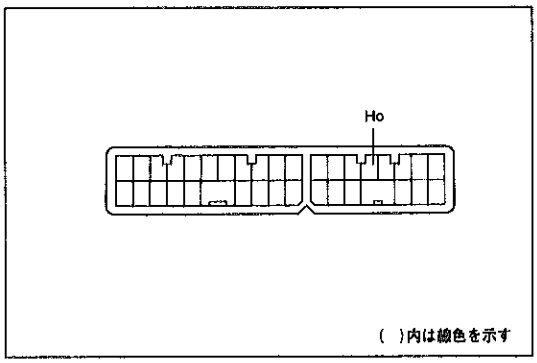
(1)　コネクター各端子間の導通を点検する。

基　準　　B端子↔S端子間……導通あり

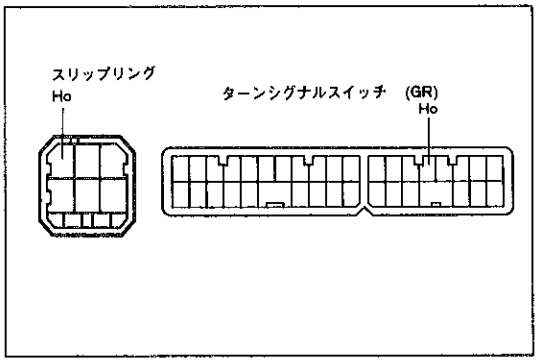
(2)　B端子↔S端子間にバッテリー電圧を加えたとき，B端子↔H端子間の導通を点検する。

基　準　　導通あり

無断複製禁止



V-34-2



S-6-2-B V-34-2

ホーンスイッチ

1 電圧点検

(1) ターンシグナルスイッチコネクターのHo端子とボデーアース間の電圧を測定する。

基準値 10～14V

2 導通点検

(1) ターンシグナルスイッチのコネクターを切り離し，コネクターのHo端子とボデーアース間の導通を点検する。

基 準 スイッチ（ホーンボタン）を押したとき導通あり

ホーンコンタクトスリップリング（オートドライブおよびエアバッグ付き）

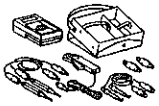
1 導通点検

(1) スリップリングコネクターのHo端子とターンシグナルスイッチコネクターのHo端子間に導通がすることを確認する。

無断複製禁止

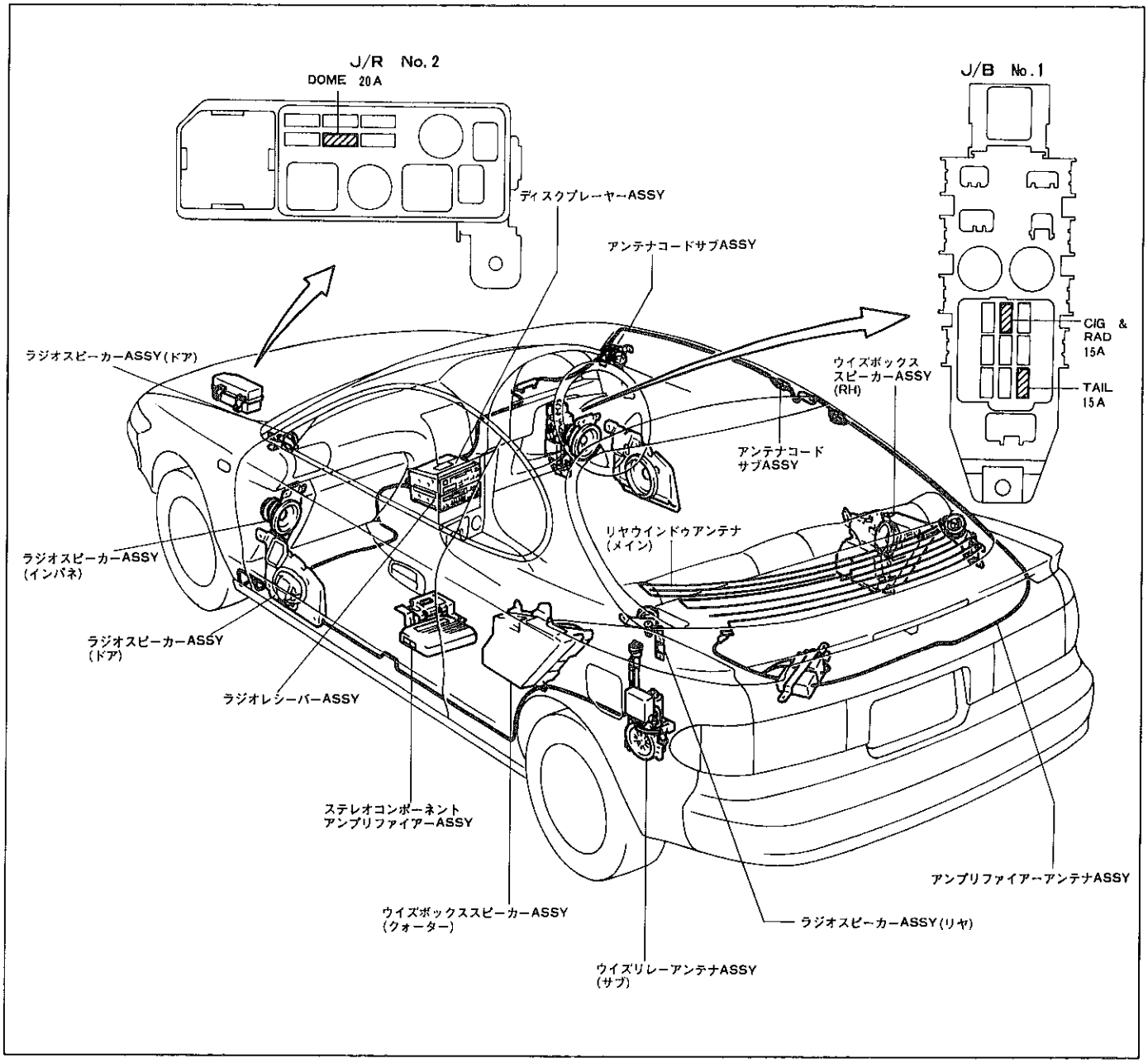
ラジオ　&　プレーヤー

準　備　品

計　器		09082-00012　トヨタエレクトリカルテスター	ウインドゥアンテナ点検用
油　脂 その他	銀紙		ウインドゥアンテナ点検用
	細筆，白ガソリン，マスキングテープ		ウインドゥアンテナ補修用
	※補修用ペースト(藤倉化成ペーストD-500)		ウインドゥアンテナ補修用

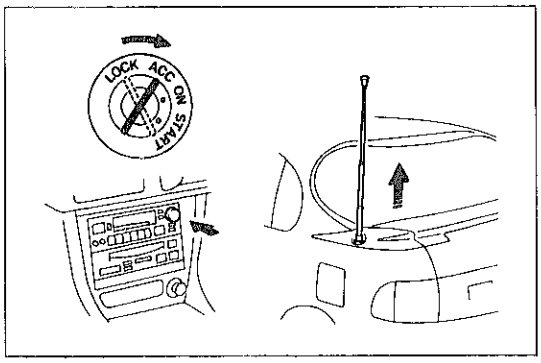
※(株)槌屋　TEL 052-331-5451　〒460 名古屋市中区上前津 2 丁目9-29

部品配置図

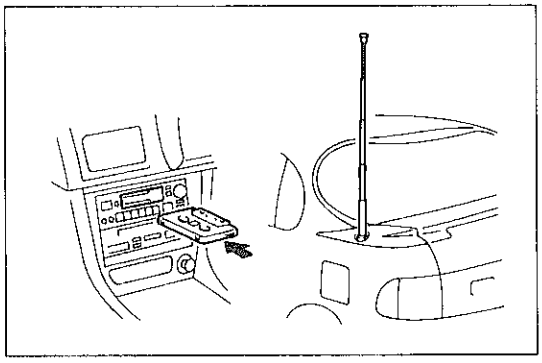


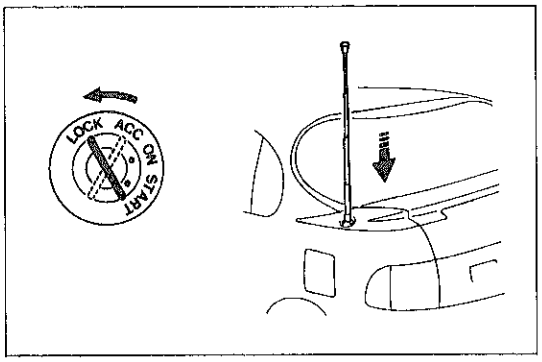
H6792

無断複製禁止

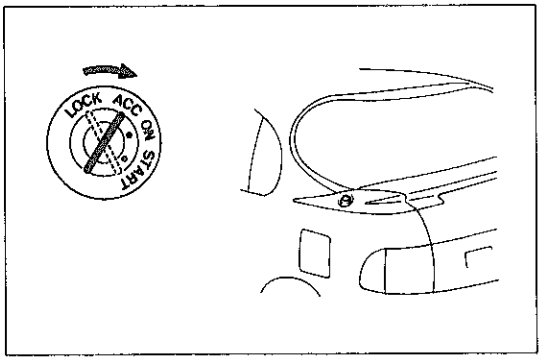


H6793

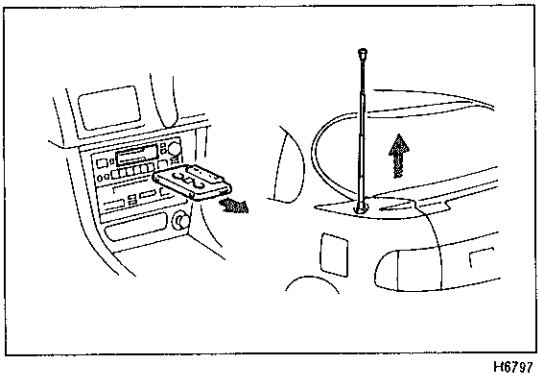

H6794



H6795



H6796


H6797

機能点検

モーターアンテナ作動点検

1 アップ作動点検

(1) イグニッションスイッチをACC（またはON）にする。

(2) ラジオのパワースイッチをONにしたときモーターアンテナがアップ作動し，アンテナロッドがフルアップ状態になることを確認する。

(3) (2)の状態でカセットテープまたはCDを再生しても，アンテナロッドがフルアップ状態を保持することを確認する。

(4) (3)の状態でイグニッションスイッチをOFFにしたとき，モーターアンテナがダウン作動をし，アンテナロッドがフルダウン状態になることを確認する。

(5) (4)の状態で再びイグニッションスイッチをACC（またはON）にしたとき，アンテナロッドがフルダウン状態を保持することを確認する。

(6) (5)の状態でテープまたはCDの再生からラジオ受信に切り換えたとき，モーターアンテナがアップ作動をし，アンテナロッドがフルアップ状態になることを確認する。

無断複製禁止

トラブルシューティング

雑音の問診表

(1) 雑音のトラブルシューティングは，まず顧客の苦情内容を十分に把握することが重要です。そのために下記の問診表を活用し，故障状況を的確に判断して下さい。

雑音の問診表

放送局	問　診　内　容	推　定　原　因
AM	ある特定の場所で雑音が発生する。	外来雑音の可能性が強い。
	微弱な放送を聞いている時に雑音が発生する。	同一のプログラムが各地の放送局から送られている事があり，放送の内容が同じでも違う放送局を聞いているケースがある。特にNHKの場合はこうした間違いがよく起こる。
	夜だけ雑音が発生する。	大陸からの放送によるビートの可能性が強い。
FM	走行中やある特定の場所で雑音が発生する。	FM電波の変動に起因するマルチパスノイズ，フェージングノイズの可能性が強い。

雑音の発生状況が問診内容のいずれにも該当しない場合には，“不具合現象”に基づいて点検を行って下さい。

〈参考〉　マルチパスノイズ，フェージングノイズについて

FMの電波は周波数が非常に高いために，地表や建造物の影響は電波の乱れとなり，さまざまな受信妨害を引き起こす。

・マルチパスノイズ

電波が大きな障害物で反射され，直進した電波と時間のずれを起こして受信機に入るために発生する「ジャジャ」「ジュルジュル」音をいう。

・フェージングノイズ

電波が障害物で乱され，電波の強さが狭い範囲で煩雑に変動するために起こる雑音をいい「ザヤザヤ」「シャシャ」「バサバサ」音を発生する。

点検時の注意事項

(1) ラジオに混入する雑音は通常，実用上支障のない程度まで雑音防止が施されており，極端に大きな雑音が混入することは考えられない。大きな雑音が混入する際は，まずアンテナ取り付け部のアースが正常かを点検する。

(2) 正規の雑音防止部品がすべて正常に装着されているか，また社外品を取り付けたり，正規外の配線をしていないかなどを点検する。

(3) ラジオを離調（放送に同調しない）状態にしておくと，雑音が顕著に発生し，現象判断が容易になる。

無断複製禁止

トラブル現象別チャートによる点検

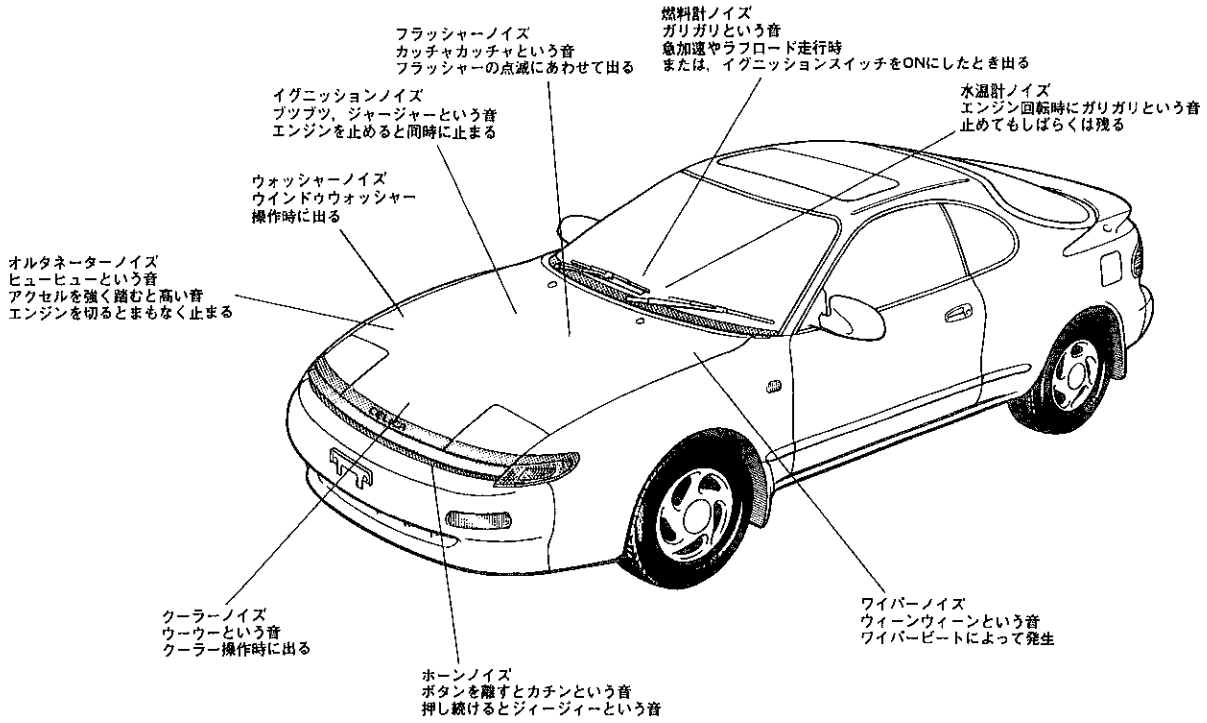
不具合現象 ＼ 点検項目または原因		ラジオレシーバー	テーププレーヤー(ラジオ一体機)	CDプレーヤー(ラジオ,カセット一体機)	ステレオアンプ(CD付きのみ)	アンテナアンテナコードアンテナアンプ	スピーカー	カセットテープ	CD	W/H	電波の状態・その他
ラジオ	不鳴(雑音も出ない)	○	○	○	○		○			○	
	いずれかのスピーカーが鳴らない(雑音も出ない)	○	○	○	○		○			○	
	雑音は出るがAM・FM共に鳴らない	○	○	○	○	○					
	AM・FMいずれかが鳴らない	○	○	○	○	○					サービスエリア外
	感度不良(音量小)	○	○	○	○	○				○	アンテナトリマー調整不良,マルチパスノイズ,フェードアウト,サービスエリア外
	AMまたは,AM・FM共に歪む	○	○	○	○	○	○			○	アンテナ入力過大,スピーカー内異物混入,スピーカーの他部品との干渉
	FMのみ歪む	○	○	○	○						弱電界の放送局のため,マルチパスノイズ
	自動選局数が少ない	○	○	○	○	○				○	サービスエリア外
テーププレーヤー	カセットテープが入らない		○	○	○						テーププレーヤー内の異物の混入
	不鳴		○	○	○			○			
	いずれかのスピーカーが鳴らない		○	○	○			○			
	音質が悪い音が小さい		○	○	○			○			テーププレーヤーのヘッド汚れ
	テーププレーヤーがイジェクトしない		○	○	○			○			テーププレーヤー内に異物の混入
	回転ムラ/テープ巻き込み/オートリバース不良		○	○	○			○			テーププレーヤーのヘッド,キャプスタン軸などの汚れ,異物の混入
	曲の頭出しができない		○	○	○			○			
CDプレーヤー	CDがはいらない			○							CDプレーヤー内に異物の混入
	演奏しない			○					○		CD裏向き,車内高温,温度変化による結露
	ディスクの音が飛ぶ			○					○		CDプレーヤーの取り付け不良,温度変化による結露走行振動
	音質が悪い/音が小さい			○					○		
	CDがイジェクトしない			○							CDプレーヤーに異物混入
	いずれかのスピーカーが鳴らない			○							
雑音	放送は聞こえるがAM・FM共に雑音が多い	○	○	○	○	○				○	特定範囲でのみ発生する場合は外来雑音
	AM・FMのどちらか一方のみ雑音が多い	○	○	○	○	○				○	サービスエリア外
	エンジン始動で雑音が混入する	○	○	○	○						P11-94参照
	走行中の振動やショックで雑音が発生する	○	○	○	○	○				○	静電雑音
	走行中FMで時々雑音が発生する	○	○	○	○						フェードアウト
	雑音全般	○	○	○	○	○	○			○	サービスエリア外,電波不良,外来雑音,静電雑音,ノイズフィルター不良

無断複製禁止

雑　　音	エンジン始動で雑音が混入する

注意
1 外来雑音がないことを確認する。
この作業を怠ると雑音発生源が不明となり誤認するので必ず実施する。
2 雑音防止を実施する時は，雑音の強い物から順次防止する。

	イグニッションシステム	充　電　系	その他の電装品
電源系の雑音発生源	(1) 点火プラグ (2) ハイテンションコード (3) ディストリビューター (4) エンジンコントロールコンピューター	(1) オルタネーターの整流子とカーボンブラシとの接触部のリップル	(1) ワイパー，ブロワーなどのモーター整流子 (2) 始動時のスターターおよびスイッチ (3) フューエルポンプの接点 (4) 切り替えスイッチのスパーク (5) ホーン (6) フラッシャーの接点 (7) ワイヤハーネスのゆるやかな接触 (8) タイヤまたはオルタネーターのVベルトに生じる静電気 (9) 計器の電圧安定化ユニット

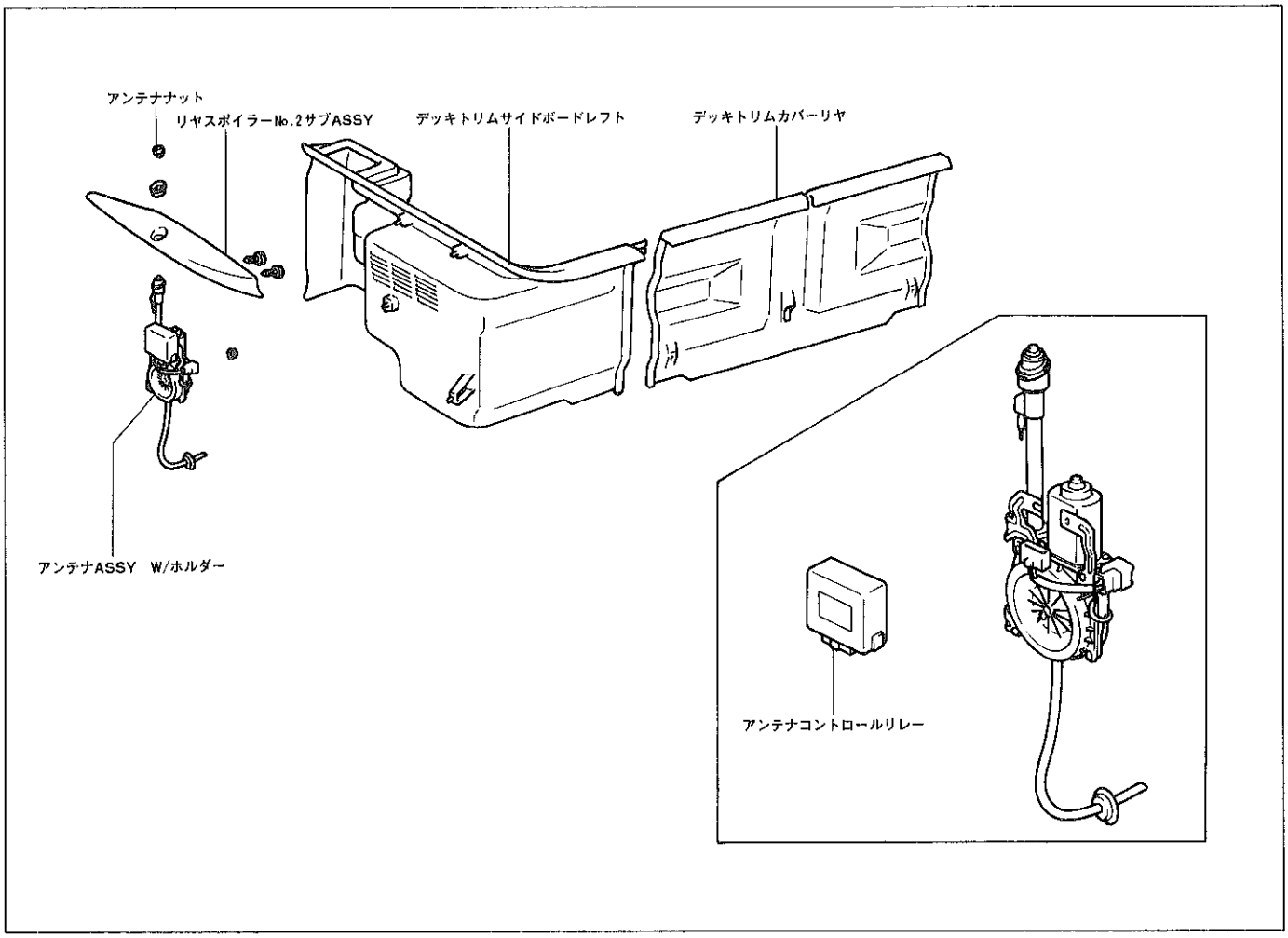


CB0295

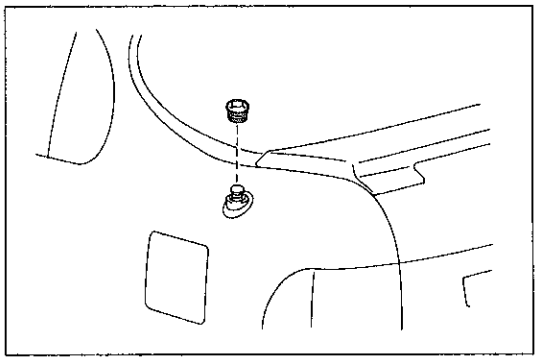
無断複製禁止

アンテナASSY W/ホルダー

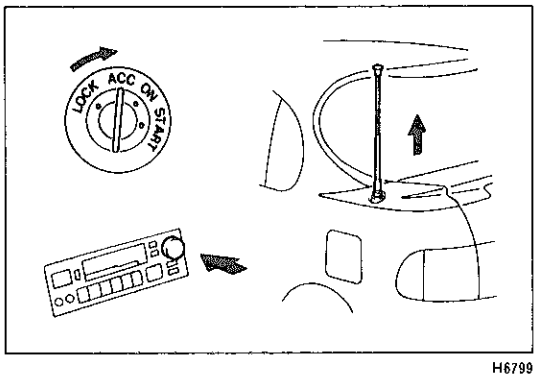
脱着構成図



H6922



H6798



H6799

アンテナロッドサブASSY取りはずし

1 リヤスポイラーNo.2サブASSY取りはずし
(P10-12参照)

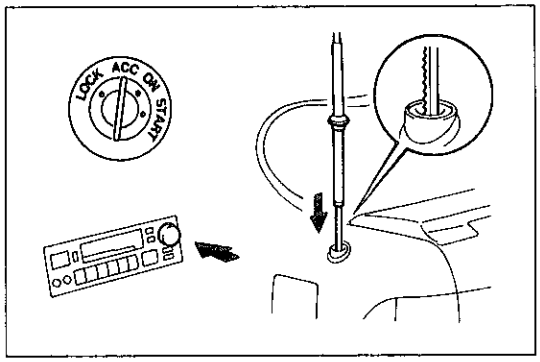
2 アンテナナット取りはずし

3 アンテナロッド取りはずし

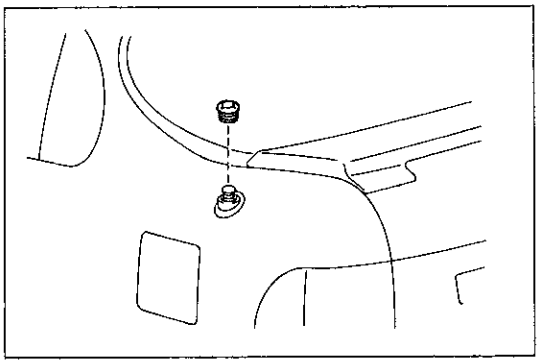
(1) イグニッションスイッチをACC (またはON) にする。

(2) ラジオのパワースイッチをONにしアンテナロッドを抜き取る。

無断複製禁止



H6800


H6798

アンテナロッドサブASSY取り付け

1　アンテナロッド取り付け

(1)　アンテナロッドの駆動ケーブルの歯を車両後方に向けていっぱい挿入する。

(2)　ラジオのパワースイッチを押してラジオをOFFにし，アンテナロッドを挿入する。

〈参考〉　ラジオのパワースイッチ　OFFでアンテナロッドが自動収納される。

2　アンテナナット取り付け

アンテナASSY　W/ホルダー取りはずし

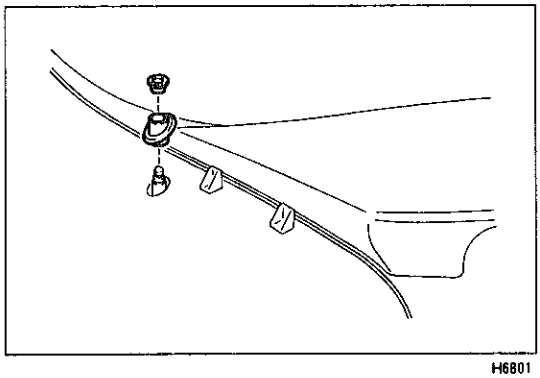
1　デッキトリムカバーリヤ取りはずし
(P10-88参照)

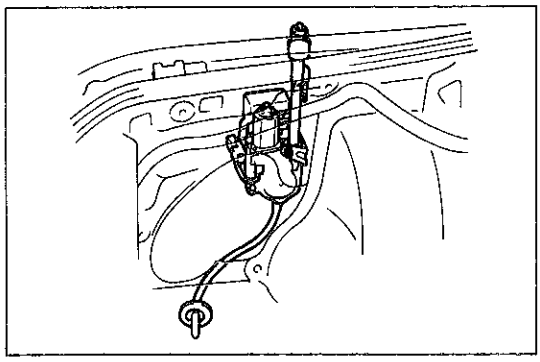
2　リヤスピーカーグリル取りはずし

3　デッキトリムサイドボードレフトASSY取りはずし
(P10-88参照)

4　リヤスポイラーNo.2サブASSY取りはずし
(P10-12参照)

5　アンテナナット取りはずし


H6801


H6802

6　アンテナASSY　W/ホルダー取りはずし

(1)　コネクターを切り離す。

(2)　ドレーンホースを取りはずす。

(3)　ナット１個をはずし，アンテナASSYを取りはずす。

アンテナASSY　W/ホルダー取り付け

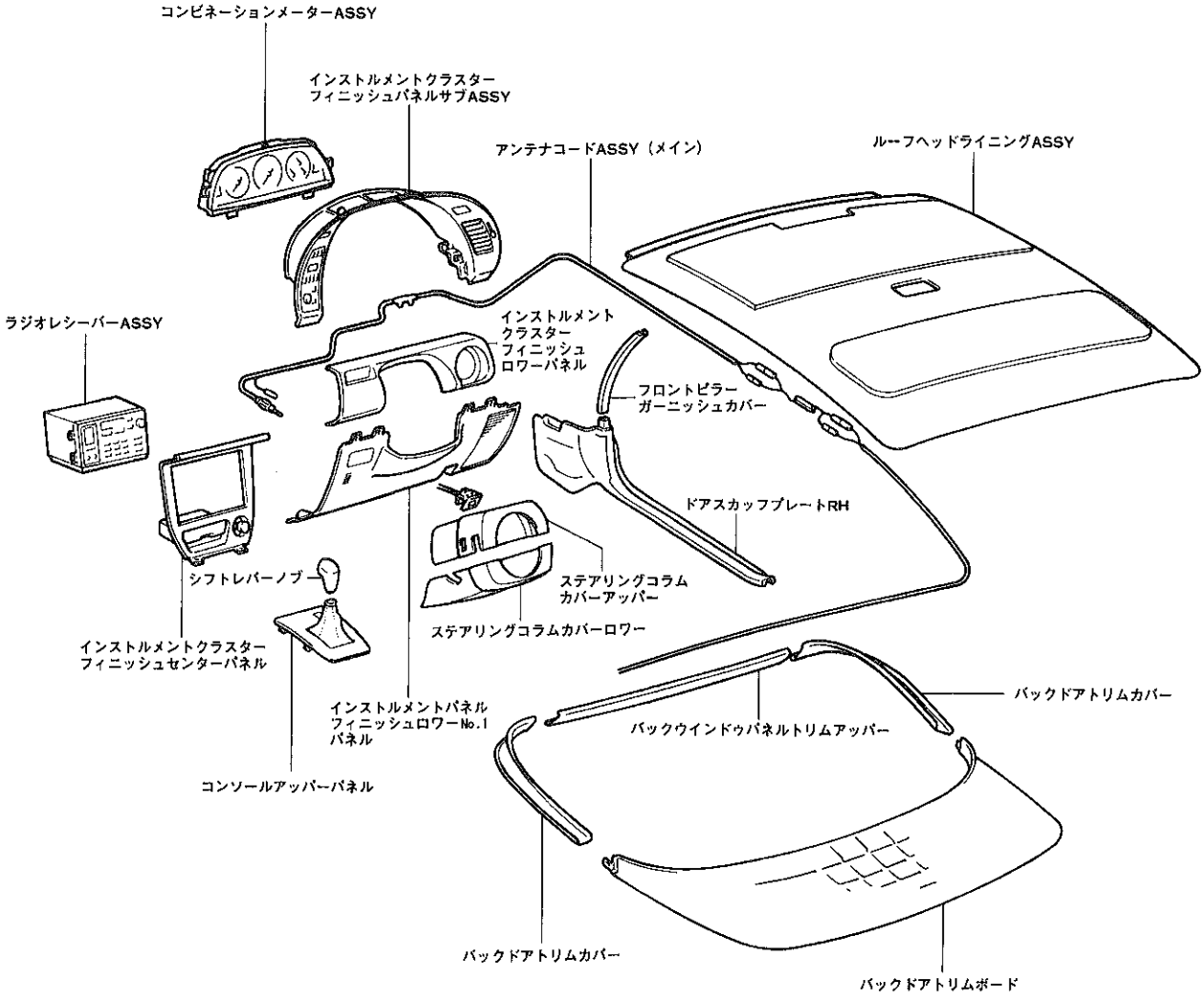
(1)　取りはずしの逆に行う。

無断複製禁止

アンテナコードサブASSY

脱着構成図

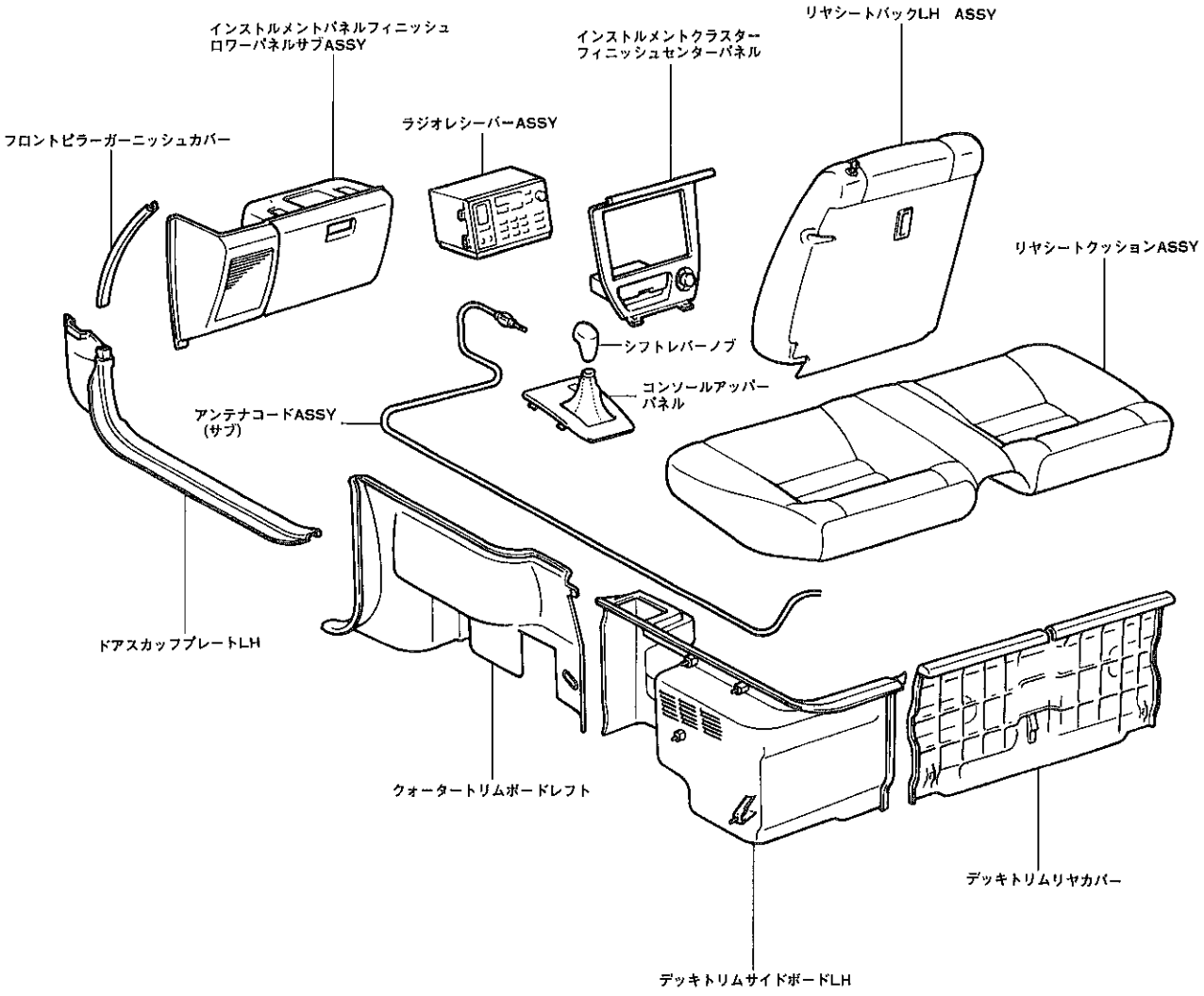
メイン



H6923

無断複製禁止

サブ



H6924

無断複製禁止

アンテナコードサブASSY取りはずし

メイン

1 シフトレバーノブ取りはずし（M/T車）

2 コンソールアッパーパネルサブASSY取りはずし

(P10-81参照)

3 インストルメントクラスターフィニッシュセンターパネル取りはずし

(P10-81参照)

4 ラジオASSY取りはずし

(P10-81参照)

5 フロントドアスカッフプレートRH取りはずし

(P10-87参照)

6 コンビネーションメーターASSY取りはずし

(P10-83参照)

7 ルーフヘッドライニング取りはずし

(P10-87参照)

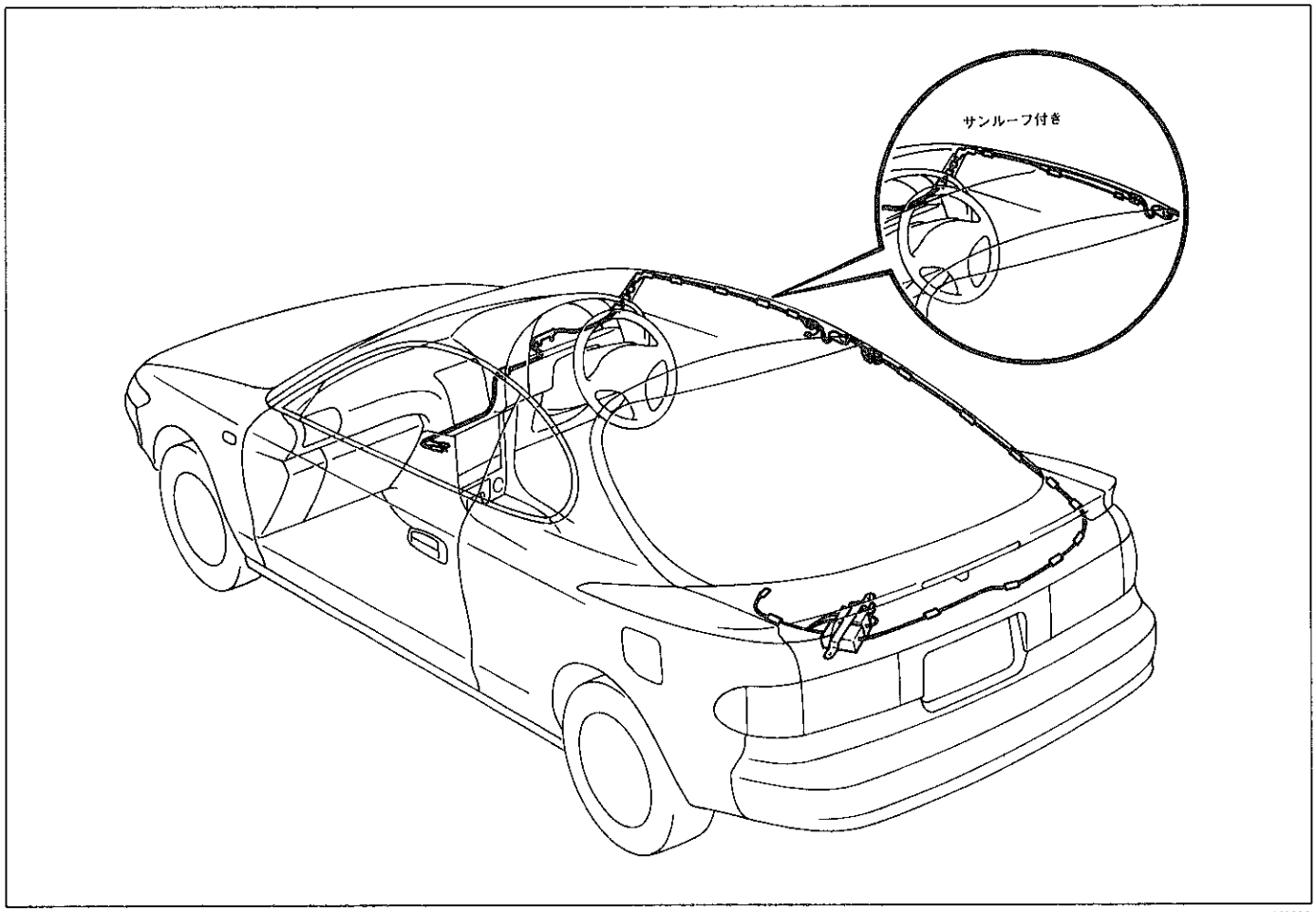
8 バックドアトリムボード取りはずし

(P10-58参照)

9 アンテナコードサブASSY取りはずし

(1) クランプをはずし，アンテナコードを取りはずす。

〈参考〉 アンテナコードの取りまわしを図に示す。



H6805

無断複製禁止

サブ

1 シフトレバーノブ取りはずし（M/T車）

2 コンソールアッパーパネルサブASSY取りはずし

(P10-81参照)

3 インストルメントクラスターフィニッシュセンターパネル取りはずし

(P10-81参照)

4 ラジオASSY取りはずし

(P10-81参照)

5 フロントドアスカッフプレートLH取りはずし

(P10-87参照)

6 リヤシートクッション取りはずし

(P10-100参照)

7 リヤシートバックLH取りはずし

8 デッキトリムリヤカバー取りはずし

(P10-88参照)

9 デッキトリムサイドボードレフトASSY取りはずし

(P10-88参照)

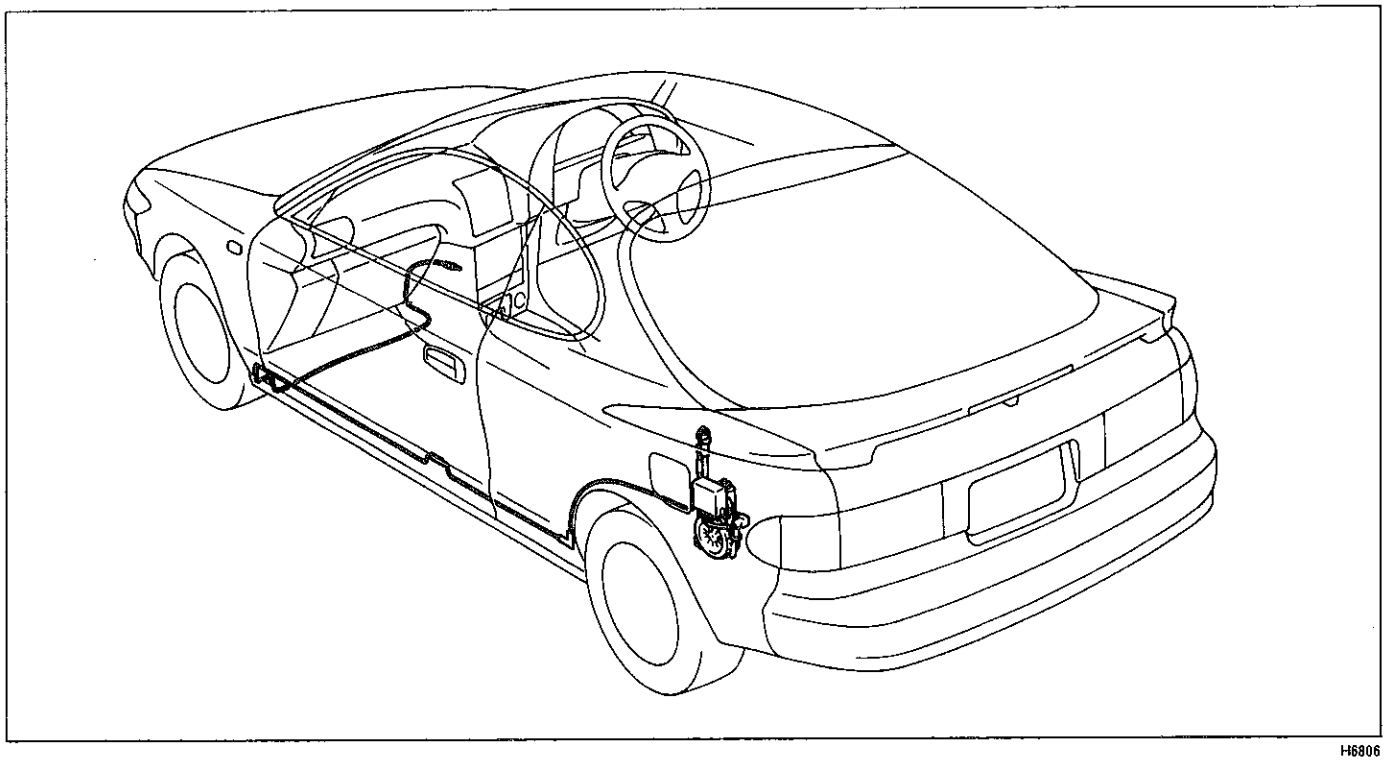
10 クォータートリムボードレフトASSY取りはずし

(P10-89参照)

11 アンテナコードサブASSY取りはずし

(1) クランプをはずし，アンテナコードを取りはずす。

〈参考〉 アンテナコードの取りまわしを図に示す。

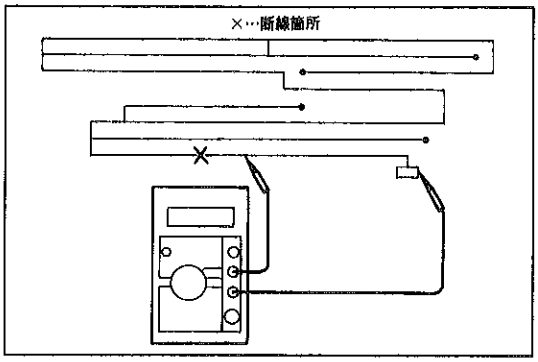


H6806

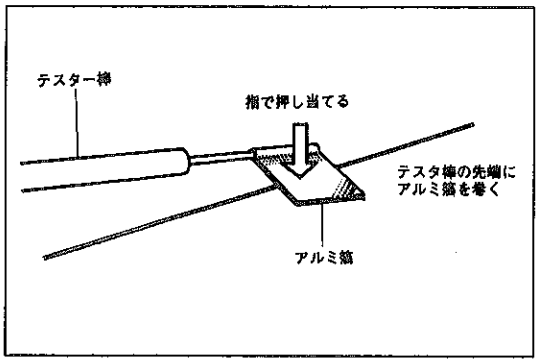
アンテナコードサブASSY取り付け

(1) 取りはずしの逆に行う。

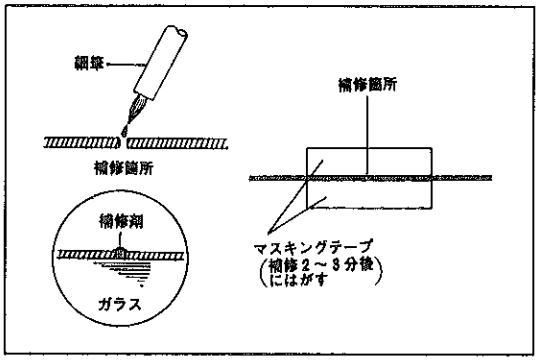
無断複製禁止



H6959



H5655



H6321　H5656

リヤウインドゥプリント式アンテナ点検，修正

注意　・ガラスの汚れを布などで清掃する場合は，アンテナを傷つけないように，乾いた柔らかい布を使用してアンテナの方向に沿ってぬぐう。
・一般の先剤やガラスクリーナーなどは使用しない。

1　断線点検

(1)　プリント式アンテナにテスター棒を当てて動かしていき，導通がなくなる箇所がないかを点検する。

注意　プリント式アンテナに傷を付けないように，テスター棒の先に図のようにアルミ箔を巻き，アルミ箔を指で押さえながら点検を行う。

2　断線箇所修正

(1)　断線箇所を白ガソリンで清掃する。

(2)　補修剤を充分かく拌してから細筆に少量つけて補修箇所に塗布する。

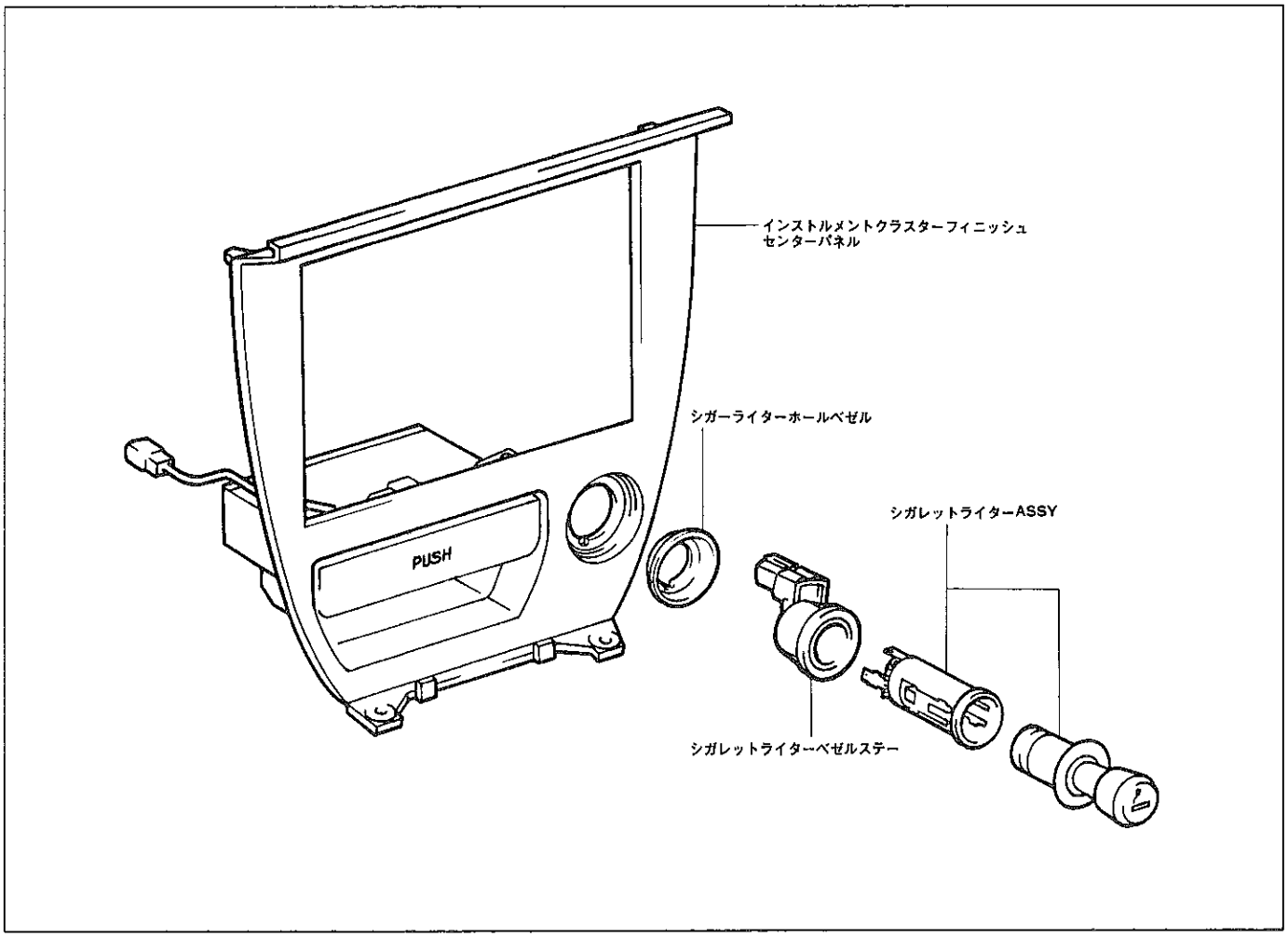
(3)　補修箇所が長い場合は，マスキングテープを貼り補修剤を塗布する。

(4)　補修２～３分後にマスキングテープをはがす。

無断複製禁止

シガレットライター

脱着構成図



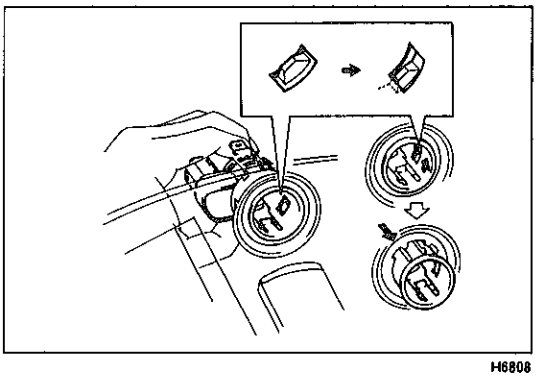
H6960

シガレットライター取りはずし

1 シフトレバーノブ取りはずし（M/T）

2 コンソールアッパーパネル取りはずし
（P10-81参照）

3 インストルメントクラスターフィニッシュセンターパネル取りはずし
（P10-81参照）



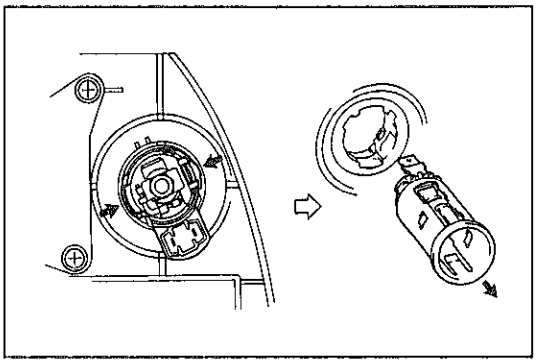
H6808

4 シガレットライター取りはずし

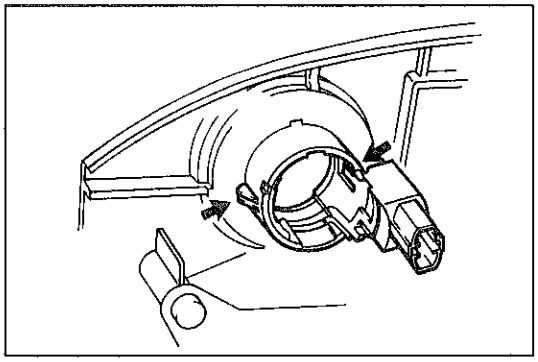
(1) シガレットライターのプラグを取りはずす。

(2) シガレットライターのソケットを円周方向に回してソケットとレンズのツメのかん合をはずし，ソケットを室内側へ押し出す。

無断複製禁止


H6809

(3) ソケットのツメをレンズの切り欠きに合わせ，ソケットを室内側へ取りはずす。

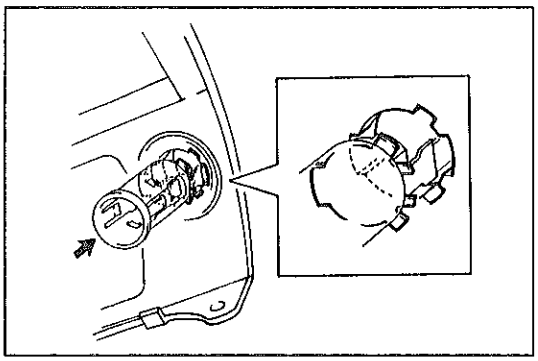

H6810

5 シガレットライターベゼル取りはずし

(1) 2箇所のツメをはずし，シガレットライターベゼルを取りはずす。

シガレットライター取り付け

1 シガレットライターベゼル取り付け


H6811

2 シガレットライター取り付け

(1) シガレットライターソケットのツメとレンズの切り欠きを合わせて，ソケットを室内側から挿入する。

3 インストルメントクラスターフィニッシュセンターパネル取り付け

無断複製禁止